

(通巻第 3 5 号)

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人 福 栄 会

目 次

法人事業報告（概況）	1
事務部事業報告	5
総務課	11
栄養課	18
高齢者福祉部事業報告	29
晴楓ホーム	30
東海ホーム	43
在宅サービス課	51
東品川在宅介護支援センター・大崎在宅介護支援センター	55
通所介護事業所（東品川・大崎・五反田）	59
認知症対応型通所介護事業所（東品川・大崎）	64
品川区ヘルパーステーション東品川	77
東品川わかくさ荘	79
障害者福祉部事業報告	83
第一しいのき学園	85
第二しいのき学園	93
品川区立西大井福祉園	101
品川区立西大井つばさの家	110
グループホーム金子山	113
品川区立かがやき園	122
南品川むつみ園	133
品川区東品川障害者相談支援センター	141
品川区東品川障害者計画相談支援事業所	146
かもめ第一・第二・第三工房	148
品川区精神障害者地域生活支援センター	154
児童福祉部事業報告	159
品川区立家庭あんしんセンター	161
品川区ひまわり荘	162
品川区子育て支援	165
品川区子育て短期支援事業	167
平塚ファミリー・サポート・センター	169
平塚きぼう荘	170
品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設	185
品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設	194
品川区立就学前乳幼児教育施設	199

品川区立障害児者総合支援施設	207
児童発達支援センター課	209
相談支援課	218
生活支援課	229

令和6年度 法人事業報告（概況）

社会福祉法人福栄会は、高齢者福祉事業、障害者福祉事業及び児童福祉事業を行う総合社会福祉施設としてサービスの質的向上を図る一方、健全な法人経営に努めながら、利用者やご家族を始め地域の期待に応えられるよう、それぞれの事業分野において、サービスの充実に積極的に取り組みました。

令和6年度の主な成果

- (1) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりのため、「第三次福栄会3か年計画」に基づき事業を計画的に執行しました。
- (2) 地域社会から一層信頼される法人となるため、子ども食堂などの地域貢献活動に取り組みました。
- (3) 品川区立障害児者総合支援施設「ぐるっぼ」の安全で安心な運営に一層努めつつ、事業の増大を踏まえ、会計監査人の導入など経営能力の強化に取り組みました。
- (4) 区の防災計画に基づき、福祉避難所への対応を考慮しつつ、福栄会の防災計画として非常食等の備蓄品の見直しを進めました。
- (5) 人事・給与制度の見直しと「福栄会キャリアパス」に基づく体系的な研修等により、質の高い人材の確保・育成に努めました。また、女性の登用と活躍の場の確保に引き続き取り組みます。
- (6) 新型コロナウイルス等の感染症対策に全職員一丸となって取り組む中、堅実な法人運営のため、高齢者介護施設、障害者支援施設の利用率の安定・向上に取り組みました。

実績：特別養護老人ホーム	<u>97.0</u> %	（目標値：97%）
通所介護施設	<u>75.5</u> %	（目標値：85%）
障害者支援施設	<u>81.1</u> %	（目標値：95%）

事務部事業報告 目次

事務部事業報告	5
1. 基本方針	5
2. 重点目標	5
3. 地域貢献活動について	5
4. 会議について	6
5. 研修について	8
6. 防災計画について	9
7. 施設設備管理の点検強化	10
8. 苦情解決について	10
 総務課事業報告	 11
1. 基本方針	11
2. 重点目標	11
3. 事務の執行	11
4. 地域貢献活動	12
5. 防災対策	12
6. 施設管理（営繕）体制	13
7. 広報	13
8. 職員について	15
 栄養課事業報告	 18
1. 基本方針の遵守	18
2. 重点目標への対応	18
3. サービスの実際	18
4. 各施設との連携	20
5. 防災・その他非常時対策	20
6. 連絡調整・諸会議	20
7. 厨房設備等の更新	20
8. 給食状況報告	21
9. 特別献立実施状況	25
10. 給食委員会実施状況	26

事務部事業報告

1. 基本方針

法人事業が、高齢者福祉、障害者福祉及び児童福祉等と多岐にわたる中、事務局としての機能を更に発揮し、各主管部が適正かつ効率的に事業執行の支援に取り組みました。

2. 重点目標

- (1) 新型コロナウイルス等の感染症流行状況を注視しつつ、地域との交流や地域貢献活動に取り組みました。
- (2) 会計監査人の設置に伴い、的確な監査体制の整備と監査の実施により、法人の経営能力の向上に取り組みました。
- (3) 積極的な広報活動と資格取得・研修制度や福利厚生の実施により、多様な福祉人材の確保に取り組むことで組織運営の安定と強化を図りました。また、人材確保策の一つとして令和7年度登用に向け外国人の採用活動に取り組みました。

3. 地域貢献活動計画

- (1) 地域との相互交流について
新型コロナウイルス等の感染症予防対策を図りながら、第29回福栄会祭りを開催しました。出店や出演数の制限、開催時間の短縮を行う中での開催でしたが、たくさんの地域住民の方々に来場いただき交流が図れました。また、西大井地区のオータムフェスティバルやぐるっぽ祭りなどを開催し、地域との交流を深めました。
- (2) 各種講座等への参加呼びかけ
施設利用者を対象とした各種講座等に地域の方々の参加を呼びかけ、交流を図りました。
- (3) ボランティアの受け入れ
ボランティアセンターと連携を密にし、ボランティア活動の受け入れを徐々に開始しました。
- (4) 教員志望学生の体験学習や職場体験学習の受け入れ
教員免許取得希望学生や新規社会人の福祉施設での体験学習について、計画的な受け入れを実施しました。
- (5) 社会福祉法人としての役割
地域の福祉ニーズに対して先駆的に取り組むため、関係機関と連携し、地域福祉の拠点として活動しました。

4. 会議計画

(1) 理事会開催状況

第1回理事会 令和6年5月28日（木）

第1号議案 社会福祉法人福栄会第17期評議員選任にともなう候補者の推薦について

第2号議案 令和5年度事業報告について

第3号議案 令和5年度指定管理業務事業報告について

第4号議案 令和5年度決算について

第5号議案 社会福祉法人福栄会会計監査人の選任（案）について

第6号議案 社会福祉法人福栄会監事監査規則の制定について

第7号議案 就業規則等の改正について

第8号議案 給与規程第18条別表（3）諸手当支給表の改正について

第9号議案 障害者福祉事業所の運営規程の改正について

第10号議案 令和6年度定時（第110回）評議員会の開催について

第11号議案 役員等賠償責任保険契約について

報告事項①理事長及び業務執行理事（常務理事）業務執行状況報告

②令和6年度契約の締結について

③令和6年度職員採用計画について

④第三者評価について

⑤福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について

⑥その他

第2回理事会 ※書面決議

第1号議案 給与規程第18条別表（3）諸手当支給表の改正について

第2号議案 令和6年度第1回補正予算（案）について

第3回理事会 令和6年10月10日（木）

第1号議案 給与規程第18条別表（3）諸手当支給表の改正について

第2号議案 令和6年度第2回補正予算（案）について

報告事項①令和5年度決算における消費税課税計算の誤りについて

②品川区立西大井福祉園・西大井つばさの家ならびに品川区立かがやき園の指定管理者候補者公募への参加について

③令和6年度第1回苦情解決・サービス向上委員会について

④令和6年度第1回虐待防止対策委員会について

⑤福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について

第4回理事会 令和6年12月19日（木）

第1号議案 令和7年度運営計画について（意見交換）

第2号議案 国債・地方債等公募公債の購入について

報告事項①理事長及び業務執行理事（常務理事）業務執行状況報告

②令和6年度上半期実績報告について

③令和6年度第2回苦情解決・サービス向上委員会について

④令和6年度第2回虐待防止対策委員会について

⑤介護サービス事故に関わる損害賠償請求への対応について

⑥その他

第5回理事会 令和7年3月13日（木）

第1号議案 指定通所介護等事業等の運営規程の改正について

第2号議案 障害者支援施設及び共同生活援助事業所の運営規程の改正について

第3号議案 障害者相談支援センター等の運営規程の改正について

第4号議案 かもめ第一工房就労継続支援（B型）運営規程の改正について

第5号議案 組織管理規程の改正について

第6号議案 給与規程の改正について①

第7号議案 給与規程の改正について② ※給料表改定

第8号議案 育児・介護休業等に関する規則の改正について

第9号議案 資産管理規程の改正について

第10号議案 利用者預り金等取扱規程の改正について

第11号議案 令和6年度第3回補正予算（案）について

第12号議案 令和7年度事業計画（案）について

第13号議案 令和7年度指定管理事業計画（案）について

第14号議案 令和7年度当初予算（案）について

第15号議案 令和7年度契約の締結について

第16号議案 令和6年度第2回（第111回）評議員会の開催について

第17号議案 幹部職員の任免について

報告事項①精神障害者支援のための新規事業について

②令和6年度職員採用試験結果について

③その他

第6回理事会 令和7年3月27日（木）

第1号議案 理事の役割の解任について

第2号議案 幹部職員の解任について

第3号議案 幹部職員の任命について

報告事項①利用者負担金（実費相当額）の変更について

②その他

(2) 評議員会開催状況

令和6年度定時評議員会 令和6年6月20日(木)

第1号議案 令和5年度決算における計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録について

第2号議案 社会福祉法人福栄会会計監査人の選任について

報告事項①令和6年度第1回福栄会評議員選任・解任委員会審議結果について

②令和5年度事業報告について

③福栄会における新型コロナウイルスによる感染症対策について

④その他

第2回評議員会 令和7年3月27日(木)

報告事項①令和7年度事業計画について

②令和7年度当初予算について

③幹部職員の任免について

④その他

(3) 会議開催状況

運営会議	毎月第1、3木曜日開催
係長・主任会議	毎月第1火曜日開催
安全衛生委員会	毎月第4水曜日開催
防災委員会	毎月奇数木曜日開催
給食委員会	毎月第1水曜日開催

5. 研修について

法人研修では、集合研修、録画視聴及びオンラインによる研修と参加しやすい環境を作り職員の知識取得を図りました。また、外部研修等への参加のため、タブレット端末の貸し出しなど、人材育成を支援しました。資格取得に向けた研修会の実施や資格取得助成などの取り組みも積極的に実施しました。

(1) 新任職員フォローアップ研修

令和6年度に採用した職員に対し、10月1日(火)本部にて、15日(火)障害児者総合支援施設にて新任職員フォローアップ研修を行い、26名の職員が参加しました。

(2) 海外研修

12月1日(日)から8日(日)の間、ノルウェー/オスロ・トロンハイムで「ノルウェーにおける認知症支援について」の研修に高齢者福祉部の職員1名が参加し、それぞれ研鑽を深めました。

(3) 法人研修

①全職員を対象として、8月2日(金)・8月5日(月)・8月7日(水)に虐待防止研修を行い233名の職員が参加しました。また、全職員対象の虐待防止チェックリストを実施しました。

第1回 令和6年7月12日(木)～令和6年8月13日(火)

第2回 令和7年2月6日(木)～令和7年3月7日(金)

②全職員を対象とした感染症対策研修として、①新型コロナウイルス感染症における予防対応編、②ノロウイルス感染症予防(汚物・吐しゃ物処理方法)の2部構成の研修を企画しました。

第1回 9月19日(木)・26日(木)

第2回 10月8日(火)・10月30日(水)

第3回 11月7日(木)・11月12日(火)

計6回の研修を行い133名の職員が参加しました。

③常勤職員を対象として、各事業所にて情報セキュリティ研修を実施しました。

③業績評価の作業にあたる管理・監督職を対象として、業績評価研修を実施しました。

第1回 令和6年11月25日(月)

第2回 令和6年12月4日(水)

(4) 資格取得研修

介護福祉士	4名合格	社会福祉士	7名合格
精神保健福祉士	2名合格	保育士	6名合格
介護支援専門員	1名合格	第一種衛生管理者	2名合格

上級救命講習	3月17日(月)・3月19日(水)
上級救命再講習	令和7年1月15日(水) 午前・午後 2月3日(水) 午後

(5) 新任職員研修

令和6年度中途採用職員研修	3月11日(火)
令和7年度新採用職員全体研修	3月25日(火)～27日(木)
令和7年度新採用職員現場研修	3月28日(金)～31日(月)

6. 防災計画について

新型コロナウイルス感染症が落ち着いていたことから、従前通りの防災訓練を毎月1回実施しました。防災機器の点検や緊急時の連絡方法の確認等も同時に行いました。

また、事業継続計画に基づき、利用者及び近隣住民の方々に参加いただき、「合同防災訓練」や「炊き出し訓練」を実施しました。

7. 施設設備管理の点検強化

法人本部建物を始め、品川区より受託管理している各建物について、専門管理業者と共に適正な維持管理に努めました。

8. 苦情解決について

利用者サービスの向上・充実を図るため第三者委員による内部検査を実施し、利用者の立場になって業務を点検し改善を図りました。令和6年度は7月18日（火）、11月21日（木）に委員会を実施しました。令和6年度については、福栄会ならびに第三者委員による苦情等受付報告はありませんでした。

総務課事業報告

1. 基本方針

高齢者福祉、障害者福祉及び児童福祉等の施設運営を行う総合福祉施設という特色を生かし、人事、給与及び会計等の事務処理を総合的かつ効率的に執行しました。また、法人本部を中心として、感染症予防対策の徹底、各施設の環境整備、衛生備品の確保及び連絡調整を行い、感染症予防に取り組みました。

2. 重点目標

- (1) 積極的な広報活動を行うとともに、資格取得支援、研修制度及び福利厚生の実により、多様な福祉人材の確保と育成及び定着に取り組みました。また、令和7年度の登用に向け、外国人介護人材2名の採用に取り組みました。
- (2) 令和6年度から導入の会計監査人による監査について、効果的かつ効率的な監査を実施し、法人の経営能力及び内部管理体制の強化に取り組みました。
- (3) 地域社会から一層信頼される法人となるため、感染予防対策を実施しながら福栄会まつり等の地域交流事業や子ども食堂などの地域貢献活動に取り組みました。

3. 事務の執行

(1) 総合的な福祉施設としての効率的な事務処理

高齢者福祉、障害者福祉及び児童福祉等の施設運営を行う総合福祉施設という特色を生かし、人事、給与及び会計等の事務処理について、総合的かつ効率的な執行に取り組みました。また、効果的かつ効率的な監査の実施により法人の経営能力及び内部管理体制の強化を行いました。

(2) 福利厚生事業の充実

- ①職員の健康管理について、定期健康診断、成人病予防検査、インフルエンザ予防接種及びメンタルヘルスチェック等を実施し健康管理に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症についても、重度化リスクが高い高齢者福祉施設及び障害者福祉施設に対し、使い捨てマスク及びガウン等の衛生用品や検査キットの確保及び支給等に継続して取り組みました。

- ②職員親睦会への助成及び共済制度の活用により職員の福利厚生を充実させるとともに、日帰り旅行等の親睦会活動を通じて職員交流の充実を図りました。

(3) 事務処理の迅速化

会計と経理、請求事務と出納事務、人事と給与など業務区分を明確にし、会計監査人及び給与計算事務会社との連携を通じた迅速な事務処理を行いました。

令和6年度より導入する、会計監査人（公認会計士）による監査に向けて、規程等の整備・運用、会計処理の現状調査等に基づく指導・助言等の支援を受ける等、職員のスキルアップを図りました。

（4）情報管理体制の強化

福栄会の情報管理安全対策として職員向け研修等を実施し、個人情報等の適正な管理及び運用に努めました。

4. 地域貢献活動

（1）関係機関及び団体等との連携

新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、品川区、福祉施設、福祉団体及び近隣町会等と地域交流事業及び地域貢献活動への連携を積極的に行いました。

（2）施設機能の地域への提供

1階玄関前などで、地域有志のランチウの品評会や町会夏まつり等の地域行事への参加及び地域住民の施設行事への招待等について、感染予防を徹底しつつ実施しました。

（3）行事等の実施

新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、第29回福栄会祭りを開催しました。出店や出演数の制限、開催時間の短縮等を行う中での開催でしたが、たくさんの地域住民の方々に来場いただくなど地域交流を図りました。

また、本部中庭芝生周辺を中心に樹木やモチーフをLEDで装飾する「クリスマス・イルミネーション」を開催し、施設利用者や地域住民の方々に楽しんでいただきました。

5. 防災・感染予防対策

利用者の安全を確保するため、消防署と連携して改正震災マニュアルに基づいた防災対策を実施しました。また、福栄会事業継続計画（BCP）に基づき、自然災害及び感染症についての訓練・研修を実施しました。

（1）防火管理者の養成（資料③）

甲種防火管理者や小規模社会福祉施設の防火実務講習会等の資格取得に努めました。また、防災機器の取り扱いについての講習会を実施し緊急の場合に備えました。

（2）消防避難訓練の実施

毎月1回、昼夜想定消防避難訓練を実施しました。また、マニユ

アルを確認しつつ、職員に周知徹底を図りました。

(3) 福栄会事業継続計画（BCP）に伴う訓練の実施

自然災害等が発生した際、安定した福祉サービスの提供を継続させる方針、体制、手順等を定めた事業継続計画（BCP）に沿った避難訓練、参集訓練及び炊き出し訓練等を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等が発生した際のまん延防止のため、迅速かつ適切な感染予防対策がとれるよう訓練を実施しました。訓練実施後の評価を通して、災害及び感染症関連の研修内容や実施計画の見直し修正等を行いました。

(4) 救命講習（上級講習、自動体外式除細動器業務従事講習）

参加者は密にならないよう少人数での実施とし、新採用職員を中心に自動体外式除細動器業務従事講習（AED）を含めた上級救命講習会を年2回、上級救命再講習会を年6回実施しました。

(5) 近隣との協力

地元四町会及び品川消防団、品川消防署、品川警察署と合同で11月3日（日）に総合防災訓練を実施しました。ハシゴ車での避難体験などの実地訓練となりました。また、本部建物、品川区立かがやき園及び品川区立家庭あんしんセンターにおいて職員参集訓練を実施しました。

6. 施設管理

経年劣化した法人建物を適正かつ効率よく管理するため、建物ごとに保守管理計画を作成し実施しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、工事に関わる方への検温の実施や体調確認等を行い、感染防止に努めました。また、職員が立ち会うなど利用者の安全確保と工事個所の確認を適切に行いました。

7. 連絡調整・諸会議

他部課との連絡調整、品川区や法人各施設などと共に地域活動の連絡調整を行いました。

8. 広報

(1) ホームページ及び採用パンフレットの更新、また学校訪問や実習生への声かけなどを行い、多様な福祉人材確保に向けた広報活動に取り組みました。

(2) 法人の広報活動についてのあり方を幅広く検討し、福栄会についての

情報開示をより推し進め、区民及び関係者の理解と協力を得るように働きかけました。また、法人総合情報誌「ふくえいだより」の発行により、法人の活動状況の周知を図りました。

<福栄会総合情報誌「ふくえいだより」発行計画 8ページ・1000部発行>

第 98号・春号 令和6年 4月 5日 発行

第 99号・夏号 令和6年 8月21日 発行

第100号・秋冬号 令和6年12月23日 発行

9. 職員について

(1) 職員の配置状況

* () 内は準職員等数

令和7年3月31日現在

施設名	施設長	事務員	介護支援員	看護師	栄養士	医師	OT PT	計	委託
									運行
晴楓ホーム	1	(1) 1	(15) 34	(4) 1	1	(3)	1	(23) 39	
東海ホーム	1	1	(1) 4	1	1			(1) 8	
東品川在宅サービス課	1	(1) 1	(30) 16	(2) 1			(1) 1	(34) 20	(1)
大崎在宅サービス課	1	(3) 1	(18) 17	(5)				(26) 19	(2)
第一 しいのき学園	1	1	(10) 7	(2) 1		(2)		(14) 10	(2)
第二 しいのき学園	1	(1)	(13) 6					(14) 7	
福栄会障害者相談支援センター	1		4					5	
西大井福祉園 (グループホームを含む)	1	(1) 1	(20) 11	(2) 1		(1)		(24) 14	(1)
家庭 あんしんセンター	1	(1) 2	(25) 15			(1)		(27) 18	
かがやき園	1	(1) 2	(13) 19	1	1	(2)		(16) 24	
南品川むつみ園	1		(3) 2	(1)		(1)		(5) 3	
かもめ工房	1	(2)	(27) 12			(1)		(30) 13	
平塚・東品川高齢者多世代交流支援施設	2	(4)	(15) 3					(19) 5	
就学前乳幼児教育施設 (ぷりすくーる西五反田)	1	(2)	(10) 20	1		(3)		(15) 22	
障害児者総合支援施設 (ぐるっば)	3	2	(60) 47	2	1	(12)	(6) 2	(78) 57	(6)
計	18	(17) 12	(260) 217	(16) 9	4	(26)	(7) 4	(326) 264	(13)

※品川区地域包括支援センター出向1名

(2) 令和6年度の職員採用及び退職

令和6年度採用	4月 1日	介護福祉士	: 4名
		社会福祉士	: 4名
		精神保健福祉士	: 2名
		看護師	: 2名
		保育士	: 10名
		社会福祉主事	: 1名
		その他	: 2名

合計25名

令和6年度退職	3月31日	介護支援専門員	: 1名
		介護福祉士	: 7名
		社会福祉士	: 10名
		保育士	: 8名
		理学療法士	: 1名
		看護師	: 1名
		その他	: 5名

合計33名

(3) 職員採用活動

令和7年度新規職員採用は、見学説明会やオンラインでの就職説明会等を実施し、品川介護福祉専門学校など13学校や一般を含め27名の受験があり、うち中途採用者を含め20名を採用しました。これらの新規採用者については、5日間の事前研修を行い各施設に配属しました。

令和6年	6月15日(土)	受験者	3名	内定者	2名
令和6年	7月27日(土)	受験者	1名	内定者	1名
令和6年	8月24日(土)	受験者	2名	内定者	2名
令和6年	9月14日(土)	受験者	2名	内定者	2名
令和6年	10月12日(土)	受験者	5名	内定者	2名
令和6年	10月26日(土)	受験者	1名	内定者	1名
令和6年	10月28日(月)	受験者	5名	内定者	2名
令和6年	11月16日(土)	受験者	1名	内定者	1名
令和6年	12月14日(土)	受験者	2名	内定者	2名
令和7年	1月18日(土)	受験者	1名	内定者	1名
令和7年	2月15日(土)	受験者	3名	内定者	3名
令和7年	2月25日(火)	受験者	1名	内定者	1名

合計	27名	20名
----	-----	-----

※令和6年10月1日採用の常勤嘱託職員1名を除く。

(4) 職員親睦会について

新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら、令和6年度の職員親睦会活動を行いました。なお、職員親睦会総会については、福栄会本部2階どんぐり広場を使用し短時間での開催としました。

【日帰り旅行】

第1班	令和6年	7月	7日(日)	劇団四季アナと雪の女王
第2班	令和6年	8月20日(火)	バルバッコア高輪店buffet	
	令和6年	8月21日(水)	バルバッコア高輪店buffet	
第3班	令和6年	9月29日(日)	シャインマスカット狩り	
第4班	令和6年	10月26日(土)	横浜グランドホテルbuffet	
第5班	令和6年	11月22日(金)	品川プリンスホテルbuffet	

【忘年会】

令和6年	12月19日(木)	きゅりあん
------	-----------	-------

【総会】

令和7年	3月31日(月)	福栄会本部2階どんぐり広場
------	----------	---------------

栄養課事業報告

1. 基本方針の遵守

利用者、各施設職員、調理スタッフ3者間におけるコミュニケーションの場として、東海ホーム利用者及び東品川デイサービス利用者との給食懇談会を各1回実施し、利用者の意見を伺いました。

2. 重点目標への対応

(1) 利用者のニーズにあった食事の提供

喫食時の観察・声かけや残菜調査及び嗜好調査、給食委員会での意見交換、検食簿での評価等により利用者のニーズを把握し、献立に反映させることができました。

生活に潤いと日本の文化や季節を伝える行事食を年17回実施しました。

(2) 食品衛生管理の充実を図るため、給食施設における大量調理施設衛生管理マニュアルを遵守し、毎朝礼時における調理従事者の服装・毛髪・手指のチェックや厨房全域・器具機材配膳車等の清掃・消毒を厳重に行い、年間を通して食中毒予防に努めました。

(3) 厨房設備、備品類は計画に基づき更新を図り、厨房作業環境の構築に努めました。

3. サービスの実際

(1) 食事提供内容の充実と適切な食事習慣の育成等に向けた取り組みとして

① 選択食の充実

ア 朝食は通常米飯食・粥食での提供、毎週日曜日と水曜日はパン食メニューで提供しました。

イ 昼食時、主食(麺・丼)選択を年21回、主菜選択を8回実施しました。

② 嚥下困難者への食事の提供として、状態に応じて刻み食、みじん切り食、ペースト食で対応しました。

(2) 調理技術向上の取り組み

① 給食委員会を本部施設、西大井地区、品川区立障害児者総合支援施設でそれぞれ12回開催し、利用者のニーズの把握に努めました。

(3) 食品衛生管理の充実

① 定例給食委員会において食品衛生管理体制の確立を図りました。

② 厨房清掃の徹底を図るため、調理スタッフへ衛生状況改善の働きかけを常時(毎朝礼や会議にて)行いました。また厨房の水道水(飲料水)の残留塩素濃度測定を毎日行いました。

③ 調理従事者の健康管理

- ア 検便を毎月 1 回、調理師のノロウイルスの検査も毎月 1 回実施しました。
- イ 健康診断を年 1 回実施しました。
- ウ 毎日、自己チェックと朝礼時の全体相互チェックを行いました。

(4) 栄養管理

①栄養摂取基準量

令和 6 年 4 月 1 5 日現在で、利用者個々の年齢・性別・基礎代謝量・生活活動強度により適正量を算出し、各施設の令和 6 年度目標栄養量を設定しました。

②①の栄養摂取基準量に基づき、食品構成表を作成しました。

③献立作成

②の食品構成に基づき、利用者の嗜好や歳時・季節感等を考慮しながら高齢者・知的障害者向けにそれぞれバランスのとれた献立を作成しました。

④栄養ケアマネジメント

特別養護老人ホーム（晴楓ホーム）及び障害者入所施設（かがやき園）の各利用者に栄養ケアマネジメントを実施し、計画に沿ったサービスの提供により適正な栄養管理や肥満防止に努め、栄養管理体制の充実を図りました。

(5) 食事の種類

①一般食（常食）

②摂食・嚥下機能に応じて軟菜食の一口大・刻み食・みじん切り食・ペースト食で対応しました。

③生活習慣病など医療的配慮を必要とする場合や、機能障害等に対応した療養食にも対応しました。

④アレルギーや禁忌食品に対応し代替食を実施しました。

(6) 食事時間

朝食 7：30～8：30 まで、昼食 12：00～13：00 まで、夕食 17：45～18：45 まで、概ね時間通りに食事の提供を行いました。

(7) 行事食等

①日本人の食文化や季節を伝える行事食を概ね毎月 1 回実施しました。

②ミニバイキングに代わるお楽しみ給食を年 4 回実施しました。

(8) 配食サービス

八潮ミニサロンへのお弁当配食を 12 回行いました。合計 259 食を提供しました。

(9) 1 食当たりの食材単価は下表により履行しました。

	高齢者部門	障害者部門	職員・外来	配 食
朝 食	210 円	210 円	210 円	—
昼 食	340 円	340 円	340 円	340 円
夕 食	310 円	310 円	330 円	—

なお、行事食については別枠で行いました。

(10) 検食・保存食

- ①検食・・・栄養士及び各施設管理者が毎食実施し、記録しました。
- ②保存食・・・1品50gを2週間以上冷凍保存しました。

(11) 食事管理

献立と調理内容の適合、個別の食種コメント等のチェックを配膳前に行い盛り付けや食器の工夫など、食事環境面にも配慮しました。

4. 各施設との連携など

(1) 調査・研究

- ①嗜好調査・・・各施設職員の協力を得て嗜好調査を実施し、結果をもとに献立に反映させることができました。
- ②残菜調査・・・毎食ごとに残菜を確認し、喫食状況の観察とあわせて必要な栄養量が確保されているか確認しました。

(2) 栄養指導・相談

医師・看護師・介護職員からの要請に応じて実施しました。

5. 防災・その他非常時対策

- (1) 業務終了時におけるガス器具の元栓、電気器具の電源の点検と記録を確実に行いました。
- (2) 法人本部の防災訓練時に合わせ、課内初期消火訓練に取り組みました。
- (3) 非常食の有効利用を目的として、消費期限の直前に献立に取り入れて提供し、使用分の補充も行いました。

6. 連絡調整・諸会議

(1) 課内連絡

朝礼を毎日実施し必要事項の確認等を行いました。

(2) 他部門との連絡

- ①晴楓ホーム職員朝礼と事務部朝礼に栄養士が合流しました。
- ②給食委員会を毎月実施し、栄養士・調理師・各施設管理者及び給食委員が参加しました。

(3) 利用者給食懇談会

東海ホーム利用者及び東品川デイサービス利用者との給食懇談会を各1回実施し、利用者の給食に関する意見などをお聞きしました。

7. 厨房設備等の更新

本部施設厨房設備の更新を次のとおり実施しました。

- (1) スチームコンベクションオーブン
- (2) 本部3階厨房シンク・床改修工事一式
- (3) 大崎在宅サービスセンター厨房の備品補充

8. 給食状況報告

(1) 福栄会本部

利用者(延食数) R6.4.1～R7.3.31

施設 食種・形態		晴楓	ショート ステイ	東海	東品川S・C		しいのき			計(人)	
					デイ	配食	第1	第2	むつみ園		
主食	米飯	21,273	5,966	39,075	10,016	259	8,017	10,915	1,807	97,328	
	粥	55,772	2,083	10,648	1,086	0	766	0	0	70,355	
	流動	6,354	0	0	0	0	0	0	0	6,354	
計		83,399	8,049	49,723	11,102	259	8,783	10,915	1,807	174,037	
一般食	常食	普通	9,110	3,998	36,467	8,204	259	5,160	10,201	1,807	75,206
		一口切	549	134	2,355	189	0	360	45	0	3,632
		刻み	555	16	0	24	0	48	0	0	643
		みじん	0	0	0	0	0	91	0	0	91
	軟菜食	普通	4,632	21	1,699	245	0	0	0	0	6,597
		一口切	17,806	1,586	6,816	1,583	0	1,893	210	0	29,894
		刻み	20,807	707	0	297	0	216	0	0	22,027
		みじん	0	0	0	0	0	413	0	0	413
	ペースト食		18,252	444	0	6	0	0	0	0	18,702
	経管流動食		6,354	0	0	0	0	0	0	0	6,354
治療食	減塩食	普通	624	529	446	185	0	0	459	0	2,243
		一口切	1,750	158	1,883	72	0	0	0	0	3,863
		刻み	1,866	435	57	1	0	0	0	0	2,359
		ペースト	66	0	0	0	0	0	0	0	66
	糖尿病食	普通	1,028	17	0	223	0	262	0	0	1,530
		一口切	0	0	0	73	0	123	0	0	196
		刻み	0	4	0	0	0	217	0	0	221
		みじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ペースト	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	普通	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		一口切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		刻み	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		流動	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貧血症										
計		83,399	8,049	49,723	11,102	259	8,783	10,915	1,807	174,037	

外来食

視察者	家族	ボラ	実習生	その他	体験利用	計
7	0	13	597	0	186	803

職員食

計
26,153

(2) 西大井福祉園

利用者(延) R6. 4. 1～R7. 3. 31

食種・形態			西大井福祉園
主食	米飯		9,726
	粥		24
	ミキサー粥		233
計			9,983
一般食	常食	普通	8,841
		一口切	632
		刻み	0
		みじん	0
	軟菜食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	ペースト食		257
	流動食		0
治療食	減塩食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
	糖尿病食	普通	0
		一口切	0
		刻み	0
		みじん	0
	脂肪制限	普通	0
		一口切	0
	その他	刻み	253
		みじん	0
	計		9,983

外来食

実習生	グループホーム	ボランティア
168		2
研修	視察	計
		170

職員食

計
3,759

(3) 大崎在宅S・C

利用者(延) R6. 4. 1～R7. 3. 31

食種・形態			大崎在宅S・C
主食	米飯		8,784
	粥		1,407
	ミキサー粥		19
計			10,210
一般食	常食	普通	7,976
		一口切	1,036
		刻み	192
		みじん	1
	軟菜食	普通	94
		一口切	359
		刻み	49
		みじん	0
	ペースト食		79
	流動食		0
治療食	減塩食	普通	0
		一口切	380
		刻み	2
	糖尿病食	普通	41
		一口切	1
		刻み	0
		みじん	0
	蛋白制限	普通	0
		一口切	0
	その他	刻み	0
		みじん	0
	計		10,210

外来食

実習生	視察者	その他
22		
		計
		22

職員食

計
4,986

(4) かがやき園

利用者(延食数) R6.4.1~R7.3.31

施設 食種・形態		入所者	ショート	計(人)		
主食	米飯	26, 975	1, 097	28, 072		
	粥	1, 304	39	1, 343		
	流動	0	0	0		
計		28, 279	1, 136	29, 415		
一般食	常食	普通	13, 264	1, 052	14, 316	
		一口切	6, 957	19	6, 976	
		粗刻み	5, 004	39	5, 043	
		刻み	1, 754	6	1, 760	
		みじん	186	0	186	
	軟菜食	普通	0	0	0	
		一口切	0	0	0	
		粗刻み	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
		みじん	0	0	0	
	ペースト食		1, 114	20	1, 134	
	療養食	減塩食	普通	0	0	0
			一口	0	0	0
糖尿病食		普通	0	0	0	
		一口切	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
		みじん	0	0	0	
糖・腎食		一口	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
糖・肝食		普通	0	0	0	
脂肪制限		普通	0	0	0	
		刻み	0	0	0	
計		28, 279	1, 136	29, 415		

外来食

職員食

体験	家族	実習生	その他	計	計
		300	77	377	4,637

(5) 品川区立障害児者総合支援施設

利用者(延食数) R6.4.1～R7.3.31

施設 食種・形態		生活 介護	就労 B	ショート	児童 学園	計(人)		
主食	米飯	5,494	1,437	6,606	7,486	21,023		
	粥	480	0	60	21	561		
	流動	0	0	0	0	0		
計		5,974	1,437	6,666	7,507	21,584		
一般食	常食	普通	4,564	1,207	6,346	7,318	5,771	
		一口切	700	230	80	148	930	
		粗刻み	0	0	0	0	0	
		刻み	230	0	60	20	230	
		みじん	230	0	60	0	230	
	軟菜食	普通	0	0	0	0	0	
		一口切	0	0	0	0	0	
		粗刻み	0	0	0	0	0	
		刻み	0	0	0	0	0	
		みじん	0	0	0	0	0	
	ペースト食		250	0	120	21	250	
	療養食	減塩食	普通	0	0	0	0	0
			一口	0	0	0	0	0
糖尿病食		普通	0	0	0	0	0	
		一口切	0	0	0	0	0	
		刻み	0	0	0	0	0	
		みじん	0	0	0	0	0	
糖・腎食		一口	0	0	0	0	0	
		刻み	0	0	0	0	0	
糖・肝食		普通	0	0	0	0	0	
		脂肪制限	普通	0	0	0	0	0
計		5,974	1,437	6,666	7,507	21,584		

外来食

視察者	家族	ボラ	実習生	その他	体験利用	計
0	4	14	284	4	16	322

職員食

計
12,465

9. 特別献立実施状況（令和6年度）

◎…東海ホーム昼食

◇…入所施設（高齢者、知的障害者）

△デイサービス

実施日		行事名	献立内容
5月	1日 水	開設記念日 /昼食	あさりの和風スパゲッティ サラダ スープ プリン
	5日 日	こどもの日	太巻きといなり寿司 鶏肉と茄子の煮物 すまし汁 鯉のぼりようかん
6月	23日 日	◎お楽しみ給食	生とうもろこし御飯 椀盛り茶そば 天ぷら 新じゃが煮 茶碗蒸し 焼き茄子とみょうがのお浸し 赤だし あじさいゼリー
	7日 日	七夕 /昼食	七夕そうめん えびのかき揚げ 筑前煮 七夕ゼリー
	24日 水	土用の丑 /昼食	鰻と卵の二色丼 いかつみれと大根の煮物 うぐいす煮豆 すまし汁
	16日 月	敬老の日 /昼食△	鮭の混ぜ寿司 肉詰めいなりと冬瓜の旨煮 味噌汁 いちごロールケーキ
		/夕食	赤飯 鯛の塩焼 天ぷら盛り合わせ 炊き合わせ 茶わん蒸し お吸い物 紅白ゼリー 梨
	17日 火	十五夜 /昼食	御飯 鶏肉のクリームソース ポパイサラダ スープ お月見ゼリー
	22日 日	秋分の日 /昼食	御飯 鰯の塩麴焼 鶏じゃが 味噌汁 おはぎ
	20日 日	◎お楽しみ給食	栗御飯 きのこそば ぶりの柚庵焼 牛肉と里芋の煮物 和え物3種 赤だし スイートポテトフルーツ添え
11月	3日 日	文化の日 /夕食	鉄火丼 炊き合わせ 味噌汁 マスカットゼリー
	24日 日	◎寿司の日	にぎり寿司 さんまの生姜煮 春菊の菊花和え だし巻 赤だし ぜんざい
12月	22日 土	冬至 /昼食	御飯 白身魚の梅しそ焼 南瓜のそぼろ煮 味噌汁 バナナ
	25日 水	クリスマス /昼食	ケチャップライス ローストチキン コーンポタージュ ケーキ
	31日 火	大晦日 /夕食	御飯 めばるの粕漬焼 竹輪と牛蒡の金平風 味噌汁 年越しそば
1月	1日 水	◇朝食 祝い膳	雑煮 紅白蒲 伊達巻 黒豆 数の子 紅白なます ヨーグルト
		◇昼食 (二の重)	赤飯 鯛塩焼 松風焼 日の出海老 煮べ 栗きんとん 吸い物
		◇夕食	天井 菜の花の白和え キャベツ浅漬 赤だし みかん
	2日 木	◇朝食 祝い膳	七福神雑炊 錦玉子 昆布巻 豆きんとん かぶの菊花あん 牛乳
		◇昼食	海鮮ちらし寿司 ほうれん草のお浸し りんごの赤ワイン煮 味噌汁
		◇夕食	御飯 中華盛り合わせ 大根の五色和え 中華スープ 杏仁豆腐
	7日 火	◇七草 /朝食	七草粥 がんもと里芋の含め煮 春菊の和え物 味噌汁 牛乳 梅びしお
	11日 土	鏡開き /昼食	きつねうどん 鶏肉と茄子のポン酢和え ぜんざい
	15日 水	◇小正月 /夕食	小豆粥 鶏肉のくわ焼 ひじきと大豆の五目煮 パイナップル 味噌汁
	2日 日	節分 /夕食	恵方巻 筑前煮 オクラの生姜浸し 昆布豆 鯛のつみれ汁
2月	16日 日	◎お楽しみ給食	天井 肉詰稲荷と茄子の煮物 茶碗蒸し カニと胡瓜の酢の物 赤だし フルーツポンチ
	3日 月	ひな祭り /昼食	雛ちらし 豚肉と南瓜の含め煮 お吸い物 さくらゼリー
	20日 木	◇春分の日 /夕食	御飯 豆腐入り和風ハンバーグ 小松菜のポン酢和え おはぎ すまし汁

10. 給食委員会実施状況(令和6年度)

開催地	福栄会本部（毎月第1水曜日）	かがやき園（毎月第1木曜日）	品川区立障害児者総合支援施設
当該施設	晴楓ホーム・東海ホーム・しいのき学園 東品川在宅サービスセンター 大崎在宅サービスセンター	かがやき園・西大井福祉園	品川区立品川児童学園・生活介護
4月	給食委員会の主旨について 令和6年度利用者名簿の提出について	栄養ケア計画書の報告① かがやき園厨房シンク入れ替え実施について	献立の振り返り・予定献立について 新年度の給食について
5月	東海ホームお楽しみ給食開催について 令和6年度食事摂取基準量について 東海ホーム・東品川デイサービス利用者 給食懇談会の再開の可否について 予定献立について	本部福栄会まつり参加に伴う給食キャンセルについて 令和6年度加重平均食事摂取量の見直しについて 令和6年度非常食の活用について	献立の振り返り・予定献立について 令和6年度食事摂取基準量について 献立の組み合わせについて 七夕メニューについて
6月	東海ホームお楽しみ給食開催について 感染症・食中毒対策について 予定献立について	お誕生日外出（外食）企画について かがやき園利用者新型コロナ感染状況報告 栄養報告書提出（上半期）	献立の振り返り・予定献立について 食品による窒息について
7月	6月東海ホームお楽しみ給食の振り返り 予定献立について	五月会（自治会）外部弁当の再開について 西大井福祉園給食に乳カル酵素ファイバー使用開始 西大井福祉園食数管理の担当変更（知久栄養士の退職に伴う） 空調工事にて食堂冷房使用不可。9月まで2階で給食摂取 七夕そうめん企画について	献立の振り返り・予定献立について 日中一時支援の夏休みの給食について
8月	予定献立について 一富士フードサービス欄担当チーフ及び営業課長の変更報告	運動会企画について（昼食は弁当を用意） 一富士フードサービス欄担当チーフ及び営業課長の変更報告	献立の振り返り・予定献立について 適温給食、アレルギー食について
9月	食形態の見直しについて 敬老の日のメニューについて 東海ホームお楽しみ給食開催について 予定献立について	夏祭り企画について（8月より延期している） 西大井利用者禁止食材の確認 かがやき園日帰り旅行について（下半期実施）	献立の振り返り・予定献立について コロナ感染症発生時の給食について
10月	食形態の見直しについて（試食） 東海ホームお楽しみ給食のメニューについて 晴楓・東海にぎり寿司の提供について 予定献立について	オータムフェスティバル実施 空調工事にて厨房使用不可。日清医療食品の冷凍弁当を提供 ※工事中は1階作業室を厨房として活用 ※冷凍ストッカーをレンタル ハロウィン行事食実施 栄養ケア計画書の報告②	献立の振り返り・予定献立について クリスマス献立について
11月	10月東海ホームお楽しみ給食の振り返り 晴楓・東海にぎり寿司の提供について 障害者部門利用者の体重測定値の入力依頼 予定献立について	西大井福祉園日帰り旅行について（11月～12月実施）	献立の振り返り・予定献立について 日中一時支援の冬休みの給食について 品川児童学園の食材の切り方について 年末年始について
12月	11月にぎり寿司提供の振り返り 年末年始の行事予定について 食形態変更の進捗報告	クリスマス行事食について 栄養報告書提出（下半期） 新型コロナ感染拡大	献立の振り返り・予定献立について 日中一時支援の冬休みの給食について 年末年始について 成人の祝膳について
1月	年末年始行事食の振り返り 東品川デイ給食懇談会の結果報告 予定献立について	新型コロナ感染拡大に伴う年末年始利用者帰宅中止 （行事食もあわせて中止）	献立の振り返り・予定献立について ひな祭り献立について 食生活アンケートについて
2月	東海ホームお楽しみ給食開催について 東海ホーム給食懇談会の結果報告 嗜好調査の実施について 予定献立について	節分行事食実施 嗜好調査結果報告について かがやき園エントランス工事（厨房搬入口変更） かがやき園感染性胃腸炎拡大	献立の振り返り・予定献立について 令和7年度の給食について
3月	2月東海ホームお楽しみ給食の振り返り 嗜好調査結果報告について 食形態変更の結果報告 予定献立について	給食食材費見直しについて アレルギー食材の対応について確認	献立の振り返り・予定献立について 食生活アンケートの報告

高齢者福祉部事業報告 目次

高齢者福祉部事業報告	29
晴楓ホーム事業報告	30
東海ホーム事業報告	43
在宅サービス課事業報告	51
在宅介護支援センター事業報告	55
品川区東品川在宅介護支援センター	
品川区大崎在宅介護支援センター	
通所介護事業所事業報告	59
東品川在宅サービスセンター	
品川区立大崎在宅サービスセンター	
品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム	
認知症対応型通所介護事業所	64
東品川在宅サービスセンター	
品川区立大崎在宅サービスセンター	
品川区ヘルパーステーション東品川事業報告	77
東品川わかくさ荘事業報告	79

高齢者福祉部事業報告

1. 基本方針

利用者の人権を尊重し、利用者に寄り添ったサービスを行いました。

利用者の能力に応じて自立的な暮らしができるように利用者・家族・職員との協力関係の構築に努め支援を行いました。

また、利用者の健康維持に努め大切に、感染症に対する予防及び罹患者発生時の対応に努めました。

2. 重点目標

(1) 生活施設及び通所施設において利用者の安全を第一とし、利用者及び家族が安心して利用できるサービスの提供をしました。各通所施設及び訪問事業においては、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に留意した上で事業継続に努めました。

(2) 地域との連携を図り地域に根ざした施設運営を行うとともに、利用者それぞれの高齢化に伴う状態及び状況に対しそのご家族を含めて生活を支えるための適切なサービスの提供を行いました。

(3) 利用者サービスの更なる向上と魅力溢れる職場づくりを行うため、既存事業の見直し、新たな事業展開、計画的な施設改修等について「福栄会3か年計画」に基づいて推し進めました。

東品川在宅サービスセンター浴室のLED化照明工事を行い、安全で快適な環境を整備しました。

(4) 各施設の利用実績

①晴楓ホーム

ホーム事業（80床）	短期入所生活介護（8床）	合計利用率（88床）
97%	116.1%	98.4%

※短期入所生活介護(ショートステイ)は空床利用(4床)を含めた数値。

②在宅サービス事業（通所介護・訪問介護・居宅介護支援）

東品川在宅サービスセンター	69.5%
認知症デイホーム	52.7%
大崎在宅サービスセンター	76.0%
〃 認知症デイサービス	61.3%
五反田ふれあいデイホーム	69.5%
ヘルパーステーション東品川	368.3時間

③東海ホーム（軽費老人ホームA型）

ホーム事業（50名）	98%
------------	-----

晴楓ホーム（特別養護老人ホーム・介護老人福祉施設）事業報告

1. 事業実績報告

晴楓ホームとショートステイの年間合計利用率は、98.4％でした。

（ホーム97％・ショート116.1％）

令和6年度月別利用率の推移（定員：ホーム80名・ショート8名）（単位％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ホーム	96.4	97.5	94	92.4	98	97.2	99	100	99
ショートステイ	115.8	121.1	127.1	113.3	107.3	122.1	116	123	112.1
合計利用率	98.2	100	97	94.3	98.5	99.4	100.1	103	100

	1月	2月	3月	年間利用率	令和5年度年間利用率
ホーム	95	98	95.1	97	96.4
ショートステイ	109	122.3	106.5	116.1	127.4
合計利用率	96.2	100	96.1	98.4	99.2

※小数点第二位四捨五入

2. 重点目標報告

（1）利用者の健康管理に留意し、利用率の確保に努めます。

利用者の健康管理に留意し、嘱託医、ご家族と連携し、早期発見、早期対応に努めました。

事故防止対策として、リフト操作の実技勉強会を実施しました。また、緊急対応訓練を事業所内研修で行い、対応技術の向上を図りました。

また、搜索訓練の実践研修も実施しています。事故報告・ヒヤリハット報告書を再発防止に活用し、転倒防止用のセンサーマット（床用・ベッド用・車椅子用）等の活用を行いました。

感染症の予防対策として、利用者、職員の体温チェック、手洗い、マスクの装着等を行い、感染予防に努めてきましたが、令和6年5月、同9月及び令和7年2月に晴楓ホーム内でコロナウイルス感染が発生し、主治医、協力医療機関指導のもと対応を行いました。

（2）人材の確保及び育成に努めます。

新採用職員や経験の浅い職員がより確実に業務を取得し、専門性を積み重ねることができるようOJT研修を年間を通してに行いま

した。

キャリアパス研修制度に基づいた外部研修や資格取得及びスキルアップを目的にした養成研修、講習会に計画的に参加しました。介護職員が1名、実務者研修を受け、介護福祉士国家試験に合格しました。

東京都の医療的ケア実地研修を職員2名が受講し認定を受けています。

各階設置した天井走行式リフト、床走行リフトを安全に使用するために実施研修を開催しました。

利用者の安全及び職員の業務軽減を鑑み、眠りスキャンや見守りカメラ等のデジタル機器を活用し、生産性向上を意識して取り組みました。

(3) 事業継続計画（自然災害及び感染症）に取り組みました。

安心で快適な生活空間を継続して提供するために、感染症及び地震、水害等自然災害発生時における事業継続訓練（BCP）に取り組みました。

令和6年度は、それぞれの計画書の読み合わせを行い、計画内容の理解に努め、実践訓練（竈ベンチや簡易ベットの組み立て、ゾーニングやガウンテクニックの見直し等）も実施しました。

福祉避難所としての役割についても、地域の要援護利用者に安心いただけるように、品川区と連携し進めてまいります。

3. 家族との連携・協力

コロナウイルスや胃腸炎蔓延のため、家族懇談会は、令和6年度も開催できませんでした。1階のパブリックスペースでの面会（予約制）を感染症の蔓延の推移を見極めながら継続実施しました。

4. 身体拘束廃止・虐待防止

(1) 身体拘束廃止に向けた取り組み

随時、身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束の廃止に向けた取り組みとして、介護用品を活用し、センサーマットや立位時にブレーキが掛かる車椅子等の使用を調整しました。

(2) 利用者に対する人権擁護（虐待防止）

利用者の人権を擁護するとともに、対人援助における介護者の精神的ストレスを軽減するため、チームでのケア「抱えない介護」の取り組みを行い、虐待を生まない施設作りを行いました。

ホーム内でも、法人の虐待防止研修、内部研修として、動画配信等

を活用し、虐待防止（身体拘束）研修を実施しました。

法人の取り組みである虐待防止チェックを2度行い、その結果を基に事業所内で事例検討や意見交換等を行いました。

また、アンガーマネジメントに関する意見交換を行いました。

5. 機能回復訓練の実施について

（1）個別機能訓練実施計画書に基づく機能訓練の実施

機能訓練指導員（理学療法士）・介護・看護チームと作成した個別機能訓練実施計画書に基づき、リハビリを実施し、利用者の身体機能の維持・向上に努めました。

（2）感染症対策に留意しつつ、各利用者の生活に必要なリハビリテーションを行いました。

感染症の影響でリハビリ室に誘導が困難な時期は、利用者に対して、フロアで離床時やベット周りでのリハビリの機会を増やしました。

また、車椅子上の食事姿勢の安定を目的にするなど、より生活に関連するリハビリを実施しました。各利用者の生活上での問題点に着目し、車椅子やベッドでの安楽なポジショニング、クッションの置き方等の検討を介護職と連携して行いました。

ショートステイ利用者についても、感染症対策に留意したうえでリハビリプログラムを提供しました。

（3）職員の腰痛予防対策を一層推進しました。

機能訓練指導員が利用者の状態に合わせたリフト・シートの種類の選択、使用方法の確認を行いました。安全にも一層配慮し、退院後や骨折後の利用者のリフト移乗の確認を介護職員と一緒に行いました。

リフト移乗による機能低下の可能性についても着目し、残存機能の評価を行い立位機能のある利用者には トランスファーボード・ターンテーブル等の介護用具を使った移乗方法の検討も併せて行いました。

6. 東京都福祉サービス第三者評価受審及び自己評価の実施

（1）福祉サービス第三者評価の受審

今年度は「第三者評価 利用調査」を受審し、現状のサービス内容の客観的評価を受け、新年度の晴楓ホームの諸活動に活かすように努めます。

（2）施設サービス自己評価の実施

令和5年度に実施した施設サービス自己評価結果（セルフチェック）に基づき、サービス向上計画を作成しサービスの質の向上に努めました。

晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業報告

1. 事業実績報告

令和6年度晴楓ホーム併設型短期入所生活介護事業の年間利用率は、116.1%でした。

2. 重点目標報告

特別養護老人ホーム 晴楓ホーム利用者の入院等で生じる空床利用を推進し、多くの利用者がサービスを利用できるようになりました。

入退所業務を担当する中堅職員の育成に努めることで、円滑な入退所業務を行うことができました。

キャンセル等の空床が生じた場合は、キャンセル待ちの利用者等に速やかに連絡するなど柔軟に対応し、利用者のニーズに応えるように努めました。

品川区、在宅支援センター等からの緊急の利用要請（年末年始を含む）に対しては、特養の空所ベットも活用し、可能な限り受け入れを行いました。

フロアで感染症発生時の利用においては、利用者様やご家族にご説明を丁寧に行い、利用の判断をしていただきました。

ご家族や介護支援専門員の情報提供に基づき利用者の入所時のバイタルチェックを確実にを行い、感染症対策に努めました。

3. 晴楓ホーム実績資料

(1) 利用者の入退所状況(入院退所・退院再入所を含む)

		入 所 者 数				退 所 者 数			1日付
		在宅	病院を退院	退院再入所	その他	入院	死亡	その他	在籍者数
4月	男	0	0	1	1	1	0	0	14
	女	1	1	4	1	4	1	0	65
	計	1	1	5	2	5	1	0	79
5月	男	0	0	0	0	0	0	0	13
	女	1	0	0	0	0	0	0	65
	計	1	0	0	0	0	0	0	78
6月	男	1	0	1	0	2	0	1	12
	女	2	0	3	0	7	0	1	61
	計	3	0	4	0	9	0	2	73
7月	男	0	0	1	1	2	0	0	12
	女	2	0	5	1	2	1	0	66
	計	2	0	6	2	4	1	0	78
8月	男	0	0	1	1	0	0	0	14
	女	0	0	1	1	2	2	0	64
	計	0	0	2	2	2	2	0	78
9月	男	0	0	0	0	0	0	0	14
	女	0	0	0	0	1	0	0	63
	計	0	0	0	0	1	0	0	77
10月	男	0	0	1	0	1	0	0	14
	女	1	0	2	1	0	0	0	67
	計	1	0	3	1	1	0	0	81
11月	男	0	0	0	0	0	0	0	14
	女	0	0	1	0	2	1	0	65
	計	0	0	1	0	2	1	0	79
12月	男	0	1	0	0	0	0	0	15
	女	1	0	1	0	4	0	0	64
	計	0	1	1	0	4	0	0	79
1月	男	0	0	2	0	4	0	0	13
	女	0	0	8	0	10	1	0	61
	計	0	0	10	0	14	1	0	74
2月	男	0	0	2	0	1	0	0	14
	女	0	1	3	1	1	0	1	64
	計	0	0	5	1	2	0	1	78
3月	男	0	0	1	0	3	1	0	11
	女	1	0	1	0	2	0	0	64
	計	1	0	2	0	5	1	0	75
6年度総計		9	2	39	8	49	7	3	
5年度総計		23	9	32	5	61	5	1	

※退所欄「その他」は在宅復帰者・一時利用(入所)契約の終了者等。

※入所欄「その他」は、軽費老人ホーム・老人保健施設、有料老人ホーム等からの入所。

※入院による退所は7日経過後の人数。(介護保険法上の規定)

[最近3年間の推移]

年度	入所者数	退所者数
4	86	75
5	69	67
6	58	59

(2) 年齢分布等の構成

令和7年 3月31日現在(以下同)

年齢区分	男 性		女 性		計	
	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)	人数	構成比 (%)
100歳以上	0	0.0	3	4.7	3	3.8
95～99	0	0.0	12	18.8	12	15.0
90～94	4	36.4	16	25.0	20	25.0
85～89	2	18.2	21	32.8	23	28.8
80～84	4	36.4	8	12.5	12	15.0
75～79	0	0.0	4	6.3	4	5.0
70～74	0	0.0	0	0.0	0	0.0
60～64	1	9.1	0	0.0	1	1.5
計	11	100.0	64	100.0	75	100.0

(小数点第2位四捨五入)

平均年齢 90.4歳

最高年齢 103歳

男性 85.4歳

最低年齢 69歳

女性 91.3歳

※過去平均年齢 令和3年度88.5歳 令和4年度87.7歳 令和5年度87.8歳

男女比

性 別	人数	(%)
男 性	11	14.7
女 性	64	85.3
合 計	75	100.0

(3) 認知症日常生活自立度状況 (年度末現在)

認知レベル	4年度	5年度	6年度	%
自 立	3	1	0	0.0
I (軽度)	3	5	3	4.0
II (中度)	13	18	12	16.0
III (重度)	32	36	39	52.0
IV (最重度)	28	16	15	20.0
M (治療対象レベル)	1	4	6	8.0
合 計	80	80	75	100

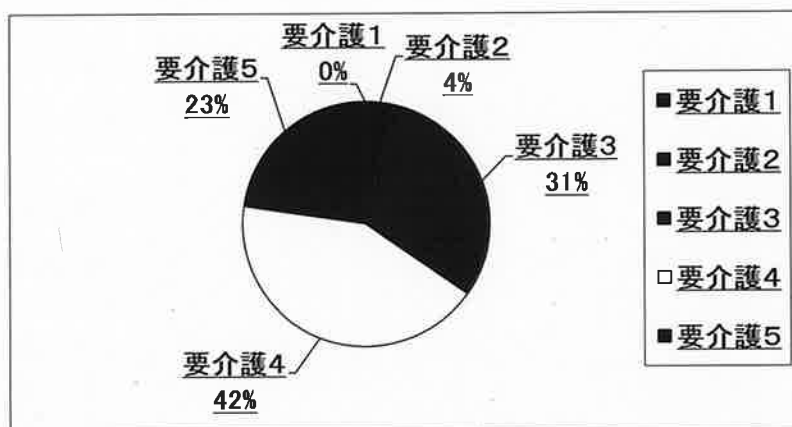
※Ⅱ・Ⅲは各々a・bに分かれるが一括して集計

※Ⅲ以上の割合：80% (5年度70%)

(4) 要介護度別分布

区 分	要 介 護 度 別 内 訳					計
	1	2	3	4	5	
人 数	0	3	23	32	17	75
構成比 (%)	0.0	4.0	30.7	42.7	22.7	100.0
令和5年度構成比	0.0	1.3	43.0	53.1	26.6	100.0

※ 4+5 合計割合比率：4年度 62.1% 5年度 63.8% 6年度 65.4%



※ 平均要介護度：令和3年度 4.0 同4年度 3.9 同5年度 3.8

(5) ホーム骨折件数及びインフルエンザ等感染症発生状況

月	日	年齢	発生部位	時 間	発生場所	入院期間	処 置
7	27	86	恥坐骨骨折	7時55分	食堂	0	保存
11	28	82	腰椎圧迫骨折	21時30分	居室	0	保存
						0	
						0	
						0	
						0	
合計	2		※令和5年度骨折件数6件				

・インフルエンザ罹患患者（A・B型）－0名・胃腸炎罹患患者－2名

※インフルエンザ予防接種－78名

・コロナウイルス罹患患者－20名（入院者3名、施設内健康観察対応17名）

(6) ホーム救急車要請件数

月	日	年齢	症 状	時 間	場 所
4	25	87	SP02低下	15時38分	居室
4	26	89	転倒	2時40分	居室
4	27	83	意識レベル低下	9時20分	居室
5	8	81	呼吸停止	16時05分	居室
5	24	68	SP02低下、熱発	21時45分	居室
5	26	83	コロナ罹患	9時00分	居室
5	28	85	SP02低下	16時45分	居室
6	6	93	徐脈	0時25分	居室
6	13	88	SP02低下	16時35分	居室
6	27	88	転倒、心停止	3時12分	1階
7	3	90	嘔吐	2時30分	居室
7	7	95	SP02低下	0時50分	居室
8	25	95	バイタル低下	13時10分	居室
11	19	77	SP02低下	14時35分	居室
1	6	99	SP02低下、呼吸苦	21時00分	居室
1	15	85	SP02低下	21時45分	居室
1	24	94	SP02低下、心不全	21時11分	居室
2	9	79	右半身脱力	15時00分	居室
3	15	75	血圧上昇	7時00分	居室
3	15	88	吐血	7時11分	居室
合計	20		※令和5年度救急車要請23件		

※夜間・早朝時間帯オンコール件数29件（オンコール：看護職員との24時間連絡体制）

※（5）（6）ショートステイは救急車要請 0件 骨折事故0件

(7) ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

※受診・治療にいらなかったもの

	ホーム	ショート	合計
4月	14	2	16
5月	11	2	13
6月	11	1	12
7月	5	0	5
8月	7	0	7
9月	11	2	13
10月	9	2	11
11月	11	5	16
12月	17	5	22
1月	8	5	13
2月	9	1	10
3月	7	2	9
合計	120	27	147
4年度	79	17	96
5年度	71	17	88

事故報告状況(感染症含む)

※受診・治療を行ったもの

但し、感染症はホーム内療養者含む。

	ホーム	ショート	合計
4月	4	0	4
5月	5	0	5
6月	5	0	5
7月	5	1	6
8月	3	2	5
9月	1	1	2
10月	1	0	1
11月	3	0	3
12月	2	2	4
1月	10	1	11
2月	3	1	4
3月	5	0	5
合計	47	8	55
4年度	38	3	41
5年度	40	1	41

[内訳] 転倒・創傷・打撲等－0件
骨折－1件
胃腸炎－0件
インフルエンザ－0件
所在不明－1件
コロナウイルス(救急搬送)－2件
肺炎等その他－43件

※ショート
転倒－1件
骨折－0件
コロナウイルス－0件
体調不良－7件

(8) 医療器具使用者等医療状況

項 目	令和6年度末人数	割合(対在籍75名)	令和5年度末人数
胃瘻実施者	6	8.0%	8
痰吸引者	2	2.7%	1
バルン挿入者	4	5.3%	3
ペースメーカー	3	4.0%	2
B・C型肝炎	1	1.3%	2
MRSA・緑膿菌保菌	0	0.0%	0

(9) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓練内容
4	25	木	夜間出火想定（火点：4階）
5	23	木	夜間出火想定（火点：5階）
6	27	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム6階）晴楓職員消火担当参加
7	25	木	夜間出火想定（火点：4階）机上訓練
8	24	木	夜間出火想定（火点：5階）
9	28	木	夜間出火想定（火点：わかくさ荘）晴楓職員消火担当参加
10	24	木	昼間出火想定（火点：1階 クリーニング室）
11	5	日	事業継続訓練（火点：5階 511号室）消火、避難、参集訓練
12	26	木	夜間出火想定（火点：東海ホーム7階）晴楓職員消火担当参加
1	25	木	夜間出火想定（火点：5階 屋内消火栓操作訓練）
2	27	木	夜間出火想定（火点：4階 消火訓練、簡易ベッド組み立て）
3	27	木	夜間出火想定（火点：5階）消火、避難訓練

※1月期感染症のため机上訓練

(10) 職員研修・見学参加状況

(外部研修)

主催	研修名	実施日	人数
(株) ツクイスタッフ	イーケアラボ (動画研修視聴)	テーマ別動画配信	全職員 対象
東京都福祉保健財団	喀痰研修 (実地研修のみ3人)	4月～	3
全国老人福祉施設協議会	関東ブロック老人福祉施設研究総会 長野大会	10月3日～4日	1
品川福祉カレッジ	口腔ケア機能向上・ケア研修	9月13日、10月16日	2
品川区高齢者福祉課施設支援係	令和6年度 身体拘束廃止研修	10月9日	2
品川福祉カレッジ	若年性認知症講座	10月17日	2
東京都社会福祉協議会	介護職員のための情報交換会	10月19日	1
品川福祉カレッジ	医療・リハビリテーション講座	11月11日、12月16日	3
三幸カレッジ	実務者研修	11月～	1
東京都福祉保健財団	職場風土を変えるチームマネジメント	11月15日	1
(株) ホットラインワールド	介護福祉士実習指導者講習会	12月7、21日、1月11、25日	1
東京都福祉人材センター	介護職員スキルアップ研修 (医療的知識編)	1月16日～3月6日 (オンライン研修)	4
東京都社会福祉協議会	ともにケアを担うパートナーとして (在留資格介護職員の さらなる活躍を期待して)	2月14日	2
東京都社会福祉協議会	採用担当者研修・情報交換会	3月6日	2
東京都福祉保健局	介護支援専門員更新研修	10月～オンライン研修	1
東京都福祉保健財団	高齢者虐待防止研修防止研修	10月～オンライン研修	1
東京都社会福祉協議会	ハラスメント研修	3月11日	2

(内部研修)

主催	研修名	実施日	人数
晴楓ホーム (BCP・身体拘束・虐待防止)	BCP読み合わせ (自然災害編・感染症編、実践研修、虐待防止・身体拘束) ※実践研修は、簡易ベットの組み立て方、簡易トイレの使用方法	1月10日、30日、2月13日、25日、3月2日 ※一部職員感染症予防のため書類回覧	全介護 職員 対象
晴楓ホーム (事故防止研修)	緊急対応訓練	5月8日～10回開催	全介護 職員 対象
晴楓ホーム	法人内交換研修 (他部所現場研修) 東海ホーム	12月7～8日	1名
法人本部	虐待防止研修	8月2、5、7日	全職員
晴楓ホーム (感染症研修)	感染症予防研修 (BCP研修: 実技、ガウン、ゾーニング対応等)	10月2回、11月2回	全職員
法人本部	情報セキュリティ研修	10月～11月 (一部職員書類回覧)	全職員
法人本部 (感染症研修)	感染症予防研修 (座卓ガウンテクニック、吐しゃ物処理等)	11月19日、9日、14日	25
晴楓ホーム	虐待防止・身体拘束研修	8月4回、9月2回実施	全職員
晴楓ホーム (事故防止研修)	リフト勉強会 (リフトリーダー研修受講者による実技勉強会)	全5回実施	15
晴楓ホーム	新採用職員フォローアップ研修	10月4日	2
法人研修 (事故防止研修)	無断外出者捜索訓練	7月～9回実施	48

(11) 行事等実施状況

月	日	行事名等	内 容	備 考
4	1	辞令交付 首都医校社福学科見学会		新採用職員2名
	25	防災訓練（4階火点）		
5	1	福栄会開設記念日		
	2	菖蒲湯週間		
	12	福栄会まつり		4年ぶりに開催
	23	防災訓練（5階）		
6	8	町内祭礼	お御奥来園	9日も
	26	利用者健康診断	採血・心電図等	
	28	防災訓練（東海火点）		
7	7	七夕	短冊作り・飾りつけ	
	13	お盆/迎え火		
	16	お盆/送り火		
	25	防災訓練（4階）		
8	3	町内祭礼参加	刈崎町まつり	
	22	花火を楽しむ会 物故者慰霊法要 防災訓練（5階）	1階中庭（4階利用者） 1階ロビー・中庭にて慰霊札安置供養	
	25	花火を楽しむ会	1階中庭（5階利用者）	
9	12	長寿を祝う会		
	26	防災訓練（わかくさ荘火点）		
	29	宿場祭り		
10	1	新採用職員フォローアップ研修		2名参加
	20	晴楓ホーム運動会	各フロアで実施	
	23	インフルエンザ予防接種		78名接種
	24	防災訓練（クリーニング室）	消火班にて参加	
	30	ハロウィン行事	29日も来園	
11	3	合同防災訓練（火点5階）	B C P 参集訓練実施	火点512号室
	14	BCP炊き出し訓練	焼き芋、豚汁、アルファ米おにぎり	竈ベンチ説明
	23	インフルエンザ予防接種	※ホーム嘱託医にて複数回実施	78名接種
	28	東海中学校職業体験	29日も来園	2名参加
12	4	第三者評価利用者調査		
	26	防災訓練（東海火点）		
	29	年末大会	利用者忘年会	
	31	大晦日	年越しそば	
1	1	元旦・高齢者福祉部長挨拶	祝膳行事食（1、2日）	
	5	新年会		
	7	七草粥		
	11	鏡開き	昼食ぜんざい	
	24	第三者評価現場調査		
	25	防災訓練（5階）	机上訓練	
2	3	節分		
	11	新年会		
	27	防災訓練（4階）	屋内消火栓実地訓練	
3	3	ひな祭り	行事食 甘茶	
	27	防災訓練（5階火点）		
		新採用職員部署別研修開始		
	31	退職辞令		

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
入所者実数	52	45	64	68	67	90	74	49	54
退所者実数	45	51	56	71	74	80	67	54	50
平均年齢	88.0	89.0	89.9	90.6	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
男性数(3月末)	14	14	13	14	10	7	8	9	11
女性数(3月末)	64	64	67	63	62	64	71	68	65
平均要介護度	3.83	3.73	3.50	3.60	3.60	3.60	3.60	3.70	3.70
特養利用率	95.0%	94.2%	95.7%	96.9%	93.7%	95.0%	97.8%	97.7%	95.9%
ショート利用率	133.7%	136.9%	127.0%	128.3%	109.1%	114.4%	109.0%	96.0%	92.8%
合計利用率	98.5%	97.7%	98.5%	99.7%	95.1%	96.1%	98.8%	97.5%	95.4%

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
入所者実数	62	53	71	52	65	51	80	69	58
退所者実数	62	53	70	54	61	69	75	67	59
平均年齢	89.2	88.0	88.4	89.8	88.7	88.5	87.7	87.9	90.4
男性数(3月末)	10	8	7	8	10	8	12	14	11
女性数(3月末)	69	71	73	70	70	58	68	16	64
平均要介護度	3.80	3.71	3.85	3.95	3.90	3.90	3.76	3.80	3.90
特養利用率	95.0%	99.0%	98.7%	99.3%	97.4%	95.1%	94.0%	96.4%	97.0%
ショート利用率	107.0%	1190.0%	118.7%	117.3%	113.4%	114.1%	123.4%	127.4%	116.1%
合計利用率	96.1%	100.8%	100.5%	100.9%	98.9%	96.8%	96.5%	99.2%	98.4%

東海ホーム（軽費老人ホームA型）事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 利用者がその人らしい生活を送れるように、健康状態及び要介護状況などのニーズを踏まえて、介護サービスを利用しながら、個別サービス計画書に基づいた支援と見直しを行いました。
- (2) 感染症対策を継続し、介護予防活動や行事、クラブ活動などのプログラムの充実を図りました。また、地域との交流を深めるため、近隣保育園、小中学校等との交流事業等、地域で支え合う関係づくりを進めました。
- (3) 利用者が快適な生活を送れるように、住環境の施設設備（畳交換や障子交換）等、また滝の湯（ろ過装置・ろ材）の修繕、洗濯機、乾燥機の故障時の交換・購入など計画的に進めました。

2. 家族・後見人との連携体制

利用者の家族・後見人との信頼関係を育み、利用者がその人らしい生活を送れるように連携し、医療面、介護面など一体的に対応しました。家族懇談会は、コロナ過前の年2回の開催に戻すことができ、有意義な意見交換の場となりました。

3. 虐待防止・身体拘束防止

- (1) 虐待防止規程に基づき、利用者の人権を擁護するとともに、対人援助における支援者の精神的安定により虐待を生まない施設作りをしました。東京都や品川区の外部研修への参加や、虐待防止チェックリストを実施し、職員一体となって虐待防止に対する意識の向上に取り組みました。
- (2) 身体拘束廃止に関する指針に基づき、職員会議などで研修を実施、拘束廃止に対する意識の向上に取り組みました。

4. 地震等災害対策の充実

利用者が落ち着いて行動できるよう、月1回の訓練を実施しました。火災想定訓練に合わせて、地震想定や津波想定訓練等を通して、利用者、職員の訓練意識の向上に繋がりました。

利用者外出時には、「緊急連絡カード」の携帯を推進しました。

5. 東海ホーム実績資料

(1) 利用者の入退園状況

月		入園者数			退園者数		
		家庭から	その他	病院から	特養ホームへ	その他へ	ご逝去
4月	男						
	女					1	
	計					1	
5月	男		1				
	女						
	計		1				
6月	男						
	女						
	計						
7月	男					1	
	女						
	計					1	
8月	男	1					
	女						
	計		1				
9月	男						
	女						
	計						
10月	男						
	女				1		
	計					1	
11月	男						
	女	1					
	計		1				
12月	男						
	女						
	計						
1月	男						
	女						1
	計					1	
2月	男						
	女						
	計						
3月	男						1
	女	1					
	計		1			1	
総計	男	1	1			1	1
	女	2			1	1	1
計			4			5	

※入園その他とは、老人保健施設・有料老人ホーム等

※退園その他とは、老健・病院・有料老人ホーム等

(2) 年齢構成等

[令和7年3月31日現在]

年齢区分	男性 (18名)		女性 (32名)		合 計	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
100歳以上	0		0	0%	0	0%
95～99	0		1	3.0%	1	2.0%
90～94	1	6.1%	7	20.8%	8	16.0%
85～89	6	37.0%	8	23.8%	14	28.0%
80～84	4	24.5%	8	23.8%	12	24.0%
75～79	3	18.4%	4	11.8%	7	14.0%
70～74	2	12.0%	4	11.8%	6	12.0%
65～69	0	0.0%	1	3.0%	1	2.0%
60～64	0		0		0	
合計	16	98%	33	98%	49	98%

平均年齢 85.1 歳

男性 84.5 歳

男性最高年齢 90歳 (昭和10年生)

女性 85.2 歳

女性最高年齢 97歳 (昭和2年生)

(3) 在籍期間

[令和7年3月31日現在]

	1月以内	1月～6月以内	6月～1年以内	1年～3年以内	3年～5年以内	5年～10年	10年以上
男	0	0	2	3	3	4	5
女	1	1	0	8	6	10	6
合計	1	1	2	11	9	14	11

※最長 平成13年12月入所 23年在籍 (男性)

※平均 6年4ヶ月

(4) 介護度状況・ホームヘルプ利用状況 (人)

[令和7年3月31日現在]

区分	人数	ホームヘルプ利用状況		デイサービス・リハビリ等利用状況	訪問看護	訪問リハ単リハ	訪問診療
		生活援助	身体介護				
なし	5	0	0	0	0	1	0
総合事業	6	4	0	5	0	1	0
要支援1	5	5	3	3	0	0	1
要支援2	9	8	6	7	0	4	3
要支援合計	14	13	9	10	0	4	4
要介護1	13	10	7	13	1	2	4
要介護2	9	8	5	7	2	0	3
要介護3	2	2	2	2	0	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0
新規調査中	0	0	0	0	0	0	0
区分変更中	0	0	0	0	0	0	0
要介護合計	24	20	14	22	3	2	7
合計	38	33	23	32	3	6	11

※生活援助 (洗濯・外出同行等)

※身体介護 (通院・外出介助等)

(5) 要介護者の主な職員介助内容

[令和7年3月31日現在]

介助内容	人数	備考欄
入浴	7	見守り・声掛け含む
喫食	9	声掛け・誘導
通院	5	職員通院同行者 *生活保護受給者含む
服薬	15	居室セット含む
排泄	6	トイレ誘導・オムツ交換

(6) 身体障害者手帳所持状況

[令和7年3月31日現在]

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
1種	0	0	1	0	0	0	1
2種	0	0	1	2	0	0	3

(7) 愛の手帳所持状況

[令和7年3月31日現在]

	1度	2度	3度	4度	計
人数	0	0	3	2	5

(8) 利用料別内訳

[令和7年3月31日現在]

49在籍

①本人負担額（平成12年7月1日以降に入所の方）

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	54,230	10,000	64,230	34
2	54,230	13,000	67,230	3
3	54,230	16,000	70,230	3
4	54,230	19,000	73,230	1
5	54,230	22,000	76,230	
6	54,230	25,000	79,230	1
7	54,230	30,000	84,230	3
8	54,230	35,000	89,230	
9	54,230	40,000	94,230	1
10	54,230	45,000	99,230	3
11	54,230	50,000	104,230	
12	54,230	57,000	111,230	
13	54,230	64,000	118,230	
14	54,230	71,000	125,230	
15	54,230	78,000	132,230	
16	54,230	85,000	139,230	
17	54,230	93,000	147,230	
18	54,230	101,000	155,230	
19	54,230	109,000	163,230	
20	54,230	117,000	171,230	
21	54,230	119,100	173,330	
	合計			49

②本人負担額

	生活費	サービスの提供に要する費用	本人負担額	人数
1	35,550	0	35,550	
2	38,950	0	38,950	
3	41,250	0	41,250	
4	43,250	0	43,250	
5	45,250	0	45,250	
6	47,250	0	47,250	
7	49,250	0	49,250	
8	51,250	0	51,250	
9	53,250	0	53,250	
10	55,850	0	55,850	
11	58,550	0	58,550	
12	61,250	0	61,250	
13	63,850	0	63,850	
14	64,230	0	64,230	
	合計			

※本人負担額＝生活費＋サービスの提供に要する費用＋冬季暖房費

※冬季暖房費・本人負担額（11月～3月） 一室を一人で利用しているもの 2,130円(月額)

注1) 平成12年6月30日以前入所者で、前年の対象収入が126万円以下の者は、②の表を適用する。

注2) 対象収入(利用料算出の基になる収入)とは、前年の収入(社会通念上収入として認定することが適当でないものを除く)から租税、社会保険料、医療費等必要経費を控除した後の収入をいう。

(9) ヒヤリハット・事故報告状況

ヒヤリハット状況報告				
	6階	7階	その他	合計
4月	8			8
5月	1	1		2
6月	2	1		3
7月	2	1		3
8月	3			3
9月	2	1		3
10月	1			1
11月	4			4
12月	1	1		2
1月	1			1
2月	3			3
3月	1			1
合計	29	5	0	34
令和5年度	14	5	0	19
令和4年度	14	4	0	18

<内訳>転倒(11)・配薬忘れ(2)・施錠忘れ(1)・加害行為(4)・禁食提供(1)・尻もち(3)・無断外出(6)・異食(1)・ハサミで手を切る(1)・その他(4)

事故報告状況			
	6階	7階	合計
4月		1	1
5月			
6月	1		1
7月			
8月		1	1
9月	1		1
10月	2		2
11月			
12月	1		1
1月		1	1
2月			
3月			
合計	5	3	8
令和5年度	6	5	11
令和4年度	9	2	11

<内訳>死亡(1)・転倒(5)・転落(1)・無断外出(1)

(10) 結核・インフルエンザ・感染性胃腸炎・新型コロナウイルス感染症(疑い含む)発生状況

	結核	インフルエンザ	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス感染症	
				陽性者数	(濃厚接触者数)
令和3年度	0	0	0		
令和4年度	0	0	0	6	19
令和5年度	0	1	0	10	/
令和6年度	0	2	0	9	/

インフルエンザワクチン予防接種日：10月11日

(11) 救急対応 21件

転倒(3)、転落(2)、腹痛(3)、発熱(4)、呼吸苦(2)、傾眠(2)、右下腿痛(2)
コロナ(1)、食欲不振(1)、右足痛(1)

(12) 防災訓練実施状況

月	日	曜日	訓練内容 (火点等)	利用者参加
4	16	火	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 6階 東海ホーム) 設備点検・職員の動き・通報訓練	参加
5	23	木	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 7階 東海ホーム洗濯室) 設備点検・職員の動き・通報訓練	参加
6	27	木	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 6階 東海ホーム洗濯室) 設備点検・職員の動き・通報訓練	参加
7	25	木	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 7階 東海ホーム727号室) 設備点検・職員の動き・通報訓練	参加
8	22	木	設備点検・物品場所確認	不参加
9	26	木	夜間出火想定(火点: わかくさ荘) 設備点検	不参加
10	24	木	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 1階 クリーニング室) 設備点検・職員の動き・通報訓練	参加
11	3	日	合同防災訓練(火点: 5階 511号室) 避難誘導	参加
11	22	金	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 7階 職員用男性トイレ) 設備点検・職員の動き・通報訓練	参加
12	26	木	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 7階 東海ホーム洗濯室) 設備点検・職員の動き・避難誘導	参加
1	20	月	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 6階 職員用男性トイレ) 設備点検・職員の動き・避難誘導	参加
2	21	金	夜間出火想定・消火避難誘導(火点: 7階 東海ホーム703号室) 設備点検・職員の動き・避難誘導	参加
3	17	月	日中出火想定・津波・消火避難誘導(火点: 6階 東海ホーム630号室) 設備点検・職員の動き・避難誘導	参加

※新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、日程/訓練内容を変更し、利用者参加を見合わせるがあった。

(13) 法人・外部研修参加状況

主催	実施日	研 修 名	受講職員職種
法人キャリアパス研修	6月4日	てんかん基礎講座	介護職員2名
東京都福祉保健局	9月3日	社会福祉事業従事者人権研修【I】	介護職員1名
法人研修	8月2日・5日	虐待防止研修	介護・看護職員全員
法人研修	8月27日	防犯研修	介護職員1名
東京都福祉保健財団	10月22日～2月28日	高齢者虐待防止研修	施設長1名
東京都社会福祉協議会	11月20日	軽費老人ホームにおけるレクリエーション	介護職員1名
初任者研修	5月27日～7月25日 (16日間)	介護職員 1名	

(14) 職業体験等受入れ・福祉専門学校等実習生の受入れ・地域交流等

職場体験	品川区立東海中学校 8学年	令和6年11月28日～29日	生徒2名来所
地域交流	大森北6丁目保育園	暑中見舞い、年賀はがきプレゼント等	園児16名
地域交流	東海道保育園	敬老お手紙プレゼント	令和7年1月31日(金)
地域交流	東海中学校敬老訪問	敬老メッセージカードプレゼント	生徒2名来所
地域交流	品川消防少年団	掲示物のプレゼント	令和6年10月6日(日)
地域交流	自治体八潮 地域サロン	令和6年度 年4回実施	職員2名派遣

(15) 事業実施報告

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
4	6	お花見ドライブ		
	7・14	介護予防		茶話会中止
	8	花まつり甘茶		
	11	利用者集会	事業計画・事業報告についてお知らせ	
	14	体重測定		
	21	創作クラブ		
	28	書道クラブ		
5	1	開設記念日		
	5	介護予防7階		カラオケ中止
	8	利用者集会・体重測定	福栄会祭りについてお知らせ	東京マックス美容中止
	14	福栄会祭り		
	15・18	書道クラブ		
	22	八潮サロン		
	25・31	創作クラブ		
6	2・23	介護予防	シャワー浴開始	
	5	利用者集会・体重測定		ボランティア懇談会中止
	8	町会祭り	中庭にて洸崎神輿・東親会神輿見物	
	9・15	書道クラブ		
	22・28	創作クラブ		
	23	お楽しみ給食	栄養課と調整	
	25	東海ホーム利用者健診		
	30	ビデオ鑑賞会7階		
7	4	利用者集会・体重測定・不在者投票	害虫駆除についてお知らせ	
	10・19	書道クラブ		1セットパー中止
	13	お盆入り		東海中清掃ボランティア中止
	15・31	創作クラブ		音楽療法中止
	16	お盆明け		ビューティークラブ中止
	21・28	介護予防		
	24	八潮サロン		
		アミカボランティア（手話ダンス）	食堂にて実施	
8	2	利用者集会・体重測定	洸崎町まつりについてお知らせ	
	3	洸崎町祭り		カラオケ中止
	17・16	書道クラブ		東海マップ中止
	18・25	介護予防		
	22	物故者慰霊法要		
	24・30	創作クラブ		
	27	花火大会7階		
9	4	利用者集会・体重測定・花火大会6階	長寿を祝う会についてお知らせ	
	7・20	書道クラブ		手話ダンス中止
	8・29	介護予防		
	12	長寿お祝いの会	卒寿：3名 米寿：2名のお祝い	
	15	敬老の集い（パブリカダンス）	各階分かれて職員からの出し物を実施	
	19	お彼岸入り		
	22・27	創作クラブ		
	25	お彼岸明け		
		八潮サロン		
	28	家族懇談会		
	28・29	宿場祭り		
10	6	品川消防少年団来所	お花と色紙のプレゼントあり。	
	6・13	介護予防		カラオケ中止
	7	利用者集会・体重測定	赤い羽根共同募金についてお知らせ	ミニハイヤングマお楽しみ給食に参画
	11	インフルエンザワクチン集団接種		東京マックス中止
	16・26	書道クラブ		
	22・27	創作クラブ		
11	3	合同防災訓練・福祉サービス第三者評価	6階・7階利用者調査実施	
	6	利用者集会・体重測定		
	8・27	書道クラブ		
	9・28	創作クラブ		
	10・17	介護予防		
	11	ウクレレC	3階食堂にて実施	
	14	炊き出し訓練		
	24	秋祭り	6階ロビーにて実施	
	27	八潮サロン		さんま祭りを中止し炊き出し訓練実施

月	日	行事・活動名	内 容	備 考
12	3	紅葉ドライブ	年末年始についてお知らせ	
	4	利用者集会・体重測定		
	8・15	介護予防		
	9・18	書道クラブ		
	13	東海ホーム利用者健診		
	21	ゆず湯		
	23・27	創作クラブ		
1	1	元旦ご挨拶	収入申告についてお知らせ	ビューティクラブ中止
	5・12	介護予防		
	8	利用者集会・体重測定		
	10・16	書道クラブ		
	11・19	創作クラブ		
	22	八潮サロン		
		給食懇談会	各階分かれて職員からの出し物を実施 手紙のプレゼントあり。	
	26	新年の集い(寸劇・手話・合唱)		
	31	東海道保育園 敬老訪問		
2	2	節分	第三者評価利用者調査の結果について報告 栄養課	カラオケ中止
	3・13	創作クラブ		
	4・26	書道クラブ		
	7	利用者集会・体重測定		
	16	お楽しみ給食		
	16・23	介護予防		
3	3	ひなまつり	施設長出席	
		利用者集会・体重測定		
	6・15	創作クラブ		
	15	大森北6丁目保育園 卒園式		
	7・22	書道クラブ		
	16・23	介護予防		
	17	お彼岸入り	各階分かれて実施。人事異動についてお知らせ	
	23	お彼岸明け		
	26	八潮サロン		
	28	臨時利用者集会(集合型)		
	29	家族懇談会		
		お花見ドライブ		
	31	ウクレレC	3階食堂にて実施	
		大掃除・環境整備	今年度の書類整理、次年度準備等	

(16) 入所選考委員会実施状況

月	日	委員会
3	13	第1回入所選考委員会～3階会議室にて開催。
		今年度も、退園者が少なく待機者は十分だったため、1回のみの実施。

在宅サービス課事業報告

1. 基本方針【在宅サービス課共通】

地域包括ケアシステムの深化・推進を目指し、認知症の方や単身高齢者、医療ニーズが高い中重度の高齢者を含め、「できる限り住み慣れた我が家で暮らす」ことが実現できるよう、質の高いケアマネジメントや必要なサービスを安定的かつ継続的なサービス提供を行いました。

2. 重点目標【在宅サービス課共通】

- (1) 施設の安全性・サービスの質の向上を図り、利用率及び利用者満足度の向上に努めました。
- (2) 感染症や災害への対応力を強化し、安定的に事業を継続しました。
 - ①「業務継続計画（感染症・災害）」の作成（令和7年3月31まで経過措置）を進めました。
 - ②「業務継続計画（感染症・災害）」について、年1回以上の研修・訓練を実施（参加）し、訓練の実施に当たっては、地域住民との連携に努めました。
 - ③感染症防止委員会にて検討（感染症の予防及び蔓延防止の為の対策等）した内容については、職員へ周知徹底を図りました。
- (3) 虐待の発生防止・早期発見などに努め、高齢者虐待防止を推進しました。
 - ①「虐待防止」について、年1回以上の研修を実施（参加）しました。
 - ②虐待防止委員会にて検討（虐待の発生防止・早期発見などの対応等）した内容については、職員へ周知徹底を図りました。
- (4) 地域住民やボランティア団体との交流に努め、地域との連携を強化しました。
東品川・大崎エリア（各在宅サービス課）ごとに地域貢献活動を計画・実施しました。また、ご希望のあったボランティアの受け入れを行いました。
- (5) 事業所情報の「書面掲示」規制の見直しに対応しました。
事業所の重要事項説明書等について、「書面掲示」に加えて「ウェブサイト（ホームページ等）」への掲載・公表を行いました。

在宅サービス課職員研修報告（東品川在宅介護支援センター／東品川在宅サービスセンター）

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研 修 名	内 容	実 施 日	参 加 者
東品川在宅介護支援センター				
②	システム研修	品川区の在宅介護支援システムを理解する。	4月16日	1名
②	ケアプランサポート研修（新任ケアマネ向け）	適切なケアマネジメントを行う為に必要な「倫理・法」「適切なケアマネジメント手法」について理解する。	4月23日	1名
④	ケアマネジメント講座	ケアマネジメントの実践原理と基盤～倫理・言論～	5月16日	2名
⑤	感染症予防研修	結核について	5月17日	10名
③	東京都地域包括支援センター初任者研修	地域包括支援センターの適切な運営及び更なる機能強化を図る	6月13日～7月18日（うち2日間）	1名
⑤	高齢者虐待予防研修	品川区高齢者虐待対応マニュアルを活用し学ぶ	6月14日	9名
③	品川区高齢者虐待予防基礎研修	虐待の基礎を学び早期発見につなげる	6月19日	1名
④	適切なケアマネジメント手法研修	基礎的理解と基本ケア	6月20日	2名
③	しながわ多職種勉強会	広い視野で見た高齢者の腰痛、ひざ痛	7月12日	3名
②	在宅介護者支援研修	家族を自立させない～事例から学ぶケアラー支援のプロセス～	7月29日	1名
①	虐待防止研修	職員の権利意識を高め、利用者を中心とした施設運営に寄与する。福祉施設職員としての虐待防止に向けた役割を理解する。	8月2日・8月5日	8名
①	防犯研修	福祉施設における防犯と不審者侵入時の対応・観戦を活用した不審者侵入訓練	8月27日	4名
②	品川区生活支援記録法（F-SOAIIP）	経過記録の効率化、多職種連携の促進、職員の専門性向上につなげる	8月29日	1名
④	しながわ多職種勉強会	褥瘡治療のアップデートと在宅で取り組む褥瘡ケア	9月13日	5名
①	セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	9月20日	10名
③	東京都地域包括支援センター現任研修	総合相談支援の課題の明確化・行動計画作成	9月25日	1名
①	感染症予防研修	介護現場での感染症予防の実際を学ぶ	9月19日・9月26日	9名
④	生活保護制度と長期生活支援資金制度研修	生活保護制度と長期生活支援資金制度	9月20日	2名
④	しながわ多職種勉強会	アドバンス・ケア・プランニング 考え方と実践	10月11日	3名
③	主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員資格更新	10月11日他3日間	1名
④	適切なケアマネジメント手法研修	基本ケア実践の振り返りと今後に向けて	10月24日	2名
④	しながわ多職種勉強会	成年後見制度	11月8日	1名
①	認知症研修	人権意識を高め、利用者中心の施設運営に寄与する	1月16日	6名
②	介護支援専門員機能強化推進事業研修	軽度者の介護予防＝自立支援について	1月17日	2名
④	品川区生活支援記録法（F-SOAIIP）	経過記録の効率化、多職種連携の促進、職員の専門性向上につなげる	1月30日	1名
⑤	BCP研修	平常時の備えと有事の行動について	2月14日	10名
③	キャラバンメイト養成研修	認知症サポーター養成と講座の運営について学ぶ	2月18日	1名
④	ケアマネジメント疾患別研修	「適切なケアマネジメント手法」の着実な実施と質の向上を図る	2月28日	1名
⑤	セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	10月13日	10名
⑤	しながわエコリンク職場研修	エコリンク運用マニュアル活用・環境プログラムの周知	12月13日	10名
②	介護予防ケアマネジメント研修	介護予防・総合事業等について	3月18日	2名
①	決算分析研修	事業所決算書についての勉強会	3月25日	1名
東品川在宅サービスセンター				
①	ジョブメドレーアカデミー	各種WEB研修	4月1～3月	非常勤含む全職員
②	異動職員対象OJT研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	4月1日～6月30日	1名
③	BCP進めるための次の一歩	BCP（事業継続計画）を学ぶ	6/24・8/23.11/3	7名
④	情報セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	9月1日～	常勤全員
⑤	虐待防止研修①	虐待チェックリストを基に、各個人の対応について振り返り	7/12.8/19.12/17.3/12	40名（常勤：非常勤）
⑥	上級救命講習	緊急時の応急手当方法の取得	2/1.2	3名
⑦	感染症研修	感染症の基礎知識を学ぶ	5/31.8/23.10/1.11/28	8名
⑧	虐待防止研修②	その人らしさを大切にしたケアを目指して	6/27.7/18.9/26	10名（常勤：非常勤）
ヘルパーステーション東品川				
⑤	ジョブメドレーアカデミー	各種WEB研修	4月1～3月	7名非常勤含む全職員
④	知的障害者ガイドヘルパー養成研修	移動支援についての研修（資格取得）	5月・1月（各3回）	2名
④	同行援護従業者支援研修	同行援護についての研修（資格取得）	10月（全5回）	1名
③	介護サービス事業者支援研修	介護サービス事業者へ利用者と家族への対応	12月2日	1名
①	情報セキュリティー研修	福栄会の情報管理安全対策	8月	7名書面開催
①	虐待防止研修	高齢者虐待対応の基本を学ぶ	8月2日	7名非常勤含む全職員
①	防犯研修	自施設の防犯を学ぶ	8月28日	3名動画視聴
①	感染症研修	感染症対策の基本を学ぶ	9月	7名書面開催
①	認知症研修	BPSDケアプログラムを学ぶ	1月16日	7名非常勤含む全職員
⑤	BCP研修	BCP内容の説明（シュミレーション）と訓練	2月21日	7名非常勤含む全職員
①	決算分析研修	事業所決算書についての勉強会	3月25日	1名

※区分 ①法人 ②品川区 ③東京都・社協 ④その他（事業所外） ⑤事業所内

区分	研 修 名	内 容	実 施 日	参 加 者
大崎在宅介護支援センター				
②	認定調査員新規研修	介護保険認定調査の技術について学ぶ	4月15日	1名
②	品川区総合支援システム操作研修会	ケアマネジメントシステムの操作方法を学ぶ	4月16日	1名
②	ケアプランサポート研修	品川区在宅介護支援システムの機能と関係機関との役割連携について学ぶ	4月23日	1名
②	令和6年度介護報酬改定等説明会	介護報酬改定の概要について知る	4月26日	1名
②	介護保険住宅改修説明会	住宅改修の基本的な知識を習得し、実務に生かす	4月26日	1名
③	品川福祉カレッジケアマネジメント講座	「適切なケアマネジメント手法について」	5月16日・6月20日・10月24日	2名
⑤	大崎エリア合同勉強会	急性心不全の既往があるケースへの生活期リハビリテーション及びケアプラン作成のポイント	5月23日	7名
③	令和6年度難病セミナー	難病に関する総合的な知識の普及を図る	5月28日	4名
③	東京都認知症地域対応力向上研修	区市町村において認知症の人への支援に関わる専門職の支援技術等の向上を図る事を目的とする	6月1日	2名
②	令和6年度 品川区高齢者虐待予防研修	様々な高齢者虐待の種別や対応について学ぶ	6月19日	1名
③	東京都地域包括支援センター職員研修（初任者研修）	地域包括支援センターの役割を知り、知識や技術向上を図る	7月8日	2名
③	アルツハイマー型認知症の新しい治療薬「レカネバブ」とは？	認知症治療薬の新薬について学ぶ	7月25日	1名
①	虐待防止研修	職員の権利意識を高め、利用者を中心とした施設運営に寄与する。福祉施設職員としての虐待防止に向けた役割を理解する。	8月2日・5日・7日	8名
④	しながわ多職種勉強会	緩和ケアについて～過去・現在・未来～	8月9日	3名
③	令和6年度第1回高次脳機能障害相談支援研修会	高次脳機能障害支援に関する基本的な知識を学ぶ	8月16日	5名
④	支援の質の向上につながる記録	生活支援記録法「F-SOAIIP」初心者向け編	8月16日	1名
①	防犯研修	福祉施設における防犯と不審者侵入時の対応・刺股を活用した不審者侵入訓練	8月27日	8名
④	しながわ多職種勉強会	褥瘡治療のアップデートと在宅で取り組む褥瘡ケア	9月13日	1名
①	感染症予防研修	感染症についての知識と技術を学ぶ	9月19日・26日 /10月8日・30日 /11月7日・12日	8名
③	令和6年度介護支援専門員更新研修	資格更新の為	①9月19・23日② 10月17・18日③ 10月25日・28日	3名
④	生活保護制度と長期生活支援資金制度（社協）の制度	生活保護制度と低所得者への支援方法を学ぶ	9月20日	1名
①	情報セキュリティ研修	福栄会の情報管理安全対策	9月24日	11名
②	令和6年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修	在宅における身体拘束事案への対応について	10月9日	2名
②	しながわ防災学校	防災に関する知識を深めるため	①10月11日・23日・25日	6名
④	しながわ多職種勉強会	ACPの考え方と実践	10月11日	1名
③	令和6年度第2回高次脳機能障害相談支援研修会	高次脳機能障害支援に関する基本的な知識を学ぶ	10月25日	2名
④	しながわ多職種勉強会	成年後見制度（支援者向け）	11月8日	2名
③	令和6年度主任介護支援専門員更新研修	資格更新の為	11月18日・12月5日・12月25日・1月29日	1名
③	令和6年度主任介護支援専門員研修の参加	資格取得の為	11月7日・11月28日・12月18日・1月8日・1月17日・1月31日・2月10日・2月20日・3月5日・3月15日	1名
③	令和6年度第二回東京都キャラバン・メイト養成研修	キャラバン・メイトの取り組みについて学ぶため	11月22日	1名
②	令和6年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修	在宅における身体拘束事案への対応について身体拘束事案への対応について	11月28日	2名
②	自立支援・重度化防止のために～改めて「自立」を考える～	総合事業についての再確認と、自立を目指したケアプランなどについて学びを深める	①1月17日②1月20日	2名
④	ケアマネット主任ケアマネ部会	生活保護制度と低所得者への支援方法を学ぶ②	3月12日	1名
②	介護予防ケアマネジメント研修	介護予防・総合事業等について	3月18日	3名
④	品川福祉カレッジ 認知症ケア専門コース	認知症VR体験を取り入れた、認知症の理解を深める為の講座	3月21日	2名
⑤	B C P研修	平常時の備えと有事の行動について	3月25日	11名
②	令和6年度第3回 ケアラーが地域で孤立しない為に	ケアラー支援の施策などについて学ぶ	3月26日	1名

大崎在宅サービスセンター				
⑤	異動職員対象OJT研修	日常業務の習得・利用者の基本情報の把握	4月1日～6月30日	4名
⑤	事故防止・リスクマネジメント研修	介護現場におけるリスクマネジメント（動画視聴）	5月24日	9名
①	防犯研修	防犯対策研修（録画視聴）	7月26日	9名
⑤	ロジックモデル研修	ロジックモデルについて	7月27日	6名
①	情報セキュリティ研修	福栄会の情報管理安全対策	9月24日	9名
③	東京都認知症実践者研修	認知症の方のケアのあり方について	9月5日、20日、25日、10月16日・12月18日、1月16日、17日、21日	2名
③	東京都認知症管理者研修	管理者の基礎について	10月21日・10月28日・11月8日	1名
③	生産性向上セミナー	介護現場改革促進等事業「生産性向上セミナー」	10月1日	3名
③	人材育成セミナー	介護現場改革促進等事業「人材育成セミナー」	10月1日	3名
⑤	部署内交換研修	部署内の他施設への交換研修	9月4日・10月23日	2名
③	介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修	高齢者虐待防止研修（居宅サービス向け）	11月8日	1名
①	感染症予防研修	感染症の基礎知識を学ぶ（動画視聴）	10月8日～11月23日	9名
③	東京都認知症実践者研修	認知症の方のケアのあり方について	11月19日～2月6日	1名
⑤	次世代介護機器操作研修	床走行式リフトの操作・利便性を学ぶ	10月24日～11月11日	7名
⑤	BCP研修	BCP（事業継続計画）の確認	11月30日	6名
⑤	認知症介護基礎研修	認知症介護基礎研修の受講（動画視聴）	1月13日	2名
④	上級救命講習	緊急時の応急手当方法の取得	1月15日	2名
①	次年度決算に向けた決算分析	経理区分を用いて会計の基礎と業務管理について	3月25日	2名
五反田保育園ふれあいデイホーム				
⑤	事故防止・リスクマネジメント研修	事故防止及びリスクマネジメントについて	4月4日	2名
⑤	事故防止・リスクマネジメント研修	事故防止及びリスクマネジメントについて	5月2日	2名
⑤	食中毒について	食中毒及び予防について	6月6日	2名
⑤	身体拘束について	身体拘束について学ぶ	7月3日	2名
⑤	プライバシー保護研修	プライバシーについて学ぶ	8月1日	2名
⑤	認知症研修	認知症を予防できる生活習慣について学ぶ	9月3日	2名
⑤	エコリンク研修	環境について学ぶ	10月5日	2名
⑤	感染症予防研修	感染症予防について理解する	11月5日	2名
⑤	虐待防止研修	認知症ケア現場での虐待について学ぶ	12月3日	2名
⑤	事故防止研修	施設における事故防止について学ぶ	1月11日	2名
⑤	非常災害研修	介護現場における非常災害について学ぶ	2月6日	2名
⑤	食中毒について	食中毒及び予防について	3月4日	2名

在宅介護支援センター事業報告

1. 基本方針【共通】

支援を必要とする方のニーズと社会資源を結びつけ、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援しました。予防から介護まで包括的・継続的な支援を行い、一体的・効果的なサービス提供を行いました。

2. 重点目標【共通】

(1) 地域包括支援センター・在宅介護支援センター機能の充実

①制度改正への適切な対応

介護保険法改正の動向を注視し、その対応について指定居宅管理者である品川区と協議を図り、また、第9期品川区介護保険事業計画の内容を踏まえた適切な支援を継続しました。

②多職種連携の推進

品川区高齢者相談支援システム及び多職種連携システムを効果的に運用するとともに、品川区及び各関係機関との連携を強め、地域の身近な相談窓口として、さまざまな介護相談に迅速かつ適切に対応しました。

③ケアマネジメントの質の向上・職員の育成

さまざまなケースに適切に対応できるよう、外部研修等を活用し、介護支援専門員のスキルアップを図りました。また、主任介護支援専門員取得に努めるとともに、OJTの流れを整理し、事業所全体で新任職員の育成にあたりました。

④高齢者虐待の防止

高齢者虐待を防止するため、高齢者保護のための措置、高齢者の養護者の負担軽減を図る支援を、関係機関と連携を密にとり適切に行いました。

⑤「生活支援記録法」の会得

令和3年度より品川区高齢者福祉課が採用した「生活支援記録法」を職員全員が会得し、適切に記録できるように取り組みました。

(2) 地域ネットワークづくりへの取り組み

①外出に不安がある高齢者及び認知症高齢者の支援

品川区高齢者探索支援システム「くるみプラン」を生活状況や必要度に応じて情報提供を行い、申請を促しました。区と連携しながら、安心して生活ができる地域づくりを目指しました。

②地域ニーズの把握

地域の会議（ふれあいサポート会議等）に積極的に参加し、各地域内において、民生委員や町会等との情報共有・連携の強化を図りました。また、品川区介護支

援専門員協議会（ケアマネジメント支援部）へも参加し、事業所間のネットワークづくりに努めました。

③認知症高齢者への支援

認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らすことができる社会を目指し、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を開催（感染症予防対策を行い）し、認知症サポーターを養成しました。

④地区ケア会議の充実

個別のケース検討を通し、他機関・多職種が協働して課題解決にあたり、地域の問題解決力の向上を図るとともに、地域課題を明らかにし、地域づくりについても検討しました。

⑤高齢者・障害者包括支援相談体制構築について

令和2年1月より品川区東品川障害者計画相談支援事業所が東品川在宅介護支援センター事業所内に開設されました。これまで以上に高齢者・障害者それぞれの相談員が情報を共有し、地域共生社会の実現に向けて包括的な相談体制を構築しました。

3. 各支援センター目標

（1）東品川在宅介護支援センター

①事業所間連携の強化

東品川在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営を行いました。

②地域貢献活動の充実

ア ちえのわ教室

毎月第1土曜日に開催していた「ちえのわ教室」を、新生活様式を取り入れながら再開しました。支援センター職員が主体となって、高齢者の方を対象に脳トレ、介護予防体操等を行いました。コロナ感染状況を確認しながら、適宜ボランティアの受け入れを行い、地域と連携しながらの運営に努めました。

イ アットホームカフェ

毎月第4土曜日に開催している「わかやぐ」と同時に「アットホームカフェ」を継続して実施する事で地域のニーズに対応しました。また、品川区内の「認知症カフェ」開催場所に登録し、ポスターでの事前周知や開催日当日の看板設置を行うなど集客に力を入れました。また、相談に加えて関係事業所の協力によるイベントも開催し、内容の充実に努めました。

ウ 品川区立東品川わかくさ荘（品川区立高齢者住宅・50室）の継続支援及び「東品川身体障害者住宅」（2室）居住者への援助。

品川区の指定管理を受けて、東品川在宅介護支援センターと同一建物内にあ

る上記高齢者住宅の居住者に対し、緊急対応も含め、必要な生活支援を行いました。また、防災意識の向上のため、防災訓練を年3回計画し、実施しました。

(2) 大崎在宅介護支援センター

①事業所間連携の強化

大崎在宅サービスセンターとの情報交換・連携のしやすさを活かした事業運営を行いました。

ア 大崎在宅サービスセンター介護職員に、利用者確認会議へ参加してもらう機会を設け、定期的な情報の交換を行いました。

イ 大崎在宅サービスセンター生活相談員に、訪問へ同行してもらう機会を設け、アセスメントの作成方法など、職員の育成を支援しました。

ウ 大崎在宅サービスセンターの季節行事に見学等行いました。

エ 認知症サポーター養成講座への大崎在宅サービスセンター職員の参加は令和6年度は開催日時の都合が合わず、実施出来ませんでした。

オ 大崎在宅サービスセンターの職員体制が、著しく厳しいときは添乗等の応援体制を検討しました。

②地域貢献活動の充実

地域貢献活動「大崎ふくふく」を、大崎在宅サービスセンター及び五反田保育園ふれあいデイホームと協働して開催します。脳トレや介護予防体操等、参加者が楽しめる内容を提供し、気軽に参加できるよう努めました。

在宅介護支援センター利用状況

東品川在宅介護支援センター

項 目 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数（新規）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定調査件数（更新）	22	29	26	26	24	22	22	21	23	21	24	10	270
認定調査件数 合計	22	29	26	26	24	22	22	21	23	21	24	10	270
実態把握アセスメント予防給付・予防事業	19	15	12	32	3	28	3	3	13	6	18	45	197
実態把握アセスメント介護給付	10	11	10	17	9	19	7	4	25	18	12	13	155
アセスメント等件数合計	29	26	22	49	12	47	10	7	38	24	30	58	352

予防給付（要支援１）	67	64	62	60	61	60	59	60	63	63	59	60	738
予防給付（要支援２）	104	108	113	115	122	120	124	123	120	122	124	130	1425
総合事業対象者	20	20	18	18	21	21	20	20	23	21	21	19	242
予防給付特高 合計件数	191	192	193	193	204	201	203	203	206	206	204	209	2,405
介護給付（要介護１）	43	42	41	41	38	35	37	38	35	34	33	32	449
介護給付（要介護２）	45	46	44	44	45	45	46	43	42	40	40	36	516
介護給付（要介護３）	27	27	25	23	22	21	22	23	22	22	22	25	281
介護給付（要介護４）	13	14	11	11	13	15	13	12	14	13	11	14	154
介護給付（要介護５）	10	10	11	12	11	10	10	10	9	9	9	10	121
介護給付合計	138	139	132	131	129	126	148	126	122	118	115	117	1,521
予防+介護給付 合計件数	329	331	325	324	333	327	351	329	328	324	319	326	3,926

ちえのわ教室利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日	27	25	22	27	24	28	26	30	21	25	22	22	12
参加者人数	12	8	10	11	8	12	12	6	8	12	9	9	117

大崎在宅介護支援センター

項 目 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査件数（新規）	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
認定調査件数（更新）	36	27	26	36	32	32	37	39	35	38	36	35	409
認定調査件数 合計	37	28	26	37	32	32	37	39	35	38	36	35	412
実態把握アセスメント予防給付・予防事業	29	16	27	30	29	25	23	25	17	25	27	26	299
実態把握アセスメント介護給付	16	17	14	14	15	15	16	22	17	12	18	13	192
アセスメント等件数合計	45	33	41	44	44	40	39	47	34	37	45	39	491

予防給付（要支援１）	92	96	96	97	101	96	98	101	96	92	89	84	1,138
予防給付（要支援２）	133	138	142	144	147	146	155	153	163	169	178	179	1,847
総合事業対象者	22	21	20	21	20	19	21	18	20	18	18	19	237
予防給付特高 合計件数	247	255	258	262	268	261	274	272	279	279	285	282	3,222
介護給付（要介護１）	61	56	54	53	50	56	56	58	57	52	51	51	655
介護給付（要介護２）	46	46	50	49	50	53	56	56	54	56	54	55	625
介護給付（要介護３）	26	25	22	26	23	23	21	23	21	20	18	18	266
介護給付（要介護４）	25	23	24	24	23	20	16	15	16	12	13	13	224
介護給付（要介護５）	9	8	8	7	8	9	7	9	7	8	6	7	93
介護給付合計	167	158	158	159	154	161	156	161	155	148	142	144	1,863
予防+介護給付 合計件数	414	413	416	421	422	422	430	433	434	427	427	426	5,085

通所介護事業所事業報告

1. 基本方針【共通】

利用者の人としての尊厳を大切にし、その人らしさを意識しながら、心豊かな暮らしが実現できるよう努めました。利用者の状態を的確に把握し、根拠に基づいた介護サービスを提供し自立を支援しました。また、介護者である家族等への支援を行いながら、在宅生活の継続に主眼を置いたサービス提供を行いました。

2. 重点目標【共通】

- (1) 魅力ある施設づくりを行い、目標利用率を達成します。

利用者のニーズを的確に捉え、多種多様なレクリエーション・創作活動の提供などにより魅力ある施設づくりに努めます。サービス・利用者満足度の向上をもって、利用率の向上を図り、関係機関等への広報活動も積極的に行い、利用に繋がるように努めました。

- (2) 自立支援・重度化防止への取り組みを進めました。

日常の介護場面やリハビリなどで、心身機能の維持・向上に努め、自立支援に主眼を置いたサービス提供を行いました。また、科学的介護を推進する観点から、LIFEの入力方法・事務負担等を確認し、それに伴う必要な準備・検討を行いました。

- (3) 事故防止に努め、安全かつ快適なサービスを提供しました。

計画的に内部研修を実施し、リスクマネジメント力の向上を図りました。また、事故・ヒヤリハット事例の検証を迅速に行い、再発防止策の徹底を図ることとで施設の安全性向上に努めました。

3. 各施設目標・サービス提供内容

- (1) 東品川在宅サービスセンター（総合事業、大規模型通所介護）

①第9期品川区介護保険事業計画の内容を踏まえ、介護予防に重点を置いて、自立支援を促し、中重度の高齢者及び医療的ケアの必要な方についても柔軟に受け入れを行いました。また、認知症ケアにおいては、さまざまな生活機能（心身機能・活動・参加）全体を捉えながら、認知症予防や利用者の能力の最大活用ができるようにサービス提供を行いました。

②機能訓練サービス

ア 生活している環境や状況に配慮し、利用者個々の身体機能に合わせたリハビリの提供を施設内機能訓練指導員で協力しあって行いました。

イ 介護予防事業において、感染症対策を行いつつ、虚弱高齢者でも運動が行えるように個々の状態に合わせた運動を行いました。また、自宅などで行える運動プログラムを提案し、事業修了後の運動継続を促しました。元気高齢者に対してはボランティア活動などを勧めました。

ウ 利用者が安全にリハビリを行えるよう、設備・備品については、日々の点検及び必要な安全対策を行い、老朽化している物は計画的に更新しました。

<サービス提供体制>

リハビリ	サービス提供時間	職員体制(1日当たり)
①運動療法 (立位・歩行訓練等)	午前／ 9時30分～11時30分	常勤機能訓練指導員3名 (SC2名・晴楓各1名)
②温熱療法	午後／	非常勤機能訓練指導員
③福祉用具相談等	13時30分～16時00分	非常勤介護士等数名

③高齢者福祉部として取り組んでいる地域貢献活動（ミニサロン）について、新しい生活様式の中で、安心して参加者が楽しめるよう、在宅介護支援センターと東海ホームと共同で順次開催しました。

④利用者の事故を防止するため、事故・ヒヤリハット事例の検討を迅速に行いました。防止策については、朝礼等で職員全体での情報共有を徹底するとともに、業務マニュアル・手順書についても適宜更新しました。

⑤人材育成について

令和5年度から行ってきたウェブ研修を引き続き設定し、各自時間の有効活用の観点からも周りの職員と声を掛け合って個別に実施してきました。これによりすべての介護職員に研修実施が出来、全体研修に参加することでスキルの向上につながりました。

⑥環境整備について、浴室のLED化、循環ろ過装置基盤交換を行い、安全で快適な環境を整備しました。

(2) 大崎在宅サービスセンター（総合事業、通常規模型通所介護）

①サービス向上に向けた取り組みについて

ア 認知症ケアの向上を図りました。認知症の症状に合わせたケア計画を立て、定期的な個別事例の検討を行いました。また、認知症ケアに関する勉強会（1回／年）を実施する等で、認知症のチームケアを構築しました。

ア) 東京都認知症実践者研修に2名受講しました。

イ 大崎在宅介護支援センターとの連携を強化します。介護職員が、定期的（最低でも、ひと月に1回は参加）に支援センターの利用者確認会議へ参加し、利用者の利用状況報告や、情報交換をこまめに行いました。また、認知症の進行のある方などの情報を共有し、通所介護より認知症対応型通所介護への

円滑な移行に努め、5名移行していただきました。

- ウ 「いきいき活動プログラム（予防通所事業）」の内容充実に努めます。ボランティアの受け入れを積極的に行う等、多種多様なプログラムを提供しました。対象となる利用者へプログラムを実施することで、「認知機能」・「心身機能」の維持・向上を図りました。

※「いきいき活動プログラム」とは、予防通所事業と組み合わせて実施する、介護予防や自立支援を目的とした2.5時間以上のプログラムです。

- エ 「にやりほっと報告書」（目標：年20件以上）を作成し、利用者の「できること」に着目した支援を行いました。目標件数20件を上回り22件作成しました。「にやりほっと報告書」の内容は、職員全体で情報共有し、利用者の意欲向上・自立支援の具体的な対応に結びつけました。必要に応じて、家族やケアマネージャへも情報共有を行いました。「にやりほっと集」を作成し、利用者、ご家族に配布しました。

※「にやりほっと報告書」とは、利用者の「できること」・「好きなこと」などを発見し、それを共有し、具体的な支援策に結びつけることを目的とした報告書です。

- オ ヒヤリハット報告事例（目標：年40件以上）の検討を積極的に行いました。ヒヤリハット・リスクレベル評価表を基準に作成を行ったため目標件数を下回り23件でしたが、ヒヤリハット・リスクレベル評価表の基本的な考え方を基に特記事項への入力や情報共有を行いました。施設内の危険を予見し、検討後の対応策を周知徹底する事で安全性向上に努めました。決定した対応策については一時的なものにならないよう、適宜「手順書」へ追記し、事業所内で周知徹底しました。

②人材育成について

- ア 新任職員・異動職員へのOJT研修については、「業務手順書」の他、配属より3カ月で習得する「OJT業務チェックリスト」をもとに研修を実施しました。OJT担当職員の他、職員全員で重層的な関わりをもって対応を行いました。また、管理者による定期面談を実施し、業務の習得状況等を丁寧に確認しました。良かった点や、強みを評価する欄を設け、職員の意欲的な勤務継続を支援する教育体制を構築しました。

- イ 職員の介護技術向上を目的とした「介護技術向上研修」にて次世代介護機器操作研修を実施しました。今後も研修や福祉用具の活用などにより、より安全な介護方法を取り入れます。

- ウ 法人内の事業所等と、職員の相互研修を実施し、五反田保育園ふれあいデイホーム、晴楓ホームにて研修を行いました。レクリエーション活動や抱えない介護（リフト機器の使用方法）等、それぞれの事業所で行っているサービ

スの強みを理解し、互いの学びをサービスへ反映することで、さらに魅力のある施設作りに努めました。

③目標利用率の達成に向けて

ア 利用者アンケートの評価・意見を事業運営へ反映させることで、利用者満足度の向上（目標満足80%以上）に努めました。

※年2回実施（7月・1月）

（利用者アンケートの回答について）

・「サービス全般について」評価を問う設問に対し、84.9%の方に満足以上（うち大いに満足35.8%）の回答をいただきました。

イ 空き情報や活動報告などを、近隣関係事業所へ情報提供しました。また、事業所パンフレットを新規契約・見学等で活用しました。

ウ 見学等で使用している「利用ご案内」について、更新（年1回以上）を行い、新規契約・見学等で、施設サービスについて分かりやすい説明を行いました。

（3）品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム（地域密着型通所介護 定員10名）

① 居宅支援事業所へ月1回発行している活動報告や、地区ケア会議への参加等で、事業所の特色（充実した創作活動・手厚い支援体制など）を、積極的にアピールしました。また、さらなるサービスの充実を目指して、法人内の職員相互研修を実施（年間1名以上）しました。他事業所の良い点を学び、サービスへ反映しました。

② ヒヤリハット事例（目標：年20件以上）を事故防止の入り口と捉え、防止策を立て、それを着実に実行することで事故を防止しました。必要な環境整備を実施し、安全に過ごせる環境を提供しました。

③ 「にやりほっと報告書」（目標：年20件以上）を作成し、利用者の「できること」に着目した支援を行いました。「にやりほっと報告書」の内容は、職員全体で情報共有し、利用者の意欲向上・自立支援の具体的な対応に結びつけました。必要に応じて、家族やケアマネージャへも情報共有を行いました。

※「にやりほっと報告書」とは、利用者の「できること」・「好きなこと」などを発見し、それを共有し、具体的な支援策に結びつけることを目的とした報告書です。

④ 介護予防や自立支援を目的とした「いきいき活動プログラム」などを推進しました。手芸等の創作活動など様々な活動を通して利用者の心身機能の維持・向上に努めました。

⑤ 保育園児との交流を継続しました。高齢者としての役割が持て、心身共に充実が図れるように努めました。

（4）一般介護予防事業

お申し込みをいただいた方（65歳以上の全ての区民が対象）に、効果的な

介護予防教室を開催しました。早期に介護予防に取り組んでいただくことで自立を支援しました。

① 東品川在宅サービスセンター

ア マシンでトレーニング（月曜日／定員—8名）

イ 身近でトレーニング（水・土曜日／定員—各12名）

② 大崎在宅サービスセンター

ア 身近でトレーニング（木曜日／定員—6名）

（5）介護者教室

在宅介護者の方々へ介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術が習得できるような教室を開催しました。また、参加者同士の自由な意見交換の場として、日頃の介護の悩みや・不安の軽減に繋がるよう努めました。東品川在宅サービスセンターと、大崎在宅サービスセンター協同で開催しました。

4. 家族介護者との関わり・連携（意見・要望の収集など）

（1）戸別訪問の実施（随時）※サービス担当者会議、通所介護計画更新時等

（2）利用者・家族アンケートを実施（6月）しました。そこで出た意見・要望を集約（回答を数値化）し、事業運営に反映しました。

（3）利用者アンケートの意見報告・頂いたご意見に対する施設の業務改善策について集計内容を書面化し、利用者集会等で説明しました。

（4）意見箱や、サービス提供中の会話等で、施設へのご意見を伺うように努め、寄せられた意見・要望に対しては、誠意を持って回答・対応しました。

5. 地域との交流・連携、ボランティアの受け入れ促進

（1）地域貢献活動について

①東品川エリア（東品川在宅サービス課）

地域貢献事業として、折り紙教室「海岸通り」（第4金曜日）を継続して実施しました。また、地域貢献活動として、「自治八潮会サロン」（毎月第4水曜日）を継続開催し、地域の実情を踏まえながら開催しました。

②大崎エリア（大崎在宅サービス課）

地域貢献活動「大崎ふくふく」を定期的（年4回）に開催します。実施については、法人内の大崎在宅介護支援センター・五反田保育園ふれあいデイホームと協同して開催しました。

（2）行事や施設開放を通じて地域との交流を行いました。また、町会・自治会や近隣の保育園・小学校等の地域活動にも積極的に参加し交流を深めました。

（3）プログラムメニューを工夫し、ボランティアの方々が短時間でも活動しやすい体制を作るなど、ボランティアの受け入れを促進しました。

認知症対応型通所介護事業報告

1. 基本方針

少人数で温かく居心地のよい環境を提供し、認知症の方の心に寄り添い、深い洞察力と適切な関わりをもって専門的なサービス提供に努めました。利用者のニーズを的確に把握し、その方に合った認知症ケアを実践しました。

2. 重点目標

(1) 認知症ケア・サービスの質の向上を図りました。

①認知症の方が有する能力に応じた日常生活を営むことが出来るよう、内部・外部研修等を通じて、実践的な知識・技術を取得し、事業所の支援力を強化しました。東京都認知症介護実践者研修を受講（年1名以上※各課）し、認知症高齢者への支援のあり方を学び、他職員へも学びを共有し事業所全体の支援力向上に努めました。

②品川区・他事業所と連携し、認知症対応型通所介護のサービス提供のあり方等を見直し、利用者ニーズの把握、ニーズがより充足できるようなサービス提供に努めました。家族支援にも力をいれた事業運営を行い、介護方法や認知症上の対処方法を助言しました。

3. 各施設目標・サービス提供内容

(1) 東品川在宅サービスセンター「福栄会の家 なごみ」

①ケアプランに則し、個々のプログラムの構築など、より個々の利用者の有する能力に応じた自立した支援を提供しました。

②サービス内容に対する取り組み

ア 個別対応を重要視し、個々にあったサービスを実施しました。

*入浴・排泄・食事等の工夫を行い、それらを家族と共有しました。

イ 利用者の能力を最大限引き出し、余暇活動や創作活動など自己決定(選択)できる環境を整え、活動に幅や楽しみが持てるように取り組みました。

ウ 通常デイサービスを利用している方で本人の状態変化(認知症や精神疾患)があった際には、家族・他事業所と情報共有し認知デイサービスにスムーズに移行してきました。

(2) 大崎在宅サービスセンター「福栄会の家 ほのぼの」

①利用者が楽しめる活動内容の充実を図りました。担当職員にて、月間活動スケジュール等を計画し、その内容に基づきサービスを提供しました。季節行事・外出・レクリエーション・創作活動などをバランスよく計画・実施しました。

②散歩や、ドライブなどの外出活動に力を入れ、利用者が心身ともにリフレッシュできる活動を提供しました。外出活動がより充実したものとなるよう、予算を計画的に執行しました。外出活動の充実により、通所介護とのサービス内容の差別化を強化しました。

③ 「にやりほっと報告書」(目標：年20件以上)を作成し、利用者の「できること」に着目した支援を行いました。目標件数20件を上回り22件作成しました。「にやりほっと報告書」の内容は、職員全体で情報共有し、利用者の意欲向上・自立支援の具体的な対応に結びました。必要に応じて、家族やケアマネージャへも情報共有を行いました。にやりほっと集を作成し、利用者、ご家族に配布しました。

※大崎在宅サービスセンター「にやりほっと報告書」説明参照。

(3) 運営推進会議を開催(6か月に1回以上)し、利用者・家族・地域住民の代表者等へ、日頃のサービス内容等を説明しました。また、広く意見を求めることで地域に開かれた施設を目指し、サービスの質の向上を図りました。

(4) 介護者教室や認知症家族懇談会を通して、認知症介護から生じるさまざまな問題や課題を理解し、家族同士が交流の場を持つことで、不安やストレスの軽減を図るなど家族支援にも取り組みました。

〔別紙①〕 在宅課年間行事

①東品川在宅サービスセンター・支援センター・ヘルパーステーション

月	日	行事名等	内 容
4	1	お花見ドライブ	季節行事
	2	係長・主任会議	以降毎月第1火曜日実施
	3	給食委員会	毎月第1週の水曜日実施
	3	東海ミーティング（東支援）	以降毎月第1水曜日実施
	4	うんどう教室（北浜公園）	一般介護予防事業、以降毎月第1・3木曜日実施
	8	東品川地区ケア会議	以降毎月第2月曜日に実施
	12	東品川ミニサロン（第2金曜日）⇒中止	以降毎月第2金曜日実施
	15	茶話会（お誕生会）週間	以降毎月第3週に実施
	16	職員会議⇒中止	以降毎月1回開催（各宣言発令中は書面回覧確認）
	17	居宅介護支援事業所連絡会（東支援）	以降毎月第2水曜日実施
	17	刈崎町会サロン⇒中止	以降毎月第3水曜日実施、東海ホーム職員が実施
	17	台場地区ケア会議	以降毎月第3木曜日開催
	19	支援職員会議（東支援）	以降毎月第2金曜日実施
	22	ヘルパーミーティング（東支援）	以降毎月第4月曜日開催
	25	法人防災訓練	以降毎月第4木曜日開催（机上訓練、機器作動確認）
	26	自治八潮会サロン（東支援）	以降毎月第1金曜日開催
	26	東品川ミニサロン（第4金曜日）⇒中止	以降毎月第4金曜日実施
	26	折り紙教室	地域開放交流事業、第4金曜日
	27	アットホームカフェ（東支援）	以降毎月第4土曜日実施
	30	在宅課ミーティング	以降毎月最終火曜日実施（基本的に書面回覧確認・適宜対面開催）
5	1	開設記念日	
	6	菖蒲湯週間	
	12	福栄会まつり	
	17	ひろまち保育園交流⇒中止	
	18	家族懇談会⇒中止	年1回開催
	22	ちえのわ南校（東支援）	奇数月第4水曜日に実施
	23	おもてなし会議	以降奇数月第4木曜日開催
	24	東京医療保健大学実習	24日・27日
6	10	東京医療保健大学実習	10日・11日
	15	介護者教室	夏場の熱中症対策
	18	城南小学校訪問	
	22	ボランティア懇談会⇒中止	年1回開催
7	6	身近でトレーニング（土曜日）	一般介護予防事業、以降毎週土曜日実施
	8	マシンでトレーニング開始	一般介護予防事業、以降毎週月曜日実施
	10	身近でトレーニング（水曜日）	一般介護予防事業、以降毎週水曜日実施
	18	北品川保育園交流⇒中止	4歳児との交流
	20	介護者教室	家庭で出来るやさしい介護技術
	24	昭和看護実習	
8	1	教員ボランティア受け入れ⇒中止	毎週3名程度、以降12月まで
	3	刈崎町会納涼祭	
	14	介護支援専門員実習	14日・15日
9	12	センター祭り	
	12	アシストリハビリ運営推進会議	第1回（年2回開催）
	14	認知症家族懇談会（アットホーム）	年3回開催
	18	運営推進会議	第1回（年2回開催）

月	日	行事名等	内 容
10	5	ジブラルタル生命ボランティア来所	衛生用品の寄付あり
	9	地域ケアブロック会議	年2回(第1回目)
	19	介護者教室	
	18	東京医療保健大学実習(東支援)	18日・21日
11	2	法人経営基礎研修⇒中止	
	2	センター運動会	
	13	昭和大学看護実習生	13日・20日・21日
	14	炊き出し訓練	法人行事
	16	介護者教室	高齢者の食事
	25	紅葉ドライブ行事	季節行事
	27	給食懇談会	
	28	東海中学校職業体験	
12	7	法人経営基礎研修⇒中止	
	11	昭和大学看護実習生	11日・12日・18日・19日
	24	クリスマス会	
1	6	初詣ドライブ	季節行事
	15	上級救命講習	
	18	介護者教室	
	28	理事長ヒヤリング	
2	17	介護支援専門員実習生	17日・18日
	18	品川区デイサービスセンター合同作品展⇒中止	
	26	運営推進会議	年2回開催
3	3	地域ケアブロックリーダー会議	
	17	地域ケアブロック会議	年2回(第2回目)
	27	新任研修	配属先での研修
	31	親睦会総会・歓送迎会	

②大崎在宅サービスセンター・支援センター・五反田保育園ふれあいデイホーム

月	日	行事名等	内 容
4	1	品川区スケッター有償ボランティア（大崎） バイオリンボランティア（大崎） 大正琴ボランティア（大崎） 八潮ウクレレボランティア（大崎） ギター・ハーモニカボランティア（大崎） リコーダーボランティア（大崎） 落語ボランティア（大崎） 利用者集会（大崎） 家族懇談会（大崎） お花見週間（五反田） 管理者会・居宅支援事業所連絡会（大支援） 大崎地区ケア会（大支援）	月1回～2回 月2回 ※中止 大正琴を使用した演奏と合唱、月1回 ※中止 不定期に開催 毎月1回開催 ※中止 不定期に開催 不定期に開催 落語・合唱 ※中止 年1回開催 年1回開催 ※中止 年1回一週間程度 ※令和7年3月27日～4月3日 毎月第2水曜日に実施 毎月第2金曜日に実施
	2	係長主任会議	以降毎月第1火曜日に実施
	6	給食委員会 五反田保育園ふれあいデイホーム職員会議（五反田） 保育園との打ち合わせ（五反田）	以降毎月第1水曜日に実施 以降毎月1回実施 以降毎月1回実施 ※随時実施へ変更
	16	西五反田地区ケア会議（五反田）	以降月1回開催
	17	上大崎地区ケア会議（五反田）	以降月1回開催
	18	台場地区ケア会議（五反田）	以降月1回開催
	23	支援職員会議（大支援）	以降も毎月1回実施
	26	在宅課ミーティング	以降毎月最終火曜日に実施（基本的に書面回覧確認・適宜対面開催）
	30	大崎SC職員会議	以降毎月1回実施
5	1	在宅課全体ミーティング	年1回（法人全体）
	5	保育園との交流会（五反田）	年1回開催
	11	福栄会まつり 菖蒲湯（大崎）	毎日、献立発表・午後の活動参加 ※園児2名 1週間程度
	23	西五反田在支との合同勉強会（大支援）	年1回開催
	30	品川介護専門学校実習（大崎）	5月27日～5月31日（3日間）1名
6		貴船神社祭礼 ボランティア懇談会（法人全体）	年1回開催 ※コロナの為、中止
	8	認知症サポーター ステップアップ講座（大在支） 東京医療保健大学看護学科実習（大支援） 大崎ウィズタワー全館防災訓練（大崎・大支援）	8・10日 2名 年2回実施（6・11月） 年4回実施
	13	大崎館内清掃（大崎）	「夏場の熱中症対策」
	14	介護者教室 支え愛活動会議（大崎・大支援―管理者）	6月・12月
7		品川区立日野学園職場体験（五反田） 地域貢献事業「ふくふく」（大支援・大崎・五反田） 昭和大学医学部付属看護専門学校実習（五反田）	※中止 年4回開催（7月・9月・11月・2月） 1～4日2名・8～11日2名・16～18日2名・22～25日2名
	8	品川介護学校社会福祉士実習（大在支）	8～16日 1名
	14	昭和大学医学部付属看護専門学校実習（大崎）	1. 3. 4日1名・8. 10. 11日1名・16. 17. 18日1名 22. 24. 25日1名
	22	東京医療保健大学看護学科実習（大支援） 夏祭り（大崎デイ）	22・23日 2名 29・30日実施
8		夏の体験ボランティア（大崎） 教員介護等体験ボランティア（五反田）	※中止 （～12月、隔週2名づつ）
	5	教員介護等体験ボランティア（大崎）	（～1月、隔週2～3名づつ）
	19	夏祭り（五反田）	19～24日開催
	30	品川介護福祉専門学校（大崎）	30日～9月3日（5日間）①名
	30	運営推進会議（大崎認知デイ）	年2回開催
9		夏の体験ボランティア（大崎） 4 五反田保育園ふれあいデイホーム交換研修（大崎） 5 利用者集会（五反田）	※中止 職員1名参加 5～10日で実施
	14	介護者教室	介護サービスとその活用
	19	実地指導（大在支）	
	26	運営推進会議（五反田）	年2回開催

月	日	行事名等	内 容
10		大崎中学職場体験（大崎） 東京医療保健大学看護学科実習（大支援） 19 介護者教室 21 運動会（五反田） 23 晴楓ホーム交換研修（大崎） 30 ハロウィン（大崎） さくら大崎保育園ハロウィン交流訪問	※中止 18日・21日 2名 健康寿命 21日～26日 職員1名参加 30～31日開催 30日
11		8 炊き出し訓練 紅葉ドライブ行事（大崎） 12 三事業所合同消防訓練（五反田） 13 昭和大学付属附属看護専門学校実習（大在支） 16 介護者教室	法人行事 季節行事 ※中止（施設内で代替行事実施） 毎年2回開催 1日の未実施 2名、 20日・21日 2名 高齢者の食事
12		昭和大学付属附属看護専門学校実習（大在支） 21 ゆず湯週間（大崎） 22 大掃除週間（大崎） 大崎SCクリスマス会 クリスマス会（五反田） 年末年始休業	11日・12日 2名、 18日・19日 2名 21～24日実施 22～28日実施 20～21日実施。 季節行事（保育園と合同） 23～28日まで 12月29日～1月3日まで
1		6 七福神巡り初詣ドライブ（大崎） 13 獅子舞（大崎） 14 新年会（五反田） 18 認知症家族懇談会（アットホーム） 20 七福神巡り初詣ドライブ（五反田） 27 節分の会（五反田）	季節行事6日～11日 ※中止 季節行事 14～18日 20～25日実施 季節行事 27～3月1日
2		保育園展（五反田） 品川区デイサービスセンター合同作品展 3 節分（大崎） 5 介護支援専門員実務研修（大支援） 26 運営推進会議（大崎認知デイ）	保育園の作品展に出展 ※中止 5日・6日 1名 年2回開催
3		ひなまつり会（大崎） 3 池上梅園ドライブ（五反田） 運営推進会議（五反田） お花見散歩・ドライブ（大崎） 6 認知症サポーターステップアップ講座（大支援） 8 五反田保育園 卒園式参加 14 三事業所合同消防訓練（五反田） 24 お花見ドライブ（五反田） 28 新任研修	3日実施 3～8日実施 年2回開催 季節行事 五反田保育園にて実施 ※不参加 年2回開催 24～29日実施 配属先での研修

[別紙②] 年間利用状況

東品川在宅サービスセンター

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数 ÷ (稼働日数 × 1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
1. 通常規模型 通所介護 品川区総合事業	稼働日数	26	27	25	27	27	25	26	26	24	24	24	26	307
	要介護 実利用者数	75	74	73	72	67	60	58	55	59	59	56	55	763
	総合事業 実利用者数	33	36	34	34	36	36	35	38	37	34	35	36	424
	要介護 延利用数	647	628	600	624	584	527	546	509	466	432	420	451	6,434
	総合事業 延利用数	220	233	206	243	254	225	249	252	234	226	206	238	2,786
	定員40名 利用率%	83.4	79.7	80.6	80.3	77.6	75.2	73.6	73.2	72.9	68.5	65.2	66.3	74.7
2. 認知症対応型 通所介護 (ばかばか)	要介護 実利用者数	6年度から1単位なごみのみとなる。												
	総合事業 実利用者数													
	要介護 延利用者数													
	総合事業 延利用者数													
	定員12名 利用率%													
3. 認知症対応型 通所介護 (なごみ)	要介護 実利用者数	21	20	21	19	18	20	19	18	19	16	15	15	221
	総合事業 実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 延利用者数	108	158	169	178	178	179	167	167	150	146	123	154	1,877
	総合事業 延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定員12名 利用率%	57.7	48.8	56.3	54.9	54.9	59.7	51.5	53.5	52.1	50.7	42.7	49.4	52.7
4. 入浴	延利用数	736	714	676	721	692	627	646	627	572	534	514	580	7,639
5. 給食サービス	延利用数	1,015	987	947	1,021	996	903	939	912	833	791	741	838	10,923
6. 訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 送迎サービス	延利用数	1,964	1,880	1,800	1,934	1,873	1,728	1,797	1,745	1,593	1,507	1,412	1,599	20,832
8. 相談件数	延利用数	56	137	65	61	68	46	48	53	33	28	62	48	705
9. 介護者教室	参加者数	/	/	3	/	/	4	12	10	/	5	/	/	6.8
10. 身近でトレーニング ※全24回開催 ※週2回開催・各回12名定員	実利用数	24	24	24	24	23	23	24	24	24	23	23	23	283
	延利用者数	79	76	86	73	66	49	93	74	86	57	80	72	891
11. マシンでトレーニング ※全24回開催	実利用数	8	8	8	8	7	7	8	8	8	8	8	8	94
	延利用者数	30	24	30	32	17	19	28	26	29	30	29	30	324
12. 東品川ミニサロン (月2回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 自治八潮会サロン (月1回開催)	実利用数	10	12	12	13	11	11	10	12	11	10	11	8	0
14. 羽崎町会サロン (月1回開催)	実利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15. 折り紙教室 (月2回開催)	実利用数	7	5	5	5	0	7	6	0	7	7	10	8	0

大崎在宅サービスセンター

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数÷(稼働日数×1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
	稼働日数	22	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	304
1. 通常規模型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	62	58	53	53	52	55	57	56	55	54	51	49	655
	総合事業 実利用者数	31	34	32	32	35	36	35	31	36	39	40	41	422
	要介護 延利用者数	449	585	452	489	477	453	465	469	411	412	397	431	5,490
	総合事業 延利用者数	142	211	182	209	229	216	228	197	198	214	223	253	2,502
	定員35名	利用率%	78.1	84.9	75.2	74.8	76.0	76.5	73.3	74.0	73.7	74.2	74.5	76.2
2. 認知症対応型 通所介護 (ほのぼの)	要介護 実利用者数	15	14	15	15	18	18	18	18	16	16	17	19	199
	要支援 実利用者数	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	要介護 延利用者数	115	153	166	191	207	210	208	213	187	171	173	203	2,197
	要支援 延利用者数	7	9	9	18	0	0	0	0	0	0	0	0	43
	定員12名	利用率%	43.6	47.2	58.7	69.8	63.9	70.0	64.2	68.3	64.9	59.4	60.1	65.1
3. 入浴	延利用数	561	794	709	775	750	694	714	704	633	627	615	693	8,269
4. 個別機能訓練	延利用数	571	750	635	715	696	663	673	684	607	595	576	643	7,808
5. 給食サービス	延利用数	717	946	812	905	901	854	873	858	786	783	779	873	10,087
6. 訪問給食	延利用数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 送迎サービス	延利用数	1,393	1,856	1,599	1,783	1,784	1,661	1,677	1,644	1,493	1,485	1,520	1,707	19,602
8. 相談件数	延利用数	78	64	123	69	100	65	93	74	96	141	75	82	1,060
9. 介護者教室	参加者数			3			4	12	10		5			6.8
10. 予防事業 身近でトレーニング (定員10名)	実利用者	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
	延利用者	11	17	19	17	22	10	26	18	16	21	17	16	210
11. 地域貢献事業 (大崎ふくふく)	延利用数				11		11		10			5		37

品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

1) 利用率

小数点第2位四捨五入

2) 利用率算出式

延利用数÷(稼働日数×1日定員)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
	稼働日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
1. 地域密着型 通所介護 品川区総合事業	要介護 実利用者数	18	17	17	16	16	17	17	17	16	15	13	12	191
	総合事業 実利用者数	11	12	12	12	11	10	11	11	11	10	11	12	134
	要介護 延利用者数	108	97	96	107	114	113	125	121	120	94	72	91	1,258
	総合事業 延利用者数	70	65	68	71	69	58	67	67	64	51	57	65	772
	定員10名	利用率%	74.0	67.5	65.6	68.5	70.4	74.8	73.8	76.7	63.5	58.6	62.4	69.5
2. 給食サービス	実利用数	24	28	26	26	26	27	27	26	26	25	24	24	367
	延利用数	177	162	164	178	183	171	189	184	184	145	129	156	2,022
3. 送迎サービス	延利用数	293	262	267	295	297	278	331	322	321	245	239	300	3,450
4. 相談件数	延利用数	9	26	22	18	18	18	13	3	8	9	10	13	167

[別紙③] 過去の各事業の推移

小数点第2位四捨五入
 延利用数÷(稼働日数×1日定員) 実利用数は月平均数
 延利用数は年間合計数

ア 東品川在宅サービスセンター

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考
1 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	164.3	142.1	142.8	131.8	130.7	123.8	112.3	107.0	108.0	117.0	116.6	99.5	平成13年1月より定員数を、基本25名から40名に変更。
	延利用数	10,295	10,707	10,851	10,360	10,843	10,208	9,432	9,092	9,769	10,838	10,844	9,758	
	平均利用率(%)	82.9	87.0	88.9	84.9	85.8	83.0	76.8	73.0	79.3	88.8	89.5	74.7	
2 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数	37.4	35.6	30.2	31.9	33.0	32.8	28.8	29.0	26.5	22.6	20.0	18.5	平成24年12月1日より2単位目「なごみ」開始に伴い、定員数を12名から24名に変更 令和3年から1単位「なごみ」定員12名に変更
	延利用数	4,357	3,712	3,323	3,621	3,447	3,463	3,214	3,292	3,070	2,521	2,265	1,825	
	平均利用率(%)	62.9	50.0	45.7	48.6	47.5	46.9	43.6	44.0	41.5	34.9	30.8	52.7	
3 入浴(介助浴)	延利用数	5,948	4,906	5,080	4,507	5,801	5,601	5,047	5,887	6,151	6,477	6,230	5,005	
4 入浴(機械浴)	延利用数	3,648	2,983	2,858	2,696	3,379	3,545	3,413	2,957	2,639	2,899	2,871	2,584	
5 機能回復訓練	平均実利用数	173.3	194.0	191.4	194.0	198.0	176.0	145.5	164.0	179.0	178.5	182.4	135.0	平成20年11月1日より認知症デイ機能訓練請求開始
	延利用数	13,763	14,343	14,600	14,921	15,965	14,212	13,033	12,615	14,110	14,692	12,001	11,173	
6 給食サービス	平均実利用数	169.9	161.8	170.0	158.7	171.4	154.9	140.4	136.0	135.0	140.0	136.8	133.0	
	延利用数	14,328	14,227	13,874	13,921	14,290	13,601	12,603	12,382	11,651	13,084	12,925	10,923	
7 訪問給食	平均実利用数	14.5	11.4	4.9	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	令和5年度で廃止
	延利用数	1,260	956	151	498	307	89	95	99	0	0	0	0	
8 送 迎	延利用数	26,488	27,119	27,391	26,897	26,688	25,945	23,955	22,924	24,448	25,130	24,929	20,832	片道送迎を1回としてカウント
9 相談件数	年間相談件数	1,505	1,293	1,369	1,632	1,546	1,235	1,086	1,136	1,053	1,092	783	705	
10 介護者教室	総参加者数	65	88	58	133	30	53	78	0	0	0	4	34	

イ 大崎在宅サービスセンター

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考
1 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	106.0	104.1	106.5	109.9	114.0	104.5	95.8	84.2	77.8	90.5	100.5	89.6	平成13年1月より定員数を基本25名から35名に、平成15年8月より定員数を基本35名から30名に、平成18年11月より定員数を基本30名から35名に変更。
	延利用数	9,649	8,974	9,292	9,667	10,202	9,461	8,924	8,485	7,962	8,706	9,581	7,992	
	平均利用率(%)	90.1	83.5	85.5	88.8	83.4	87.9	82.8	78.8	73.8	81.1	88.7	76.0	
2 認知症対応型 デイサービス	平均実利用数		15	19.5	20.4	16.8	22.8	21.1	18.7	18.1	17.8	18.2	16.9	平成15年8月より認知デイ開設(定員10名)。平成18年11月より認知デイ休止。平成28年6月より認知デイ定員12名で開始。
	延利用数		1,375	1,773	1,911	1,191	2,144	2,243	2,382	2,293	2,079	1,942	2,240	
	平均利用率(%)		45.1	47.8	51.2	39.8	58.3	60.7	64.5	61.8	56.2	52.9	61.3	
3 入浴(介助浴)	延利用数	4,225	5,388	5,848	5,348	5,595	6,264	6,661	5,854	5,870	6,789	7,520	6,804	平成28年6月より認知デイ開始。(個浴を含む)
4 入浴(機械浴)	延利用数	3,470	2,989	3,452	3,828	3,164	3,334	2,595	3,028	2,591	2,202	1,891	1,472	平成22年度よりフレイル対策として、平成28年3月よりフレイル対策施設
5 機能回復訓練	平均実利用数	108.5	98	102	107.2	95	127	117	103	96	108	118	108.9	
	延利用数	6,482	8,111	8,667	9,581	8,307	9,314	8,850	9,411	9,083	9,027	9,106	7,808	
6 給食サービス	平均実利用数	102.5	117.1	126	130	112	126.5	115	110	93.9	103.6	117	104	
	延利用数	9,345	10,330	11,329	11,578	10,012	11,480	12,350	10,721	10,021	10,517	11,285	10,087	
7 訪問給食	平均実利用数	2.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	延利用数	161	63	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8 送 迎	延利用数	18,860	20,419	21,779	22,610	20,890	22,854	21,441	20,866	19,663	20,733	22,065	19,602	片道送迎を1回としてカウント
9 相談件数	年間相談件数	1,004	1,369	1,321	1,321	989	846	1,108	953	999	1,151	1,052	1,060	
10 介護者教室	総参加者数	102	49	47	47	64	39	47	0	0	0	4	29	令和2年度より令和5年度、新型コロナウイルス感染症拡大により中止

ウ 品川区立五反田保育園ふれあいデイホーム

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考
1 基本事業 一般デイサービス	平均実利用数	29.0	27.0	27.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	24.7	31.6	29.2	27.0	平成18年度から運営委託(品川区より)・定員数を8名から10名に変更。平成19年5月より土曜日開設
	延利用数	2,319	1,937	1,196	2,371	2,640	2,413	2,035	1,919	2,051	2,497	2,162	2,030	
	平均利用率(%)	79.1	66.6	60.8	81.2	91.5	82.7	70.5	65.5	70.1	85.1	73.5	69.5	
2 給食サービス	平均実利用数	29.0	27.0	20.0	33.0	33.0	31.4	23.9	20.0	24.7	30.6	30.6	25.7	
	延利用数	2,319	1,937	1,196	2,371	2,592	2,413	2,035	1,919	2,051	2,469	2,134	2,022	
3 送 迎	延利用数	4,440	3,504	2,385	4,216	4,257	4,113	3,579	3,334	3,520	3,911	3,412	3,450	片道送迎を1回としてカウント
4 相談件数	年間相談件数	155	143	152	60	31	147	181	189	288	151	122	167	

[別紙④] 防災訓練実施状況

ア 東品川在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
令和6年	4	25	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	5	23	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	6	27	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	7	25	木	防災機器等、自主点検、机上訓練
	8	22	木	防災機器等、自主点検、
	9	26	木	防災機器等、自主点検、法定点検
	10	24	木	防災機器等、自主点検、
	11	3	日	総合防災訓練、自主点検、
	12	26	木	防災機器等、自主点検、
令和7年	1	23	木	防災機器等、自主点検、
	2	27	水	防災機器等、自主点検、法定点検
	3	27	木	防災機器等、自主点検、

イ 大崎在宅サービスセンター

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
令和6年	4	20	土	防災機器等、自主点検、机上訓練
	5	20	月	防災機器等、自主点検、机上訓練
	6	19	水	防災機器等、自主点検、机上訓練 ※6月 大崎ウィズタワー総合防災訓練
	7	31	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	8	30	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	9	13	金	日中想定 消火・避難・通報訓練 ※30日自衛消防訓練実施
	10	31	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
	11	25	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
	12	10	火	日中想定 消火・避難・通報訓練 ※12月 大崎ウィズタワー総合防災訓練
令和7年	1	24	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	2	17	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	3	12	水	日中想定 消火・避難・通報訓練

ウ 五反田保育園ふれあいデイホーム

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
令和6年	4	26	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	5	29	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	6	25	火	日中想定 消火・避難・通報訓練
	7	31	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	8	24	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
	9	26	木	日中想定 消火・避難・通報訓練
	10	30	水	日中想定 消火・避難・通報訓練
	11	12	火	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)
	12	28	土	日中想定 消火・避難・通報訓練
令和7年	1	20	月	日中想定 消火・避難・通報訓練
	2	21	金	日中想定 消火・避難・通報訓練
	3	14	金	日中想定 消火・避難 3所(保育園・シルバーセンター合同訓練)

エ 東品川在宅介護支援センター(東品川わかくさ荘)

年	月	日	曜日	訓 練 内 容
令和6年	6	14	金	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練
	9	26	木	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練
	11	3	日	総合防災訓練
令和7年	2	14	金	防災機器取り扱い確認、消化・避難・通報訓練

ヒヤリハット報告状況

	東品川在宅 S C	大崎在宅 S C	五反田保育園 ふれあい D H
4月	1	1	1
5月	0	5	
6月	0	1	
7月	2	3	1
8月	1	6	1
9月	0	1	
10月	2	2	2
11月	0	2	2
12月	0	1	
1月	0	0	
2月	0	1	
3月	0	0	1
合計	6	23	8

[内訳]
東品川SC 無断外出4件/その他2件

大崎SC 誤提供(水分)1件・利用者同士の物品譲渡
入浴4件 見守り不足6件 誤植未遂1件
座席からのずり落ち2件 誤飲2件
服薬管理2件 個人情報2件
送迎時の対応1件 爪切り対応1件

五反田 送迎1件 個人情報1件 体調不良1件 転倒1件
座り込み1件 おやつ持ち帰り1件 移植1件
手指消毒1件

事故報告状況

医療機関を受診し治療・入院等に至ったもの

	東品川在宅 S C	大崎在宅 S C	五反田保育園 ふれあい D H
4月	1	※3	1
5月	0	0	
6月	0	※1	
7月	1	0	
8月	0	0	1
9月	0	2	
10月	0	※1	
11月	0	1・※1	
12月	0	※1	
1月	0	※1	
2月	0	0	
3月	※1	0	
合計	3	11	2

※医療機関を受診したが、診察または検査のみで治療を伴わないもの/医療機関を受診することなく、軽微な治療のみで対応したもの

[内訳]
東品川SC ※転倒1件、転倒1件

大崎SC ※転倒6件、体調不良4件、備品落下1件

五反田 ※転倒1件、パーテンション落下(骨折)1件

機能訓練実施状況

個別リハビリ利用者数（上段：実人数(登録数) 下段：延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
日数	26	27	25	27	27	25	26	26	24	24	24	26	307	26
基本デイ	75	74	73	72	67	60	58	55	59	59	56	55	763	64
	605	608	584	606	568	513	532	480	435	412	408	439	6,190	516
予防デイ	33	36	34	34	36	36	35	38	37	34	35	36	424	35
	204	225	203	240	249	224	245	227	221	208	213	222	2,681	223
認知デイ(ぼかぼか)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知デイ(なごみ)	21	20	21	19	18	20	19	18	19	16	15	15	221	18
	175	157	168	177	178	178	165	158	141	142	122	153	1,914	160
マシンでトレーニング	8	8	8	8	7	7	8	8	8	8	8	8	94	8
	30	24	30	32	17	19	28	26	29	30	29	30	324	27
身近でトレーニング	24	24	24	24	23	23	24	24	24	23	23	23	283	24
	79	76	86	73	66	49	93	74	86	57	80	72	891	74
単独リハビリ	15	15	15	15	15	14	14	13	13	13	13	13	168	14
	59	35	38	39	34	37	32	28	31	32	26	37	428	36
暗楓ホーム	85	82	83	82	82	79	81	81	82	82	82	83	984	82
	334	361	289	345	172	297	382	363	348	289	325	310	3,815	318
ショートステイ	35	40	42	36	33	38	33	37	33	33	31	28	419	35
	64	65	56	61	51	61	59	57	43	56	54	61	688	57
実人数合計	296	299	300	290	281	277	272	274	275	268	263	261	3,356	280
延べ人数合計	1,550	1,551	1,454	1,573	1,335	1,378	1,536	1,413	1,334	1,226	1,257	1,324	16,931	1,411
一日の利用者数平均	60	57	58	58	49	55	59	54	56	51	52	51		55

高齢者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
大崎在宅サービスセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症流行以降実施していない。

障害者施設実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
しいのき学園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西大井福祉園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かがやき園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者福祉部計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症流行以降実施していない。

品川区ヘルパーステーション東品川事業報告

1. 基本方針

利用者がいつまでも住み慣れた地域で生活していけるよう、訪問介護サービスの充実に取り組みました。

2. 重点目標

(1) 地域の関係事業者と連携したサービスの提供

法人内及び近隣の居宅介護支援事業所・通所介護事業所・短期入所生活介護事業所等と協力してサービスを提供しました。利用者のご家族の相談を踏まえ、訪問、通所、短期入所の各事業と連携した生活支援を行いました。

(2) 大規模多機能施設としての機能を活かす

①総合福祉法人の強みを活かし、法人内の居宅介護支援事業所・通所介護事業所・短期入所生活介護事業所等と日常的に情報交換等を行い、利用者のご家族のニーズを迅速に把握し、臨機応変に対応しました。

②障害者等の地域における自立生活と社会参加を促すことを目的に、移動支援事業を引き続き実施しました。また、移動支援・同行支援研修に参加し障害者への理解を深めました。

(3) 利用者の自立支援に努める

法人のサービス方針に謳われている「自立の援助」と「相互援助」の方針に基づき、利用者の人間性と生きてきた過程を尊重し、専門的知識を活かして一人ひとりの生きがいのある生活を支援することで、利用者のADLの維持・向上に努めました。

3. サービス提供体制

(1) サービス提供責任者及び訪問介護員の配置について、常に事業所として必要とされる適正な人員を配置しました。

サービス提供責任者（正規職員）	3名
登録ヘルパー	4名

(2) サービス提供にあたっては懇切丁寧に利用者及びそのご家族に対応しました。また、サービス提供方法等について、分りやすく説明しました。

(3) 感染症対策に努め、サービス提供を行ってまいりました。

(3) 利用状況及び過去の推移

ア 訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）

—令和6年度—

（令和6年4月～令和7年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	介護	24	24	24	24	22	22	22	21	20	20	19	17	259	21.6
	予防	21	21	21	21	23	24	24	24	26	29	30	30	294	24.5
	生活	5	5	5	6	6	7	7	6	6	6	7	7	73	6.1
利用延人数	介護	300	303	284	275	258	242	259	249	186	173	164	159	2852	237.7
	予防	129	142	115	120	110	119	115	123	138	128	135	161	1535	127.9
	生活	26	25	19	27	25	26	30	23	19	23	22	37	302	25.2
派遣時間数	介護	244.25	240	227	235.75	223.75	208	217.25	215	179.4	168	157.5	154	2469.9	205.8
	予防	126.75	140.5	112.75	117.5	108.5	117.75	112	120.75	135.15	125	128.5	152.75	1497.9	124.8
	生活	24	23	18	26	23.5	23.5	25.75	20	16.5	21.5	19	27.75	268.5	22.4

イ 訪問介護利用状況（品川区ヘルパーステーション東品川）

—令和5年度—

（令和5年4月～令和6年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数	介護	28	27	27	28	28	27	27	27	27	23	23	22	314	26.2
	予防	19	19	19	22	21	20	19	19	18	20	19	19	234	19.5
	生活	7	7	7	6	6	6	7	6	5	5	5	5	72	6.0
利用延人数	介護	332	353	343	346	361	343	348	354	330	314	314	318	4066	338.8
	予防	116	125	124	122	129	108	118	110	104	94	106	106	1362	113.5
	生活	25	31	29	27	27	24	26	27	20	18	20	19	293	24.4
派遣時間数	介護	284.3	299.5	291.45	297.25	302.25	285.2	280.5	297	275.35	253	280	242.6	3388.4	282.4
	予防	111.45	123.15	121.45	122.45	127.3	106.45	116	107.3	101.45	86.75	116.5	105.3	1345.55	112.1
	生活	21	27.45	26.15	24	25.15	22.15	24	25.45	19	17.5	22.25	19	273.1	22.8

ウ 品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）

—令和6年度—

（令和6年4月～令和7年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数		3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	28	2.3
利用延人数		7	7	6	4	4	4	4	4	5	4	3	8	60	5
派遣時間数		26	26	28.5	27	26.5	21.5	24	22	31	24.25	11.25	30.25	298	24.8

エ 品川区障害者等訪問介護事業（品川区ヘルパーステーション東品川）

—令和5年度—

（令和5年4月～令和6年3月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数		4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	40	3.3
利用延人数		12	9	10	12	7	10	8	8	7	7	8	9	107	9.1
派遣時間数		48.5	29.25	38.1	48.3	23.3	37.05	27.5	30	30.7	23.75	27.25	29	393	32.7

オ 自費訪問介護事業利用状況

—令和6年度—

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	月平均
利用実人数		1	4	2	4	6	9	10	7	9	5	10	5	72	6
利用延人数		1	7	2	5	11	13	14	10	11	6	16	14	110	9.1
派遣時間数		1	7.25	2.5	5.5	11.25	13	12.3	10	11.4	5.2	14.3	9	103	8.5

品川区立東品川わかくさ荘事業計画

1. 基本方針

居住者が安心した生活を営めるよう、安全性の高い建物設備の維持管理を区所管課とともに行いました。また、日常生活上の相談に丁寧に対応するとともに、緊急時には法人内の他施設と連携して迅速に対応するなど多面的な支援体制を構築しました。

2. 重点目標

(1) 安心・安全な生活の確保

- ①緊急通報システム（生活リズムシステム）や朝夕の巡回などにより、居住者の安全確認を行い、事故防止に努めました。また、緊急時には病院などの関係機関と迅速な情報共有を図る必要があるため、適宜、居住者情報の更新を行いました。
- ②健康状態の確認を含めた声掛けや、日常生活における様々な困りごとに対する相談を受ける事により、居住者が居室内で孤立しないように、また心身共に健康で過ごせるように支援を行いました。
- ③防犯対策を強化するため、防犯カメラを適切に運用しました。また、施設内掲示板等を活用し、居住者の防犯意識の向上に努めました。
- ④施設管理職員が建物機械設備を適切に維持管理しました。また、専門業者による定期点検を実施し、適切な建物管理を実施しました。

(2) 防災対策への取り組み

高齢者住宅での火災発生

に備え、「迅速な避難」を第一に居住者対象の防災訓練を実施しました。近隣町会との合同防災訓練も含め、年4回訓練を実施しました。また、チラシでの周知や声掛けにより、居住者の訓練への参加を促しました。

(3) 利用者の意見、要望の調整

日常会話や相談窓口で収集した居住者の意見・要望について、状況確認・調整等を速やかに行いました。また、対応困難な事例は区所管課へ報告し、対応を協議しました。居住者の理解を得られるよう努めました。

<東品川わかくさ荘管理体制概要>

職 員	配置数	担 当 業 務
常勤職	1名	防火管理、建物管理者
常勤職（支援センター）	1名	相談業務、一部ワーデン業務
準職員（支援センター）	1名	一部ワーデン業務
常勤職（総務課）	1名	経理、施設管理、一部ワーデン業務
防災宿日直（法人本部職員）	1名	夜間帯の見回り・緊急対応等

令和6年度 東品川わかくさ荘事業報告資料（指定管理含む）

令和7年3月末現在 単位：（人）

		全体	女性	男性	非該当		支援1		支援2		介護1		介護2		介護3		介護4		介護5	
					女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
年齢関係 要支援 要介護度	高齢者平均年齢	84	86	82																
	高齢者最年少年齢	73	75	73																
	高齢者最年長年齢	96	96	91																
	高齢者年齢比（65～69代）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者年齢比（70～79代）	10	4	6	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者年齢比（80～89代）	27	16	11	13	9	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者年齢比（90～）	10	8	2	2	0	1	2	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
居室関係 (合計52室)	高齢者枠当年度入居者数	3	2	1																
	高齢者枠当年度退居者数	2	1	1																
	高齢者枠当年度末入居者数（50室）	47	28	19																
	高齢者平均居住年数	7	7	6																
	障害者当年度入居者数																			
	障害者当年度退去者数																			
	障害者枠当年度末入居者数（2室）																			
緊急対応 (4月～3月)	高齢者日中緊急対応（件数）	9	6	3																
	高齢者夜間緊急対応（件数）	2	1	1																
	障害者夜間緊急対応（件数）																			
その他の対応 (4月～3月末)					備考															
	生活相談・環境整備等への個別対応（件数）			266																
	健康管理面への対応（件数）				備考															
				120																

障害者福祉部事業報告

目次

障害者福祉部事業報告	8 3
第一しいのき学園事業報告	8 5
第二しいのき学園事業報告	9 3
品川区立西大井福祉園事業報告	1 0 1
品川区立西大井つばさの家事業報告	1 1 0
グループホーム金子山事業報告	1 1 3
品川区立かがやき園事業報告	1 2 2
南品川むつみ園事業報告	1 3 3
品川区東品川障害者相談支援センター事業報告	1 4 1
品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告	1 4 6
かもめ第一・第二・第三工房事業報告	1 4 8
品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告	1 5 4

障害者福祉部事業報告

1. 基本方針

人間尊重の精神を基本とし、利用者が安心して安全な生き生きとした地域生活を送る事ができるよう、品川区及び関係機関との連携のもと障害者福祉事業所が一体となり、ライフステージに沿った切れ目のない支援を提供しました。

2. 重点目標

地域における障害児者福祉事業の環境変化に対応しつつ、地域ニーズに的確に応えるため、以下の3点について重点的に取り組みました。

(1) 障害者福祉事業の充実

品川区立障害児者総合支援施設と連携しながら、積極的な人材確保と育成活動に継続に取り組むとともに、事業所間及び関係機関との連携強化に努めました。また、地域生活支援拠点機能を高めるため、事業所間連携による研修機会等を通じ、部内全体の価値・知識・技術の向上を図りました。

(2) 業務合理化とサービス向上に向けたICT化

業務の合理化と利用者サービスの向上を目指しICTの活用に取り組みました。これまでに整備したIT機器、ネットワーク環境及びシステムを活用し、さらなる業務改善を図っていきます。

(3) 感染症対策の継続と堅実な事業所運営

全職員一丸となって感染症対策に取り組む中、地域の障害者に対し積極的に福祉サービスの利用を働きかけることで、引きこもりがちな障害者や高齢化している保護者等の介護の負担軽減に努めました。

3. サービス支援体制

(1) 相互の協力体制

総合福祉施設として、運営や支援面におけるメリットを発揮しつつ、障害者福祉部の協力体制により、相互に連携した活動を展開しました。

(2) 各施設の利用実績

事業・施設名	障害者自立支援法に基づく事業、施設	定員	利用率 ※(%)
第一しいのき学園	生活介護	40	76.9%
第二しいのき学園	就労継続支援B型	60	69.2%
区立西大井福祉園 (多機能型)	生活介護	30	91.7%
	就労継続支援B型	10	100%
区立西大井つばさの家	共同生活援助	9	81.0%
グループホーム金子山 (含む森前ユニット)	共同生活援助	16	83.0%
区立かがやき園	施設入所支援	30	93.4%
	生活介護	30	100.1%
	短期入所	3	72.3%
南品川むつみ園	生活介護	20	35.4%
かもめ第一工房	就労継続支援B型	25	57.9%
かもめ第二工房	就労継続支援B型	20	75.9%
かもめ第三工房	就労継続支援B型	20	75.1%
品川区精神障害者地域生活支援センター	相談支援事業・ 地域活動支援センター		—
品川区東品川障害者相談支援センター	相談支援事業・ 地域拠点相談支援センター		—
品川区東品川障害者計画相談支援事業所	相談支援事業		—

※利用率は、実開園日数に対する利用率です。

第一しいのき学園事業報告（生活介護）

1. 重点目標

（1）日中活動の充実と健康維持の強化

コロナ禍で中止や縮小になっていた、季節の行事や余暇活動等を順次再開し、第二しいのき学園との合同の行事も実施し、利用者の日中活動が充実出来るようにしました。また、看護師を中心に利用者の体調に留意し、家族との情報交換や必要に応じて受診をするなど、健康維持が出来るよう努めました。

（2）障害者サービスの質の向上を図る

職員会議や終礼等を通じて支援方針や支援内容を職員間で確認し、嘱託医や他専門職との相談も行い、適切に支援が出来るようにしました。また、利用者及び家族状況から利用ニーズの高い、入浴サービスと延長支援（17時以降の対応等）を継続し、安定した受入れを行いました。

（3）職場環境の改善

日々の感染症対策や清掃、環境整備等を計画的に行い、施設環境の向上と支援職員の介護負担軽減を図りました。今後も入浴サービスの提供が安定して実施出来るよう、機械浴設備（チェアインバス）の更新も行いました。

2. 家族・支援者との協力体制

学園連絡会を4月と11月の年2回の他、3月にはご家族と現場職員との懇親会、見学会を実施しました。ご家族との面談も個別支援計画の更新やモニタリングなどを中心に、年2回程度実施しています。また、利用者やご家族の健康問題など緊急性の高いケースについては、適宜面談や訪問等を実施するなど、東品川相談支援センターとも連携し対応しています。

3. 地域交流及び貢献活動

（1）体験利用等の受入れ

地域の特別支援学校や特別支援級からの見学や体験実習、PTAの見学会等の受入れを行いました。

(2) 子ども食堂運営の協力

令和6年度より毎月第四土曜日に定例で開催しました。実施方法は屋外で弁当や寄付物品を配るパントリー形式をとっています。来年度は町会等と合同で、会場にて食事の提供が出来るよう調整し、今後も地域貢献事業として継続出来るようにしていきます。

4. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は別表実績資料のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員会議や終礼等で意見交換や対応の検討、施設の環境整備等を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組む他、ケース会議の際に行動障害等への適切な対応について検討し、支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災訓練実施計画に基づき毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。また、事業継続計画（BCP計画）を作成しており、今後も職員間で内容を確認し対応の共有が出来るようにしていきます。

〔第一しいのき学園実績資料〕

(令和7年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員 (人)

定員	現員	内 訳			
		男	比率%	女	比率%
40	37	25	68	12	32

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) (人)

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	26	2	3	25
女	15	0	3	12
計	41	2	6	37

2. 年齢状況

(1) 年齢構成 (人)

施設	第一しいのき学園			
年齢(歳)	男	女	計	%
～19	0	0	0	0
20～29	7	0	7	19
30～39	8	5	13	35
40～49	3	4	7	19
50～59	6	3	9	24
60～69	1	0	1	3
70～	0	0	0	0
人数計	25	12	37	100
最年少	21	30		
最高齢	60	58		

(2) 平均年齢 (歳)

区 分	男	女	平均
平均年齢	38.8歳	42.0歳	39.8歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1度			2度			3度			4度			非該当			合 計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第一	0	1	1	21	9	30	4	1	5	0	1	1	0	0	0	25	12	37
構成比	2.7			81.0			13.6			2.7			0.0			100%		

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況 (人)

愛の手帳		1度	2度	3度	4度	非該当	合 計
所持人数		1	30	5	1	0	37
身 障 手 帳	1級	肢体1	肢体1	肢体1			肢体3
	2級		肢体1		肢体1		肢体2
	3級		肢体2 視覚1				肢体2 視覚1
	4級						
	5級						
	計	1	5	1	1	0	8

(3) 障害支援区分の状況 (人)

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0	0	2	18	7	10	0	37

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
256日	10,240	7,883人	77%

(2) 通園方法 (人)

通園方法	車両送迎	家族送迎	自力通所	その他	備考
行き	31	6	0	0	
帰り	33	4	0	0	

※主な通所方法。臨時対応は除く。

5. 支援概要

(1) グループ編成

(人)

第一しいのき学園	A			B		
	男	女	計	男	女	計
	6	7	13	19	5	24
	合計					
	男		女		計	
	25		12		37	

(2) 余暇活動の実施状況

活 動	内 容
音楽レクリエーション	火、木曜日の午後に講師のもと、楽器や歌などを通し身体を動かしたり、歌をうたったりするなどの活動を行いました。
ドライブ	マイクロバス等の車両を使用し、ドライブを行いました。
創作活動	カレンダーや季節に応じて様々な飾りや作品を作成しました。

※各活動についての参加人数については、利用者本人の希望やその日の体調等を考慮し、状況に応じ変更しています。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
4	12日(金)	新利用者を迎える会	第一・第二合同
5	12日(日)	福栄会まつり	法人全体
6	27日(木)	しいのき学園健康診断	希望者のみ
7	8日(月)	七夕	希望者のみ
	25日(木)	プール活動※～8月16日まで	
8	14日(水)	スイカ割り	第一・第二合同
	21日(水)	夏まつり	
10	30日(水)	ハロウィン茶話会	
11	20日(水)	秋まつり	第一・第二合同
12	25日(水)	クリスマス忘年会	第一・第二合同
1	9日(金)	二十歳を祝う会	第一・第二合同
2	3日(月)	節分	
3	27日(木)	慰労会	第一・第二合同

6. 家族とのかかわり

(1) 学園連絡会の開催状況

区 分	実施日	内 容
第1回学園連絡会	4月26日(金)	令和6年度事業計画・職員体制について
第2回学園連絡会	11月1日(金)	上半期事業報告・下半期事業について 延長支援の取り組み状況等
家族懇親会	3月14日(金)	令和6年度事業活動報告について 家族と職員との懇親会、事業所見学等

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4月	施設長挨拶 新年度の職員紹介
5月	新利用者を祝う会
6月	福栄会まつり報告 健康診断のおしらせ
7月	七夕由来 地域交流・荏原神社天皇祭
8月	七夕行事報告 プール活動 第一の活動風景
9月	スイカ割り 夏まつり 外出活動前半・しながわ水族館
10月	プール活動 外出活動後半・しながわ水族館
11月	創作活動 第二の作業風景
12月	しいのき秋まつり報告
1月	新年のあいさつ クリスマス忘年会
2月	二十歳を祝う会 感染症予防の注意喚起
3月	年度末を迎えて 節分行事報告

7. 実習・研修生の受け入れ状況(第一、第二年間受け入れ合計人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	134人	社会福祉援助技術、保育現場実習等

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
公益財団法人 東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	10月3日（木）	1人
公益財団法人 東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修（応用）	12月5日、17日	1人
東京都社会福祉協議会	メンタルヘルス研修	1月20日（月）	1人
臨床心理白井講師	障害利用者対応について	2月7日（金）	1人
品川介護福祉専門学校	強度行動障害対応事例	3月6日（木）	1人

(2) 法人内部研修

研 修 内 容	日 程	参加人数
権利擁護・虐待防止研修	8月2日（金）	6人
防犯研修	8月27日（火）	3人
感染症予防研修	9月19日（水）	1人
新規採用職員フォローアップ研修	10月1日（火）	1人
認知症研修	1月16日（木）	2人
交換研修（第二しいのき学園）	2月12、13日	1人
交換研修（東品川在宅サービスセンター）	2月18、20日	1人
中途採用職員新人職員研修	3月11日（火）、 25日（火）	1人

9. サービス実施状況

(1) 家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数	15	17	14	15	13	12	14	12	13	13	12	12	162
延べ人数	140	141	132	132	113	104	131	89	104	96	92	94	1368

※家族等から希望があり17時以降対応の利用者数

(2) 入浴サービスの実施状況

(人)

対象者／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
一般浴 (独歩)	22	12	11	18	16	21	20	11	13	13	21	24	202
機械浴 (車椅子)	19	15	16	8	8	8	10	8	10	9	13	11	135
合計	41	27	27	26	24	29	30	19	23	22	34	35	337

※一般浴対象利用者 5 名、機械浴対象利用者 2 名

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	11	12	9	12	7	9	10	5	4	6	3	7	95

- ・他害 (57 件) ・送迎 (5 件) ・所在不明 (14 件) ・服薬 (1 件)
- ・転倒 (8 件) ・異食 (3 件) ・食事 (1 件) ・怪我 (0 件)
- ・器物破損 (1 件) ・その他 (5 件)

(2) 事故報告状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	2	6

- ・他害 (2 件) ・発作 (1 件) ・車両 (2 件) ・その他 (1 件)

11. 感染症発生状況

(人)

インフルエンザ	感染性胃腸炎	新型コロナウイルス
2	0	5

※感染症等の予防として、検温、職員のマスクの着用、手洗いの励行のほか、必要に応じて抗原検査の実施、パーテーション及びパネルの設置、館内消毒の徹底などに取り組み、施設での集団感染はありませんでした。

第二しいのき学園事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標への対応

（1）利用者サービスの向上

事業所として利用者支援の方針を統一するため、サービス担当者会議を毎月定例で行いました。また、支援力の向上を図るため、研修会等はウェブ形式を中心に実施しています。多様化する利用者のニーズに応え、専門職としての対応力を向上させるため、来年度もサービス担当者会議の開催や法人内部や外部研修への積極的な参加をし、専門職とも連携して取り組んでまいります。

（2）日中活動の充実

令和6年度平均工賃額は25,454円となり、目標（17,400円）を達成することができました。外出行事としては、8月にしながわ水族館、3月にいちご狩りの年二回を実施しました。園内では昨年に引き続き、秋まつりやクリスマス会、慰労会など、第一しいのき学園との合同イベントを開催しています。来年度は余暇活動のさらなる充実を図ってまいります。

（3）職場環境の整備

第三次クリーニング設備修繕計画に基づき、令和6年度は業務用洗濯機を2台更新しています。また喫茶・海岸通りのコーヒーマシンも入れ替えを行い、お客様への提供メニューを増やしつつ、従事する利用者にも操作しやすい作業環境を整えています。感染症対策としては消毒や検温の徹底などに取り組み、所内での集団感染を防止しています。また、整理整頓などを行い利用者が安心・安全に休息できる環境整備を図りました。

2. 家族・支援者との協力体制

家族連絡会は4月と10月に実施し、活動報告等を行いました。3月は家族と現場職員との交流を図るため懇親会やと施設見学を実施しています。また、利用者の日々の様子等については、必要に応じて報告や相談を行うとともに面談や家庭訪問を実施しました。利用者が必要とするサービスの調整や緊急対応については、相談支援事業所や法人内外の他事業所と連携し対応しています。

3. 地域交流及び貢献活動

毎月第四土曜日開催の地域交流サロン「わかやぐ」は、(地域のバザーに出店のため9月を除き)年間11回実施しています。地域のイベントや祭礼等もコロナ前と同じ水準まで回復し、自主製品の販売にも参加しています。また令和6年度は地域の特別支援学校や特別支援級の見学会や体験実習、小学校の職場体験やPTAの見学会等の問い合わせも多く、積極的に受入れを行いました。

4. 事故防止策・虐待防止対策

(1) 事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は別表9のとおりです。事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し職員全体での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規定に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、担当者会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災訓練実施計画に基づき毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。また、事業継続計画(BCP計画)を作成しており、職員間で内容を確認し対応の共有が出来るようにしていきます。

〔第二しいのき学園実績資料〕

(令和7年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員 (人)

定員	現員	内 訳			
		男	比率%	女	比率%
60	51	33	65%	18	35%

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況 (令和6年4月1日～令和7年3月31日) (人)

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	31	4	2	33
女	17	1	0	18
計	48	5	2	51

2. 年齢状況

(1) 年齢構成 (人)

施設	第二しいのき学園			
年齢(歳)	男	女	計	%
～19	4	1	5	9.8%
20～29	6	1	7	13.7%
30～39	8	3	11	21.5%
40～49	6	7	13	25.5%
50～59	8	5	13	25.5%
60～69	1	1	2	4.0%
70～	0	0	0	0%
人数計	33	18	51	100%
最年少	19	19		
最高齢	67	62		

(2) 平均年齢 (歳)

区 分	男	女	平均
平均年齢	38.2	43.5	40.1

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1 度			2 度			3 度			4 度			非該当			合 計		
施設名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第二	0	0	0	11	3	14	16	9	25	6	6	12	0	0	0	33	18	51
構成比	0 %			27.5 %			49 %			23.5 %			0 %			100 %		

(2) 身体障害者手帳を併所持する利用者の障害状況 (人)

愛の手帳		1 度	2 度	3 度	4 度	非該当	合 計
所持人数		0	14	25	12	0	51
身障手帳	1 級						
	2 級						
	3 級			体幹 1			体幹 1
	4 級			視覚 1			視覚 1
	計	0	0	2	0	0	2

(3) 障害支援区分の状況 (人)

障害支援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0	14	9	6			22	51

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
256日	15,360	10,694	69.6 %

(2) 通園形態 (人)

通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	8	2	10
	交通機関	15	12	27
	その他	3	3	6
	小計	26	17	43
家庭介護通園等	徒歩等	2	0	2
	交通機関	5	1	6
	その他	0	0	0
	小計	7	1	8
合 計		33	18	51

5. 支援概要

(1) グループ編成

(人)

C グループ	合計		
	男	女	計
	2 3	1 1	3 4
D グループ	合計		
	男	女	計
	1 0	7	1 7

(2) 余暇活動の実施状況

感染症拡大防止の観点から講師およびボランティアの受け入れの全面中止、集団で調理を行うことおよびマイクロバス使用など3密の状態の回避するため、余暇活動は全て中止としました。

(3) 年間行事の実施状況

月	実施日	行事名	備考
4	1 2 日(金)	新利用者の迎える集い	対象者 5 名
5	1 2 日(日)	福栄会まつり	規模縮小
6	2 7 日(木)	しいのき学園健康診断	希望者のみ
8	1 4 日(水) 2 0 日(火) 2 1 日(水) 2 2 日(木) 2 9 日(木)	スイカ割り } 外出活動(品川水族館)	第一・第二合同
1 1	2 0 日(水)	秋まつり	第一・第二合同
1 2	2 5 日(水)	クリスマス忘年会	第一・第二合同
1	9 日(木)	二十歳を祝う会	対象者 1 名
2	3 日(月)	節分	事業所ごと
3	1 2 日(水) 1 3 日(木) 1 9 日(水) 2 7 日(木)	} 外出活動(いちご狩り) 慰労会	第一・第二合同

(4) 作業実施内容

作業種目	内 容
クリーニング (集荷・納品 を含む)	・ 区内保育園 1 2 ヲ所のシーツ、白衣、掛けカバー、エプロンなどの洗濯、たたみ ・ 同法人施設(高齢・障害・児童)のオムツ、タオル、リネン

	類、私物、予防衣、シーツ、エプロン、おしぼり等の洗濯およびたたみ ・同法人の制服の洗濯 ・区内高齢者施設の私物、タオル、おしぼり等の洗濯、たたみ ・図書館の風呂敷の洗濯 ・区内公共施設のリネン類の洗濯 ・他区の公共機関のリネン類の洗濯 ・区内宿泊施設のリネン類の洗濯
清掃作業	・区内公園 17ヶ所の清掃 ・同法人高齢者施設の館内清掃 ・同法人障害者施設の館内清掃 ・同法人児童施設の館内清掃 ・同法人本部建物共有部の館内清掃 ・同法人本部建物外周部の清掃
軽作業	・新聞納品（塗装資材） ・内職（封入、チラシ折り、シール張り等） ・ナッツ類のパック詰め、ネジ
お菓子 自主製品作り	・喫茶海岸通り販売用お菓子製造、販売 ・同法人高齢者施設、誕生日会用ケーキ、おやつの製造 ・贈答用お菓子の製造、販売
リサイクル	・法人内機密文書等の処理 ・古紙回収 ・小型家電の回収・解体 ・エコキャップ運動（ペットボトルキャップの回収）
喫茶実習	・喫茶「海岸通り」での喫茶作業（接客・掃除・金銭の授受等）

（５）工賃支給状況

A 年間総支給額	12,767,800円
B 開所日 1 日当たりの平均利用者数	41.8人
A/B/12 月平均工賃（1人）小数点以下四捨五入	25,454円

6. 家族とのかかわり

（１）学園連絡会の開催状況

区 分	実施日	内 容
第 1 回学園連絡会	4 月 26 日（金）	令和 6 年度事業計画・職員体制について
第 2 回学園連絡会	1 1 月 1 日（金）	上半期事業報告・下半期事業について

家族懇親会	3月14日(金)	令和6年度事業活動報告について 家族と職員との懇親会、事業所見学等
-------	----------	--------------------------------------

(2) しいのき報の編集内容

発行月	発行内容
4月	施設長挨拶 新年度の職員紹介
5月	新利用者を祝う会
6月	福栄会まつり報告 健康診断のおしらせ
7月	七夕由来 地域交流・荏原神社天皇祭
8月	七夕行事報告 プール活動 第一の活動風景
9月	スイカ割り 夏まつり 外出活動前半・しながわ水族館
10月	プール活動 外出活動後半・しながわ水族館
11月	創作活動 第二の作業風景
12月	しいのき秋まつり報告
1月	新年のあいさつ クリスマス忘年会報告
2月	二十歳を祝う会 感染症予防の注意喚起
3月	年度末を迎えて 節分行事報告

(3) 地域とのかかわり

地域交流事業・わかやぐ 土曜喫茶実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日	27	25	22	27	24	-	26	23	21	25	22	22	11

毎月第4土曜日開催、9月は地域のイベントに出店のため開催はしていません。
12月は年末のため第3週目に振替を行い、今年度は合計11回実施しました。

7. 実習・研修生の受け入れ状況(第一、第二しいのき年間受け入れ合計人数)

区分	人数	備考
専門学校・大学・企業等	134人	社会福祉援助技術、保育現場実習等

8. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日程	参加人数
全国社会福祉協議会	社会福祉施設長 資格認定講習	12月6日 他4日間	1人
東京都福祉局	工賃アップセミナー	1月17日	1人
神奈川労務安全衛生協会	テールゲートリフター特別教育	1月24日	1人

東社協知的発達障害部会	虐待防止・権利擁護	2月27日	1人
東京都福祉局	業務効率化 事業報告会	3月11日	1人
厚生労働省	就労選択支援モデル事業報告会	3月13日	1人

(2) 法人内部研修

研修名・内容	日 程	参加人数
権利擁護・虐待防止研修	8月2日(金)	7人
防犯研修	8月27日(火)	1人
感染症予防研修	9月19日(水)	2人
新規採用職員フォローアップ 研修	10月1日(火)	1人
認知症研修	1月16日(木)	7人

9. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	2	0	1	3	0	1	0	3	1	2	13

- ・他傷/他害行為(8件) ・器物破損(3件) ・所在不明(1件)
- ・その他(1件)

(2) 事故報告状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

- ・他傷/他害行為(1件) ・所在不明(1件)

10. 感染症発生状況

新型コロナウイルス感染予防として、検温、マスクの着用、手洗いの励行のほか、職員の出勤時抗原検査の実施、館内消毒の徹底など取り組みました。

インフルエンザ	感染性胃腸炎	コロナウイルス
0	0	3

(人)

品川区立西大井福祉園事業報告 (生活介護・就労継続支援B型)

1. 基本方針

利用者が地域社会で日常生活を営むため、西大井福祉園における日中活動の内容を充実させ、生活介護と創作及び生産活動、社会参加の機会を提供しました。

2. 重点目標

(1) 生活介護サービス・就労継続B型サービスの提供

生活介護事業では個別支援計画に基づき、一人ひとりにあった介護や訓練、社会参加を提供しました。令和2年度より休止していた日帰り旅行の再開や園外での活動も含めた季節行事等、余暇活動の充実に取り組みました。就労継続B型事業では生産活動を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。ECサイトでの販売等を行う作業（シール貼り・梱包・配送など）を受託するなど、作業の安定化を図り、作業工賃向上に努めました。

令和6年度 目標工賃 15,800円

令和6年度 実績工賃 18,802円

(2) 西大井つばさの家への協力

定員増の影響からの安定化を図るため、グループホーム金子山・森前ユニットと世話人の調整を行うとともに、西大井福祉園職員からも宿直業務への協力等を行いました。また、近隣3町会合同防災訓練を実施し、災害発生時等の緊急事態に備えて地域との協力体制を改めて確認しました。

(3) 地域事業への参画

新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら地域行事等に参加し、地域の方々との交流を深めました。具体的には、オータムフェスティバルの開催や鹿嶋神社例大祭（富士見ヶ丘児童遊園）への出店、ウェルカムセンター原での原まつりや品川区商店街連合会の主催する大商業まつりに出展し、地域参画を進めました。

3. 家族・支援者との協力体制

園での様子、家庭での様子など情報交換を常に行い、必要に応じて面談、家庭訪問を実施しました。また、利用者家族とのコミュニケーションチャネルとして、LINE WORKS を効果的に活用し円滑な運営に努めました。

新型コロナウイルス感染症などに留意しながら、家族懇談会を年3回開催し、支援方針に対する理解を得て、施設との協力体制を作り相互理解に基づく施設運営に努めました。

4. 地域交流及び貢献活動

新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら令和7年3月に富士見ヶ丘児童遊園で西大井四丁目町会・西大井五丁目伊藤町会・西大井六丁目町会との近隣3町会合同総合防災訓練を実施しました。

また、西大井地区の法人施設及び家族会と協力し、オータムフェスティバルを開催するなど、地域住民との交流を図りました。

5. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

転倒、誤嚥等の事故防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。また、ヒヤリハット報告及び事故報告への対応については職員会議で1ヶ月後の振り返りを実施することで、再発防止に努めました。

3階公園側の外階段踊り場に設置してある手すり下部の壁面が経年劣化のため剥離していたため、品川区と協力して早急に修繕を実施し、利用者や歩行者への安全確保を図りました。

(2) 虐待防止

法人全体で取り組んでいる虐待防止チェックリストを活用し、自己点検など業務の振り返りを行いました。

法人開催の虐待防止研修への参加や事業所内で開催する虐待防止検討委員会で指針の見直し等を行うなど、権利擁護に対する意識を施設全体で高めるよう努めました。

6. 防災対策

(1) 防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき、毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施しました。

(2) BCP計画に基づき、参集訓練や炊き出し訓練等を実施し、防災に対する意識向上に努めました。

(3) 大井消防署協力のもと、近隣3町会合同防災訓練を実施し、災害発生時等の緊急事態に備えて地域との協力体制の確認を行いました。

〔 西大井福祉園 実績資料 〕

1. 利用者人員と入退所状況（令和7年3月31日現在）（人）

事業名	定員	性別	年度 当初	増	減	年度末 現員	比率
生活介護	30名	男	20	1	0	21	70.0%
		女	9	0	0	9	30.0%
		計	29	1	0	30	100%
就労継続 支援B型	10名	男	8	0	0	8	80.0%
		女	4	0	0	4	20.0%
		計	12	0	0	12	120%
合 計	40名	男	28	1	0	29	72.5%
		女	13	0	0	13	32.5%
		計	41	1	0	42	105%
人員増減理由		新規通所による増					

2. 年齢状況（令和7年3月31日現在）（人）

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	1名	0名	1名	2.3%
20～24	0名	0名	0名	0.0%
25～29	1名	1名	2名	4.8%
30～34	2名	4名	6名	14.2%
35～39	5名	5名	10名	24.0%
40～44	9名	0名	9名	21.4%
45～49	7名	2名	9名	21.4%
50～54	3名	0名	3名	7.1%
55～59	1名	1名	2名	4.8%
60～	0名	0名	0名	0.0%
人数計	29名	13名	42名	100%
最年少	19歳	29歳	24歳	—
最高齢	57歳	55歳	56歳	—
平均年齢	42歳	37歳	39歳	—

3. 障害状況（令和7年3月31日現在）

（1）愛の手帳による利用者の障害状況および身体障害者手帳の併所持状況

愛の手帳		1度	2度	3度	4度	合計（人）
	男	0	19	9	1	29
	女	0	9	2	2	13
	計	0	28	11	3	42
身体 障害者 手帳	1級		視覚1			
	2級		肢体1			
	5級			肢体1		
	計	0	2	1	0	3

（2）障害支援区分の状況（令和7年3月31日現在）（人）

区分	なし	1	2	3	4	5	6	合計	平均
生活介護	0	0	1	1	18	10	0	30	4.2
就労支援	1	0	1	8	2	0	0	12	3.1
合計	1	0	1	9	20	11	0	42	3.9

4. 通園状況（令和7年3月31日現在）

（1）利用者の出席状況（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

年間開所日数 256日	要出席者延べ人数	出席者延べ人数	出席率
生活介護	7,554人	7,040人	93.2%
就労支援	3,072人	2,560人	83.3%
合計	10,626人	9,600人	90.3%

（2）通園形態、送迎車両運行及び利用者状況

通園形態		男	女	計	所要時間	対応車種
送迎 車両	リフト・コース	8	2	10	90分	リフト付マイクロバス
	キャラバン・コース（2便運行）	4	2	6	70分	キャラバンチェアキャブ NV350
	西大井チェア・コース（2便運行）	5	3	8	90分	キャラバンチェアキャブ
	小計	17	7	24		
家庭介護通園（徒歩等）		10	3	13		
自力 通園	徒歩	2	3	5		
	交通機関	0	0	0		
	小計	12	6	18		
合計		29	13	42		

5. 支援概要

(1) グループ編成

(人)

	生活介護				就労継続 B	合計
	1 班	2 班	3 班	計	4 班	
男	5	8	8	21	8	29
女	4	3	2	9	4	13
計	9	11	10	30	12	42

(2) クラブ活動の実施状況（生活介護事業）

活動名	内 容
ドライブ	新型コロナウイルス感染予防対策のため班ごとに分かれて、年間を通じて東京タワー周辺・羽田空港・お台場・平和島・等々力溪谷・城南島・池上梅園方面へ出かけました。
カラオケ	新型コロナウイルス感染予防対策のため班ごとに分かれて、参加利用者に偏りが生じないように順番に活動しました。
室内運動	新型コロナウイルス感染予防対策のため班ごとに分かれて、音楽に合わせた体操やストレッチ、バランスボールを使って体を動かす室内運動を実施しました。
芸術	墨と筆を使って字や絵を書く、色鉛筆を使った絵画を実施しました。仕上がった作品は館内に展示しました。
体育館運動	新型コロナウイルス感染予防対策のため班ごとに分かれて、毎週火曜日の午前にウエルカムセンター原にて、講師の指導の下に体を動かしました。

(3) 生産活動支援状況

清掃作業・軽作業は作業の拡充を図り、工賃向上に努めました。

①生産活動の内容

作業種目	内 容
クラフト作業 (自主製作品)	・ビーズ製品…携帯ストラップ、メガネチェーン・髪ゴム ・牛乳パックリサイクル製品…押し花はがき、しおり
軽作業	・宅配寿司等の箸セット、割箸袋入れ、チラシ折、袋詰め ・通販（EC サイト）商品のシール貼り・梱包・配送等
清掃作業	・近隣区立公園 5 ヶ所の清掃 ・森前障害者施設清掃

②自主製作品の販売状況

シンフォニーとして地域の各種イベント、近隣企業等の社会貢献活動の協力による自主製作品の社内販売等へ出店しました。その他、テ

ルベ・区内の図書館での販売、西大井福祉園内での保護者への販売も随時実施しました。

(4) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	25	新年度を迎える集い	11	7	就労班日帰り旅行（横浜観光）
7	-	プール（18回）	11	28	3班日帰り旅行（市川動植物園）
8	-		12	3	1班日帰り旅行（八景島シーパラダイ）
8	14	かき氷大会	12	24	クリスマス会
8	27	スイカ割り大会	1	-	初詣
10	20	オータムフェスティバル	1	-	プラネタリウム鑑賞会（4回）
10	-	炭火焼大会（2回）	2	2	節分豆まき
10	31	ハロウィンイベント	3	19	2班日帰り旅行（水の科学館）

※毎週火曜日（午前）：体育館での講師による運動

※その他 年間を通して余暇活動を実施

6. 家族とのかかわり

(1) 家族参加行事等の開催状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

(2) 園連絡会等の開催状況

○令和6年度第1回園連絡会

令和6年4月26日（金）13時30分～14時30分 17名参加

○令和6年度第2回園連絡会

令和6年10月29日（火）13時30分～14時30分 14名参加

○令和6年度第3回園連絡会

令和7年3月27日（木）13時30分～14時30分 19名参加

(3) 西大井福祉園だよりの編集内容

発行月	主な内容	発行月	主な内容
4月	1年の振り返り	10月	創作活動（お月見）・外出行事
5月	新年度を迎えるつどい	11月	炭火焼き大会・オータムフェスティバル
6月	創作活動（カーネーション作り等）	12月	日帰り旅行（市川動植物園・八景島シーパラダイス）
7月	外出活動・ナスの収穫	1月	クリスマス会
8月	プール活動	2月	お正月（初詣等）・プラネタリウム鑑賞

9月	夏の思い出（プール活動・かき氷大会・スイカ割大会）	3月	節分
----	---------------------------	----	----

7. 地域とのかかわり

（1）ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
生活介護 就労継続支援	4	4月～	生活介護の活動手伝い 就労作業の手伝い

（2）利用者実習生の受け入れ状況（年間延べ人数）（人）

区 分	人 数
港特別支援学校実習生	2

（3）職員実習生受け入れ状況（人）

区 分	人 数
社会福祉士実習	11
保育士実習	18
介護等体験	36
介護福祉士実習	5

8. 職員研修・訓練参加状況

実施団体	研修名	実施時期	人数
（福栄会法人内部）	O J T 研修	4月～6月	2
（福栄会法人内部）	てんかん基礎講座	5月31日 6月4日	2
公共社団法人 東京社会福祉士会	社会福祉士実習指導者講習会	6月1・2日	1
社会福祉法人品川区 社会福祉協議会	公園清掃事業者研修会	6月26日	2
公益財団法人 東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修 （基礎研修）	7月～9月	3
公益財団法人 東京都福祉保健財団	虐待防止・権利擁護研修	7月～8月	1
（福栄会法人内部）	B C P（自然災害・感染症）研修	5月9日	21
（福栄会法人内部）	身体拘束等適正化研修	7月11日	21

(福栄会法人内部)	防犯研修	7月26日 8月27日	6
(福栄会法人内部)	虐待防止防止研修	8月～9月	21
(福栄会法人内部)	感染症予防研修	9月～11月	21
(福栄会法人内部)	A B A (応用行動分析) 基礎講座	9月20日	2
(福栄会法人内部)	情報セキュリティー研修	9月12日	12
(福栄会法人内部)	新規採用職員フォローアップ研修	10月1日	2
(福栄会法人内部)	業績評価 評価者研修	12月4日	2
(福栄会法人内部)	認知症研修	1月16日	2
公益財団法人 総合健康推進財団	サービス管理責任者基礎研修	2月	2
品川区	強度行動障害の理解と対応について「事例報告会」	3月6日	1
(福栄会法人内部)	次年度決算に向けた決算分析	3月25日	1
(福栄会法人内部)	S S T 研修	3月26日	1
東北福祉カレッジ	サービス管理責任者研修 (実践研修)	2月～3月	2

実施団体	訓練名	実施時期	人数
(福栄会法人内部)	B C P 訓練	11月3日	9
	総合防災・参集・備蓄品確認	3月1日	10
(福栄会法人内部)	感染症対応訓練 (ガウンテクニク・手洗いチェッカー)	1月9日	21
		2月13日	21

9. 防災訓練の実施状況

回	実 施 日	内 容
1	4 月 25 日	火災想定による避難訓練
2	5 月 23 日	火災想定による避難訓練
3	6 月 27 日	地震・火災想定による避難訓練
4	7 月 31 日	火災想定による避難訓練
5	8 月 27 日	火災想定による避難訓練
6	9 月 26 日	地震・火災想定による避難訓練
7	10 月 30 日	火災想定による避難訓練
8	11 月 27 日	火災想定による避難訓練
9	12 月 25 日	地震・火災想定による避難訓練
10	1 月 29 日	火災想定による避難訓練
11	2 月 25 日	火災想定による避難訓練
12	3 月 26 日	地震・火災想定による避難訓練

10. 家族支援事業「トワイライトステイ」実施状況 (件)

内 訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:00
利用件数合計	31	31	0

11. ヒヤリハット・事故件数

(1) ヒヤリハット報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(件)
件数	2	2	2	1	1	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	1	0	0	0	2	13

※ヒヤリハット：他害行為、職員への暴力、所在不明等（多い順）

(2) 事故報告状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(件)
件数	0	0	0	0	0	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	1	0	0	2

※事故：職員への暴力、転倒による救急対応

品川区立西大井つばさの家事業報告 (外部サービス利用型共同生活援助)

1. 基本方針

入居者が住み慣れた地域で生活する主体者として、家庭的な雰囲気の中で共同し自立した日常生活を営むため、一人ひとりの状況に応じた最適なサービスを提供しました。

2. 重点目標

(1) 関係機関との連携

ホーム内で新型コロナウイルス感染症が発生した際は、日中活動施設への登園（通園制限）調整を行うなど、感染拡大防止対策を実施しました。

(2) グループホームのバックアップ体制について

西大井福祉園及びかがやき園の職員による夜間宿直の応援体制を構築し、円滑に施設運営を行いました。また、体調不良等で日中施設を休まれた利用者に対して、西大井福祉園の職員が体調確認などを行い、安心して過ごせるよう利用者支援を行いました。感染予防対策を徹底し、地域の祭礼や法人主催の行事など積極的に参加しました。

(3) 定員増となったグループホーム運営に向けた関係各所との連携

毎月利用者ミーティングを実施し、ホームでの予定や地域行事の他、地域の社会資源に関する情報などを提供した後、個別面談を実施し生活面でのサポートを実施しました。また、日中施設や相談支援センターなど関係機関と連携を取り、利用者のニーズを共有することで、利用者が安心して過ごせるよう支援しました。

3. 家族・支援者との協力体制

新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、年2回の家族連絡会を開催し、家族の協力と理解を得て利用者の生活支援に取り組みました。また、随時家族と連絡を図り、相互協力による支援を行いました。

誕生日月を基準とした6か月ごとの個別支援計画のモニタリング及び面談を実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行時には事前に必要書類を送付し電話連絡にて行う等出来る限りの連携に努めました。

4. 地域交流及び貢献活動

新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら令和7年3月に富士

見ヶ丘児童遊園で西大井四丁目町会・西大井五丁目伊藤町会・西大井六丁目町会との近隣3町会合同総合防災訓練を実施しました。また、オータムフェスティバルの開催や鹿嶋神社例大祭（富士見ヶ丘児童遊園）、ウェルカムセンター原での原まつりなど地域行事にも積極的に参加し、地域の方々との交流を行いました。

地域の方々に施設や障害者に対する理解を深めること、利用者の権利擁護、施設の透明性の確保及びサービス提供の質の確保を目的に、利用者や家族、地域の関係者等が参加して、地域連携推進会議を実施しました。

5. 事故防止・虐待防止

(1) 事故防止

転倒、誤嚥等の事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。また、3階公園側の外階段踊り場に設置してある手すり下部の壁面が経年劣化のため剥離していたため、品川区と協力して早急に修繕を実施し、利用者や歩行者への安全確保を図りました。

(2) 虐待防止

法人の全職員を対象とした虐待防止チェックリストを年2回実施しました。法人開催の虐待防止研修への参加や事業所内で開催する虐待防止検討委員会で指針の見直し等を行うなど、権利擁護に対する意識を施設全体で高めるよう努めました。

6. 防災対策

- (1) 防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき、火災想定及び地震想定
の防災訓練を実施しました。
- (2) BCP 計画に基づき、参集訓練や炊き出し訓練等を実施し、防災に対する
意識向上に努めました。
- (3) 大井消防署協力のもと、近隣3町会合同防災訓練を実施し、災害発生
時等の緊急事態に備えて地域との協力体制の確認を行いました。

7. 支援内容

(1) 食事提供

食事の提供については、食材配達業者を利用継続しながら、法人施設で調理したパンやオードブルなどを活用し献立のバリエーションを豊かにするなど工夫しながら、朝夕の2食を原則として提供しました。

(2) 健康管理

一日二回、バイタルチェックを行い健康に留意しました。また、通院の同行や予防接種等必要に応じ対応しました。

(3) 金銭管理

利用者の金銭（貯金・給与等）は自主管理を原則としますが、金銭の浪費や紛失防止等のために適宜点検、相談等必要な支援をします。

(4) 日常生活

利用者相互の自主性を基本としつつ、掃除・洗濯等の日常生活に必要なことについては助言・支援を行いました。また、利用者の申し出や必要に応じて社会生活上必要な知識、技術の習得について学習を行いました。

グループホーム金子山事業報告 (介護サービス包括型共同生活援助)

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症に留意しながら入居者が住み慣れた地域で生活する主体者として、家庭的な雰囲気の中で共同し、自立した日常生活を営むため、一人ひとりの状況に応じた最適なサービスを提供しました。

2. 重点目標

(1) 関係機関との連携

ホーム内で新型コロナウイルス感染症が発生した際は、日中活動施設への登園（通園制限）調整を行うなど、感染拡大防止対策を実施しました。

(2) 適切な支援及びサービスの提供

利用者にとって豊かなライフステージが送れるように適切な支援を行いました。また、日帰り旅行などの行事や外出活動でグループホーム合同での活動を再開し、利用者同士や世話人等と交流しあえる機会を通じ、共同生活者として相互理解を深めました。

(3) 法人内西大井地区の連携

西大井地区で運営する西大井つばさの家、森前ユニットと一体的な運営を実施するとともに、グループホーム管理施設である西大井福祉園、バックアップ施設であるかがやき園との連携を密に図りました。また、西大井福祉園及びかがやき園等の職員による夜間宿直の応援体制を構築し、円滑に施設運営を行いました。

3. 家族・支援者との協力体制

新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、年2回の家族連絡会を開催し、家族の協力と理解を得て利用者の生活支援に取り組みました。また、随時家族と連絡を図り、相互協力による支援を行いました。

誕生日月を基準とした6か月ごとの個別支援計画のモニタリング及び面談を実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行時には事前に必要書類を送付し電話連絡にて行う等出来る限りの連携に努めました。

4. 地域交流及び貢献活動

新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら令和7年3月に富士見ヶ丘児童遊園で西大井四丁目町会・西大井五丁目伊藤町会・西大井六丁目

町会との近隣3町会合同総合防災訓練を実施しました。また、オータムフェスティバルの開催や鹿嶋神社例大祭（富士見ヶ丘児童遊園）、ウェルカムセンター原での原まつりなど地域行事にも積極的に参加し、地域の方々との交流を行いました。

5. 事故防止・虐待防止

（1）事故防止

転倒、誤嚥等の事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。

（2）虐待防止

法人の全職員を対象とした虐待防止チェックリストを年2回実施しました。法人開催の虐待防止研修への参加や事業所内で開催する虐待防止検討委員会で指針の見直し等を行うなど、権利擁護に対する意識を施設全体で高めるよう努めました。

6. 防災対策

- （1）防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき、火災想定及び地震想定
の防災訓練を実施しました。
- （2）BCP計画に基づき、参集訓練や炊き出し訓練等を実施し、防災に対する
意識向上に努めました。
- （3）大井消防署協力のもと、近隣3町会合同防災訓練を実施し、災害発生
時等の緊急事態に備えて地域との協力体制の確認を行いました。

7. 支援内容

（1）食事提供

食事の提供については、法人施設で調理したパンやオードブルなどを活用し献立のバリエーションを豊かにするなど工夫しながら、朝夕の2食を原則として提供しました。

（2）健康管理

一日二回、バイタルチェックを行い健康に留意しました。また、通院の同行や予防接種等必要に応じ対応しました。

（3）金銭管理

利用者の金銭（貯金・給与等）は自主管理を原則としますが、金銭の浪費や紛失防止等のために適宜点検、相談等必要な支援をします。利用者の希望等により、預金通帳、印鑑を法人規定「利用者預かり金

等取扱規定」に基づき管理しました。

(4) 日常生活

利用者相互の自主性を基本としつつ、掃除・洗濯等の日常生活に必要なことについては助言・支援を行いました。また、利用者の申し出や必要に応じて社会生活上必要な知識、技術の習得について学習を行いました。

〔 西大井つばさの家 実績資料 〕

1. 利用者人員と入退所状況（令和7年3月31日現在）

（1）利用者人員（人）

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	9名	9名	9名	100%	0名	0%

注）内訳の構成率は、原因に対する比率を示します。

（2）入退園状況（令和6年4月1日より令和7年3月31日）（人）

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	9名	0名	0名	9名	
女	0名	0名	0名	0名	
計	9名	0名	0名	9名	

2. 年齢状況

（1）年齢構成（人）

年齢	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～24	0	0	0	0
25～29	1	0	1	11.1%
30～34	0	0	0	
35～39	1	0	1	11.1%
40～44	2	0	2	22.2%
45～49	1	0	1	11.1%
50～54	1	0	1	11.1%
55～59	2	0	2	22.2%
60～	1	0	1	11.1%
人数計	9	0	9	
最年少	25	-	—	—
最高齢	60	-	—	—

（2）平均年齢（歳）

区 分	男	女	平均
平均年齢	47.0	-	47.0

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

1 度			2 度			3 度			4 度			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	1	0	1	5	0	5	3	0	3	9	0	9

(2) 障害支援区分の状況

障害支 援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0 名	3 名	2 名	2 名	0 名	0 名	2 名	9 名

4. 日課表

日 課	時間	備 考
起床	6 : 0 0 ~ 7 : 0 0	朝食 6 : 3 0 頃から随時
就寝	2 1 : 0 0 ~	夕食 1 8 : 0 0 頃から随時
門限	1 9 : 0 0	施錠 2 1 : 0 0 開錠 6 : 0 0
入浴	順次	毎日

5. 日中活動事業所

(人)

通園施設	男	女	計
しいのき学園	1	0	1
ふれあい作業所	7	0	7
福祉工場	1	0	1
合 計	9	0	9

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
7 月	食事会	各グループホーム実施
1 0 月	日帰り旅行	合同にて実施
1 2 月	クリスマス会	各グループホーム実施
1 月	新年会	各グループホーム実施
2 月	合同防災訓練	合同にて実施

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1、2回 家族懇談会	令和6年4月20日（土）	令和6年度事業計画 令和5年度会計報告
	令和6年6月29日（土）	実費精算

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	参加人数
株式会社アイディ 東京都委託	障害者グループホーム従事者基礎研修	1

（2）法人内部研修

研 修 内 容	参加人数
虐待防止・権利擁護研修	2（世話人含む）

9. ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況

（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	1	0	0	0	1	2	2

（2）事故発生状況

（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

[グループホーム金子山 実績資料]

1. 利用者人員と入退所状況（令和7年3月31日現在）

（1）利用者人員（人）

事業名	定員	現員	内 訳			
			男	比率%	女	比率%
共同生活援助	16名	16名	10名	62.5%	6名	37.5%

（2）入退園状況（令和6年4月1日より令和7年3月31日）（人）

区分	年度当初人員	増	減	年度末人員	増減理由
男	10名	0名	0名	10名	
女	6名	1名	1名	6名	他グループホーム
計	16名	1名	1名	16名	

2. 年齢状況

（1）年齢構成（人）

年齢	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～24	0	1	1	6.25
25～29	0	1	1	6.25
30～34	0	0	0	0
35～39	1	2	3	18.7
40～44	2	0	2	12.5
45～49	4	0	4	25.0
50～54	3	2	5	37.5
55～59	0	0	0	0
60～	0	0	0	0
人数計	10	6	16	—
最年少	38	22	—	—
最高齢	53	55	—	—

（2）平均年齢（歳）

区 分	男	女	平均
平均年齢	45.9	38.6	43.1

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況 (人)

1 度			2 度			3 度			4 度			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	3	1	4	6	2	8	1	3	4	10	6	16

(2) 障害支援区分の状況 (人)

障害支 援区分	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
	人数	0	3	5	3	0	0	5	16

4. 日課表

日 課	時間	備 考
起床	6 : 0 0 ~ 7 : 0 0	朝食 6 : 3 0 頃から随時
就寝	21 : 0 0 ~	夕食 18 : 0 0 頃から随時
門限	19 : 0 0	施錠 21 : 0 0 開錠 6 : 0 0
入浴	順次	毎日

5. 日中活動事業所 (人)

通園施設	男	女	計
第二しいのき学園	2	0	2
西大井福祉園	5	2	7
ふれあい作業所	3	0	3
福祉工場しながわ	0	1	1
アリストランプ	0	1	1
一般就労	0	2	2
合 計	10	6	16

6. 年間行事等の実施状況

月	行事内容	備 考
7 月	食事会	各グループホーム実施
10 月	日帰り旅行	合同にて実施
12 月	クリスマス会	各グループホーム実施
1 月	新年会	各グループホーム実施
2 月	合同防災訓練	合同にて実施

7. 家族とのかかわり

家族連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1、2回 家族懇談会	令和6年4月20日（土）	令和6年度事業計画
	令和6年6月29日（土）	令和5年度会計報告 実費精算

8. 職員研修参加状況

（1）外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	参加人数
株式会社アイディ 東京都委託	障害者グループホーム従事者基礎研修	2

（2）法人内部研修

研 修 内 容	参加人数
虐待防止研修	7（世話人込む）

9. ヒヤリハット・事故発生状況

（1）ヒヤリハット報告状況

（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

（2）事故発生状況

（件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
件数	0	0	0	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0

品川区立かがやき園事業報告
(施設入所支援・生活介護・短期入所)

1. 基本方針

利用者が地域社会で日常生活を営むため、かがやき園における日中活動の内容を充実させ、生活介護と創作及び生産活動、社会参加の機会を提供しました。

2. 重点目標

(1) 重度化・老年期の利用者への適切な支援

これから老年期を迎える壮年期の利用者の介護予防に取り組むと共に、利用者のライフステージ・健康状態に見合った活動を組み立て、老化防止にむけた活動の充実を品川区と協議しながら進めました。

① 地域移行

月	年齢	性別	移行先
9月	60代	女性	八王子市のGHへ移行
12月	50代	男性	木更津市のGHへ移行

② 住環境の変更

場所	内容
男性棟	居室の変更

(2) 応用行動分析(ABA)研修の継続的实施

毎月1回継続する当該研修について、利用者の行動課題について、研修講師を中心に各職員がスーパーバイズを受けながら、継続・統一的支援につなげました。また、これまでに実施してきたその分析内容をまとめ報告書を作成しました。

(3) ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)の講師をかがやき園に招き、SSTを理解するためのステップとして、職場における人間関係やコミュニケーションに関わるトレーニング方法について学習しました。

(4) 質の高い人材確保と育成

福栄会キャリアパスをもとに、職歴等に見合った研修や資格の取得に努めました。また、実習の受け入れに際しては、実習生と職員との相互理解を深めることで将来の福祉人材としてつなげられるよう努めました。

資格試験 介護福祉士 3名合格

(5) 感染症への迅速な対応

新型コロナウイルス感染症をはじめ、時期ごとに流行する感染症への初期対応を的確に行い、日常活動への影響が最小限になるよう努めました。

期間	内容
12月12日(木)～12月18日(水)	風邪症状による感染症対応を実施
1月1日(水)～1月14日(火)	新型コロナウイルス、インフルエンザA型風邪による感染症対応を実施

3. 事故・虐待防止策

(1) 事故防止について

①施設内委員会を設置し、サービスの質の向上・事故防止（リスクマネジメント）への取り組みを行い、事故予防のリスクマネジメントを推進し、事故予防に努めました。

② 使用する機器類を定期点検等に取り組みました。

空調設備交換工事、エントランス庇交換工事、厨房流し台水漏れ修理、厨房防火ダンパー修理、厨房排気ファンVベルト交換修理、階段手摺増築工事、浴室等電気錠補修工事、館内居室等コンセント及びテレビ端子の修繕、消火器の交換、火災報知装置用電話器の増設を行いました。

③ 適宜マニュアルの点検と更新を行いました。

(2) 虐待防止について

①研修・チェックリストを活用した人権意識の向上を図りました。

②施設内委員会を設置し、虐待防止・サービス向上に向けた委員会を定期的に開催しました。

③準職員との意見交換、家族会の開催等を実施し、風通しのよい施設運営を心がけました。

④法人が行うストレスチェックの受検、労働環境の点検や安全衛生委員会を中心とした職場環境の健全化推進により職員のストレス軽減に努めました。

4. 家族・支援者との協力体制

充実した地域生活を実現していくために、園での生活の情報提供や家族との外出時の様子などの情報交換や面談を行い、家族と園との協力体制を構築し相互理解に基づく施設運営を行いました。

また、家族との連絡会や懇談会を年3回開催し、支援方針に対する理解

を得ながらサービス提供を行いました。

5. 地域交流及び貢献活動

- (1) 地域行事に積極的に参加し地元との地域交流を図りました。
- (2) 地域住民が気軽に参加できるよう行事やイベントを開催しました。
- (3) 地域住民、実習受け入れ校等とボランティア活動を通じて交流を図りました。

6. 防災対策

- (1) 消防計画及び震災対応事業継続計画に基づいて、通報訓練、避難訓練、夜間想定訓練及び消火訓練を定期的を実施しました。
- (2) 3月1日、品川区立西大井福祉園主催、消防署・消防団・近隣町会等参加の合同防災訓練に、区営住宅入居の参加者と共に参加しました。
- (3) 近隣町会との相互応援協定の実現を所轄消防署の指導のもとに取り組み、地域と一体的な防災対策を進めました。

品川区立かがやき園実績資料

(1) 利用者の入退所状況

<施設入所支援>

令和7年3月31日現在 単位：人

		入所者数			退所者数			月末在籍数
		病院 その他から	グループホーム 他施設から	区内通所 施設から	地域移行	他施設入所	入院・死亡	
4月	男	18	0	0	0	0	0	18
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	30	0	0	0	0	0	30
5月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
6月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
7月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
8月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
9月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	1	0	0	11
	計	0	0	0	1	0	0	29
10月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
11月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
12月	男	0	0	0	1	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	1	0	0	28
1月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	1	0	0	0	0	0	12
	計	1	0	0	0	0	0	29
2月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	29
3月	男	1	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	1	0	0	0	0	0	30
総 計		32	0	0	2	0	0	30

※入所「区内通所施設から」は、在宅利用者を示す。

「病院 その他から」には年度当初に契約したかがやき利用者数を含む。

※退所「地域移行」は、グループホーム・自宅を示す。

「他施設入所」には他の障害者支援施設・高齢者施設を示す。

品川区立かがやき園実績資料

(1) 利用者の入退所状況

<施設入所支援>

令和7年3月31日現在 単位：人

		入所者数			退所者数			月末在籍数
		病院 その他から	グループホーム 他施設から	区内通所 施設から	地域移行	他施設入所	入院・死亡	
4月	男	18	0	0	0	0	0	18
	女	12	0	0	0	0	0	12
	計	30	0	0	0	0	0	30
5月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
6月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
7月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
8月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	30
9月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	1	0	0	11
	計	0	0	0	1	0	0	29
10月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
11月	男	0	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	0	0	0	29
12月	男	0	0	0	1	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	11
	計	0	0	0	1	0	0	28
1月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	1	0	0	0	0	0	12
	計	1	0	0	0	0	0	29
2月	男	0	0	0	0	0	0	17
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	0	0	0	0	0	0	29
3月	男	1	0	0	0	0	0	18
	女	0	0	0	0	0	0	12
	計	1	0	0	0	0	0	30
総計		32	0	0	2	0	0	30

※入所「区内通所施設から」は、在宅利用者を示す。

「病院 その他から」には年度当初に契約したかがやき利用者数を含む。

※退所「地域移行」は、グループホーム・自宅を示す。

「他施設入所」には他の障害者支援施設・高齢者施設を示す。

(2) 利用者状況

(施設入所支援・生活介護)

令和7年3月31日現在

①障害状況

(人)

愛の手帳	男性	女性	計	%
1度	1	1	2	6.1
2度	13	7	20	60.6
3度	6	4	10	30.3
4度	0	1	1	3.0
合計	20	13	33	100.0

(人)

障害支援区分	男性	女性	計	%
区分1	0	0	0	0.0
区分2	0	0	0	0.0
区分3	1	0	1	2.9
区分4	8	3	11	32.4
区分5	5	5	10	29.4
区分6	7	5	12	35.3
計	21	13	34	100.0

平均障害支援区分	区分	備考
生活介護	4.7	
施設入所支援	4.8	

②年齢構成

(人)

年齢(歳)	男性	女性	計	%
15～19	0	0	0	0.0
20～24	0	0	0	0.0
25～29	0	0	0	0.0
30～34	1	0	1	3.0
35～39	2	1	3	9.1
40～44	3	1	4	12.1
45～49	2	2	4	12.1
50～54	6	4	10	30.3
55～59	3	3	6	18.2
60～64	3	2	5	15.2
65～70	0	0	0	0.0
70以上	0	0	0	0.0
合計	20	13	33	100.0

(才)

平均年齢	男性	女性	平均
	52.0	51.3	51.6

(3) 地域生活移行の状況

令和7年3月31日現在

単位：(人)

年 度	地域生活移行者	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	合計
		人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数	人 数
グループホームへの転居	人 数	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	12
	か所数	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	2	11
アパートへの転居		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自宅への帰宅		1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	8
小 計		1	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	2	20
他 施 設		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	2	1	2	0	0	10
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
計		1	4	4	3	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	2	3	2	33
利用者現員	男性	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	
	女性	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	12	
合 計		30	30	30	30	30	29	29	30	30	30	30	30	30	28	29	30	30	30	30	29	30	

(4) 在園者の健康相談・通院状況 (延べ人数) 令和7年3月31日現在 単位：人

	内科	外科	整形外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	泌尿・婦人	精神科	神経内科	脳外科	歯科	合計
4月	17										12	29
	13	7	4			2	1	1				28
5月	13										14	27
	5	1	1									7
6月	11										28	39
		1	4					1				6
7月	12										27	39
	4	3	4			1	1			1		14
8月	8										12	20
	3		3			3		1				10
9月	9										29	38
	5		7			1						13、
10月	16										22	38
	3		4			3	1	1				12
11月	8										28	36
	1		2		1	2				2		8
12月	19										26	45
	2		4			1		1		3		11
1月	39										27	66
	12		3			1	1			2		19
2月	13										13	26
	1		4					1		1		11
3月	5										28	33
			2							2		4
合計	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	436
	49	16	42	0	1	14	4	6	0	11	0	143

※上段：施設内相談数 436 名 下段：施設外診療数 143 名

※季節性インフルエンザ予防接種状況：11/13・27 計65名接種

※新型コロナウイルス予防接種状況：なし

入院者状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	1			1				1	1		1	7

原因 ○誤嚥性肺炎

○てんかん発作

○乳癌（乳房摘出手術）

○頭部外傷（急性硬膜下血腫・脳挫傷）

(5) 行事等実施状況

月 日	行事名等	内 容	月 日	行事名等	内 容
4 3	豪華おやつ	桜餅	10 11	日帰り旅行①	昭和記念公園BBQ
21	おやつ作り	焼きうどん	12	くつろぎ祭り	(福)品川総合福祉センターにて
24	防災訓練・利用者集会		16	日帰り旅行②	サンリオピューロランド
			18	日帰り旅行③	箱根
				豪華おやつ	カステラ
			20	おやつ作り	ホットドッグ
				ぐるっぽまつり	ぐるっぽにて
			23	防災訓練	
			26	オータムフェスティバル	
			27	ハロウィン	
			28	誕生日外食	9月・10月誕生日利用者
5 8	誕生日外食①	4月誕生日利用者	11 3	防災参集訓練	
12	福栄会まつり	福栄会本部にて	6	お楽しみランチ①	マクドナルド
24	東京都障害者総合芸術展作品作り		9	お楽しみランチ②	松屋 (カレー)
	おやつ作り	フレンチトースト	10	原まつり	ウェルカムセンター原にて
29	豪華おやつ	マクドナルド	12	誕生日外食	10月・11月誕生日利用者
	防災訓練・利用者集会		13	インフルエンザ予防接種①	
				日帰り旅行①	横浜中華街・ラーメン博物館
			22	日帰り旅行②	オギノパン工場見学
				豪華おやつ	プリン
			23	第2回園連絡会	
				冬物衣類販売	
			24	おやつ作り	和風パスタ
			27	日帰り旅行③	ムーミンパーク
				インフルエンザ予防接種②	
			28	お楽しみランチ③	松屋 (ハンバーグ)
			29	防災訓練・利用者集会	
6 5	誕生日外食①	6月・7月誕生日利用者	12 6	誕生日外食	12月誕生日利用者
8	第1回園連絡会		11	豪華おやつ	ケンタッキーフライドチキン
	夏物衣類販売		20	かがやきクリスマス会	
	三陸会神輿		25	防災訓練・利用者集会	
	冬物クリーニング				
21	豪華おやつ	ミスタードーナツ			
	利用者集会				
23	おやつ作り	フルーツゼリー			
	防災訓練				
24	誕生日会	4月・6月誕生日利用者			
7 3	都知事選	7/3～7/4 期日前投票	1 19	おやつ作り	フルーツホットケーキ
6	会館まつり	心身障害者福祉会館にて	22	誕生日外食①	1月誕生日利用者
7	わんこ流し素麺大会		24	豪華おやつ	ミスタードーナツ
10	日帰り旅行①	海ほたる	27	誕生日外食②	1月誕生日利用者
12	誕生日外食	7月誕生日利用者	29	誕生日会	10月・11月・12月誕生日利用者
17	日帰り旅行②	海ほたる		防災訓練・利用者集会	
19	豪華おやつ	フランクフルト			
20	品川区民まつり				
21	おやつ作り	ガーリックライス			
23	プール開き				
30	誕生日会	7月誕生日利用者			
31	防災訓練・利用者集会				
8 3	ジャズコンサート	ぐるっぽにて	2 5	節分	
9	弦楽器コンサート	ぐるっぽにて	12	誕生日外食①	1月誕生日利用者
14	誕生日外食	8月誕生日利用者	16	おやつ作り	焼きそば
20	すいか割り		21	防災訓練・利用者集会	
22	かがやき大運動会			豪華おやつ	肉まん・あんまん等
23	豪華おやつ	アイス・ジュース	27	誕生日外食②	2月誕生日利用者
25	おやつ作り	パフェ			
27	誕生日会	8月誕生日利用者			
30	防災訓練・利用者集会				
9 11	誕生日外食①	9月誕生日利用者	3 3	ひな祭り	
13	日帰り旅行①	東京ドイツ村	7	ボッチャ品川カップ	戸越体育館にて
14	蛇窪祭	蛇窪神社にて	8	防災訓練・利用者集会	
19	誕生日会	9月誕生日利用者	19	豪華おやつ	カップ麺・ジュース
20	日帰り旅行②	八景島シーパラダイス	21	ミニピザ	1月・3月誕生日利用者
20	豪華おやつ	ピザ	23	おやつ作り	
	利用者集会		24	誕生日外食	
22	おやつ作り	クリームソーダ			
23	避難訓練				
24	誕生日外食②	9月誕生日利用者			
25	日帰り旅行③	BBQ&カップヌードルミュージアム			
28	ふくしまつり	品川区立中小企業センターにて			

(6) 施設入所支援、生活介護 ヒヤリハット・事故状況

ヒヤリハット報告状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	12	15	22	20	13	10	20	13	8	8	5	5	151
施設入所	16	6	3	20	25	3	11	9	6	3	14	7	123
短期入所	1	0	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	6

興奮、自傷、暴力、転倒、誤薬等（多い順）

事故報告状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	4
施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	5
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

器物破損件、怪我・傷件、転倒件、その他件

(7) 研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
公益財団法人東京都福祉保健財団	令和6年7月19日～11月27日	東京都強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	4名
かがやき園/かもめ園	令和6年7月9日～7月11日	職員現場研修	1名
公益財団法人東京都福祉保健財団	令和6年7月16日～8月21日	東京都障害者虐待防止・権利擁護研修(障害者福祉施設等職員研修)	1名
東京都社会福祉協議会	令和6年8月～10月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修初任者研修	5名
東京都福祉局	令和6年9月・10月・11月・1月	相談支援初任者研修	1名
東京都心身障害者福祉センター	令和6年9月～令和7年1月	東京都相談支援従事者初任者研修	1名
一般財団法人保健福祉広報協会	令和6年10月2日～4日	国際福祉機器展	4名
公益財団法人総合健康推進財団	令和6年10月31日～12月18日	東京都サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者基礎研修	3名
(学) 藤田総合専門学校高崎福祉医療カレッジ	令和6年11月20日～29日	介護福祉士実習指導者講習会	1名

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
かがやき園	令和6年4月～6月	OJT研修	5名
法人	令和6年5月31, 6月5日	職員キャリアパス研修（てんかん基礎講座）	20名
法人	令和6年6月27日	職員キャリアパス研修（食物アレルギー基礎講座）	5名
法人	令和6年7月26日, 8月27日	防犯研修	7名
法人	令和6年8月2日, 5日, 7	虐待防止研修	23名
法人	令和6年9月19日26日・10月8日30日	感染症研修	10名
法人	令和6年9月18・19・20日	情報セキュリティ研修	18名
かがやき園	1回/月	ABA（応用行動分析）研修	48名
法人	令和6年10月1日, 21日	新規採用職員フォローアップ研修	5名
かがやき園	令和6年10月31日	身体拘束適正化研修	全職員
法人	令和6年12月4日	業績評価研修	1名
法人	令和7年1月16日	認知症研修	3名
法人	令和7年3月25日	会計研修	2名
法人	令和7年3月26日	SST研修	6名

8) 防災訓練実施状況

年	月	日	曜日	訓練内容	
6	4	28	金	日中想定	[火点：1階調理室]
	5	29	水	日中想定	[火点：1階食堂]
	6	28	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	7	31	水	日中想定	[火点：2階大浴場]
	8	30	金	日中想定	[火点：1階食堂]
	9	25	水	夜間想定	[火点：1階機械室]
	10	23	水	日中想定	[火点：1階作業室]
	11	3	日	参集訓練	
	11	29	金	日中想定	[火点：2階大浴場]
	12	25	水	悪天候により机上訓練	
7	1	29	水	コロナの影響により机上訓練	
	2	21	金	コロナの影響により机上訓練	
	3	1	土	合同防災訓練（西大井地区）	
	3	19	水	コロナの影響により机上訓練	

西大井六丁目複合施設防火管理関係構成員

事業所名	管理権原者	防火管理者	使用階等
西大井六丁目 第三区営住宅	品川宅建センター 取締役	宅建センター防火管理者	3階～6階
品川区立 かがやき園	福栄会理事長	施設長	1階～2階
統括防火管理者		施設長	

(9) 実習・研修生受入状況（年間受け入れ人数）

	受入学校数	人数	備考
保育実習	11	31	保育士
福祉実習	3	8	介護福祉士・社会福祉士
計	14	39	

南品川むつみ園事業報告（生活介護）

1. 重点目標

（１）利用者サービスの向上

利用者の高齢化、重度化及び多様化する利用者ニーズに合わせた対応を図るため内部研修などに参加したり、専門職・関係機関との都度連携を図って参りました。今後も専門性・介護力・支援力の向上に引き続き取り組んでいきます。

（２）日中活動の充実

状況に併せて個別に対応できるような小グループ化を図り活動を行なってまいりました。活動は運動及び外出、余暇的活動などを中心に利用者のニーズや状況に添った活動を提供できるよう、プログラムなどの構築を行いました。

（３）生活の場の整備

利用者が安心、かつ快適に利用できる空間づくり及び職場の環境整備を計画的に実施し、必要に応じて適宜環境整備を行い、施設環境の向上に努めました。

2. 家族・支援者との協力体制

利用者の日々の状況や様子などについては随時家庭へ連絡や報告を行いました。家族連絡会については7月・3月の2回開催し、活動状況の報告や事業報告などを行いました。

また、利用者や家族が必要としているサービスや相談などがあつた際には、各相談支援センターやその他関係機関と連携を取りながら対応しました。

3. 地域交流及び貢献活動

運動時や外出活動時に地域や公共の施設利用を行い、その際に地域の方や施設の方との交流を図りました。また、長距離運動の際にも地域住民の方や、保育園の方などとの交流も行いました。

4. 事故防止・虐待防止

（１）事故防止

ヒヤリハット・事故発生状況は実績資料（別表10）のとおりです。

事故再発防止のために、職員の共通認識となるよう朝礼等を利用し職員全体

での事例の報告や意見交換、事例の分析、日々の自己点検の他、施設・設備等の点検を行いました。

(2) 虐待防止

虐待防止規程に基づいた、研修への参加、チェックリストを活用した自己点検に取り組んだ他、ケース会議において支援方針の統一を図り支援の質の向上に取り組みました。

5. 防災対策

防災計画及び震災対応事業継続計画に基づき毎月1回火災想定及び地震想定 of 防災訓練を実施し、通報訓練・消火訓練・避難訓練を全支援員が習熟するよう努めました。

〔南品川むつみ園実績資料〕

(令和7年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 利用者人員 (人)

定員	現員	内 訳			
		男	比率%	女	比率%
20	8	7	90	1	10

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(2) 入退園状況 (人)

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	7	0	0	7
女	1	0	0	1
計	9	0	0	8

2. 年齢状況

(1) 年齢構成 (人)

年齢(歳)	男	女	計	%
18～19	0	0	0	0
20～29	5	1	6	76
30～39	1	0	1	12
40～49	0	0	0	0
50～59	1	0	1	12
60～	0	0	0	0
人数計	7	1	8	100
最年少	24	28		
最高齢	54	28		

(2) 平均年齢 (歳)

区 分	男	女	平均
平均年齢	32.4 歳	29 歳	32 歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況 (人)

1 度			2 度			3 度			4 度			合 計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	0	0	6	0	6	1	1	2	0	0	0	7	1	8

(2) 身体障害者手帳の併所持・主な合併症状をもつ利用者の状況 (人)

愛の手帳		1 度	2 度	3 度	4 度	非該当	合 計
所持人数		0	6	2	0	0	8
身 障 手 帳	1 級						
	2 級						
	3 級						
	4 級						
	計	0	6	2	0	0	8

(3) 障害支援区分の状況 (人)

障害支援	区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
区分	人数	0	0	1	6	1	0	0	8

4. 通園状況

(1) 利用者の出席状況 (人)

開所日数	要出席者延べ人数 (定員×開所日数)	出席者延べ人数	利用率
256 日	5,120	1,807	35.2%

(2) 通園形態 (人)

通園形態		男	女	計
自力通園	徒歩	0	0	0
	交通機関	0	0	0
家庭介護通園	徒歩等	0	0	0
送迎車両利用		7	1	8
合 計		7	1	8

(3) 送迎車両運行及び利用者状況 (人)

送迎車両	利用人数	主なコース	所要時間	対応車種
コンピューター	8	品川区内	90 分	ハイエース
合 計	8			

5. 支援概要

(1) 活動の実施状況

活動名	内 容
散歩 ウォーキング 外出活動	散歩では30分～45分程度近隣の公園や運河などまでウォーキング活動を実施しました。外出活動では車で行ける距離の大きい公園や公共施設、寺社仏閣などに行き園内の散策や施設見学を実施しました。
カラオケ	午前、午後のどちらかの活動時に1時間～1時間半程度の時間で実施しました。
ドライブ	活動時間（午後）にお台場や横浜、東京スカイツリーなど都内を2時間弱程度で行ける距離へドライブを実施しました。
創作	月曜日の午後にはちぎり絵の作品でカレンダー作りを実施しました。また、塗り絵や季節の飾り作成なども実施し室内に掲示しました。 また、毛筆やペン習字なども季節に合わせて実施しています。
喫茶利用	福栄会の『喫茶海岸通り』やぐるっぼの『みんなのテーブル』などに行き、地域交流や社会体験の場としました
音楽レクリエーション	講師による音楽レクリエーションを実施しました。講師の伴奏に合わせて楽器演奏や歌を歌ったりと利用者の方は楽しまれています。
室内運動	南品川むつみ園にてストレッチやカラオケ機器で音楽をかけながら体操等を中心に室内運動を実施しました。

(2) 地域交流活動状況

活動名	内 容
地域交流	公共施設利用時に館内の職員等との関り 近隣散歩時に近隣住民との関り

(3) 年間行事等の実施状況

月	日	行事内容	備 考
4	30	誕生日会	
5	12 24	福栄会まつり 誕生日会	
6	27 28	利用者健康診断 誕生会	希望者のみ
7	6 26	第1回家族連絡会 誕生日会	
8	14	スイカ割大会	第一・第二いのき学園と合同

9	5 2 7	誕生日会 誕生日会	
1 0	2 9	誕生日会	
1 1	2 2	日帰り旅行(市川市動植物園)	
	2 9	誕生日会	
1 2	2 5 2 7	クリスマス会 喫茶利用	
1	1 5 3 1	東海道七福神巡り 喫茶利用	
3	3 5 2 8	ひな祭り茶話会 誕生日会 喫茶利用	

6. 家族とのかかわり

(1) 園連絡会の開催状況

区分	実施日	内 容
第1回	令和6年7月6日	令和6年度職員体制・事業計画・提出書類について
第2回	令和7年3月23日	令和6年度活動報告・職員配置・給食費について

(2) 園報の発行内容

発行月	発行内容
4月	外出活動報告 新年度挨拶 職員挨拶
5月	外出活動報告
6月	外出活動報告
7月	外出活動報告
8月	外出活動報告
9月	外出活動報告
10月	外出活動報告
11月	外出活動報告
12月	外出活動報告
1月	外出活動報告
2月	外出活動報告
3月	外出活動報告

(3) 地域とのかかわり

ボランティアの受け入れ状況

活動名	人数	期間等	内 容
音楽活動講師	1	通年 (月 1 回)	音楽レクリエーション

7. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学・企業等	0 名	

8. 職員研修参加状況

(1) 法人内部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
福栄会本部	権利擁護・虐待防止研修	令和6年8月 2 日	3 名
福栄会本部	防犯研修	令和6年8月27日	1 名
福栄会本部	認知症研修	令和7年1月16日	1 名

(2) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
公益財団法人総合健康推進財団	サービス管理責任者更新研修	令和6年10月4日	1 名
公益財団法人東京防災救急協会	防災防火管理者責任者新規講習	令和6年11月5日 ～ 6 日	1 名
公益財団法人総合健康推進財団	サービス管理責任者実践研修	令和7年2月12日 ～ 13 日	1 名

9. トワイライト実施状況

家族支援事業「トワイライトステイ」利用状況

内 訳	件数	17:15～18:15	17:15～19:15
利用件数合計	15	2	13

10. ヒヤリハット・事故発生状況

(1) ヒヤリハット報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4	1	2	0	1	0	2	1	0	0	1	2	14

・他傷/他害行為（11件）・転倒（2件）・その他（1件）

(2) 事故報告状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11. 防災訓練の実施状況

回	実施日	内 容
1	令和6年 4月 3日	日中想定による避難訓練 火災
2	令和6年 5月 2日	日中想定による避難訓練 火災
3	令和6年 6月 28日	日中想定による避難訓練 地震・火災
4	令和6年 7月 26日	日中想定による避難訓練 火災
5	令和6年 8月 30日	日中想定による避難訓練 地震・火災
6	令和6年 9月 27日	日中想定による避難訓練 火災
7	令和6年 10月 29日	日中想定による避難訓練 火災
8	令和6年 11月 29日	日中想定による避難訓練 火災
9	令和6年 12月 27日	日中想定による避難訓練 地震・火災
10	令和7年 1月 31日	日中想定による避難訓練 火災
11	令和7年 2月 28日	日中想定による避難訓練 火災
12	令和7年 3月 28日	日中想定による避難訓練 地震・火災

12. 感染症発生状況

新型コロナウイルス	インフルエンザ・感染性胃腸炎
0名	0名

品川区東品川障害者相談支援センター事業報告

1. 重点目標への対応

(1) 地域生活支援拠点事業についての対応

基幹相談支援センター・サービス提供事業所との連携。自立支援協議会を中心に地域課題の整理・取り組み方法の検討を行い、相談、緊急時の対応、体験の機会の調整・地域の体制づくり等に努めました。

(2) 障害者相談支援センターとしての体制・力量の整備

在支併設型事業所や区内相談支援事業所と連携をとり、相談件数を適切に調整し、地域生活拠点事業の体制を整えました。

また、品川区主催のスキルアッププロジェクトや福祉カレッジをはじめ、障害・高齢・医療・権利擁護などの各種研修への参加。東京都相談支援従事者旬研修や相談支援従事者専門コース別研修への参加も行い、相談支援専門員としての専門性や質の向上を目指しました。

(3) 高齢障害者や家族の高齢化等への対応

基幹相談支援センター、品川区東品川障害者計画相談支援事業所やその他の在支併設型事業所との連携を取りながら、利用者の相談にあたりました。

研修や各種資格取得を通して、介護保険制度や医療保険制度の知識の習得を行い、利用者の生活の質の向上に繋げました。

(4) 令和3年より努力義務となった市町村主体で進めている避難行動要支援者の個別避難計画作成を行いました。

品川区主催の「防災学校」等の受講を通して防災に関する知識や技術の習得に努めるとともに、防災区民組織・福栄会本部との連携を図りながら災害時の避難支援等の準備を進めています。

2. 相談支援実績

(1) 地域生活移行に関する取り組みについて

品川区自立支援協議会の重点項目であった入所施設利用障害者の地域生活移行については、品川区所管課と区内の相談支援事業所及び入所施設、通所事業所と協力し、7名の方の地域生活移行に取り組み、3名の方がグループホームへ移行となりました。

移行に向けては、品川区が設置する「品川区障害児者総合支援施設」と連携を取り、自立生活体験室の活用を行い、共同生活援助や一人暮らしの体験の機会・場の提供を行いました。

(2) 緊急時の受け入れ・対応への取り組みについて

介護者の入院等、主介護者の対応困難時には通所事業所と情報共有を図り、21名、延べ1285日間の区内短期入所事業所への受け入れ調整等を行いました。

(3) 実績統計

別紙参照

令和6年度 地域生活支援事業実績報告 相談支援統計

【コーディネート活動内容】＜日中8：00～18：00＞

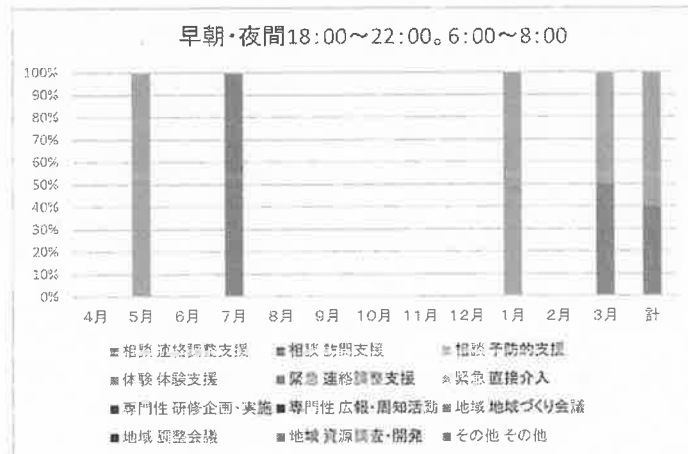
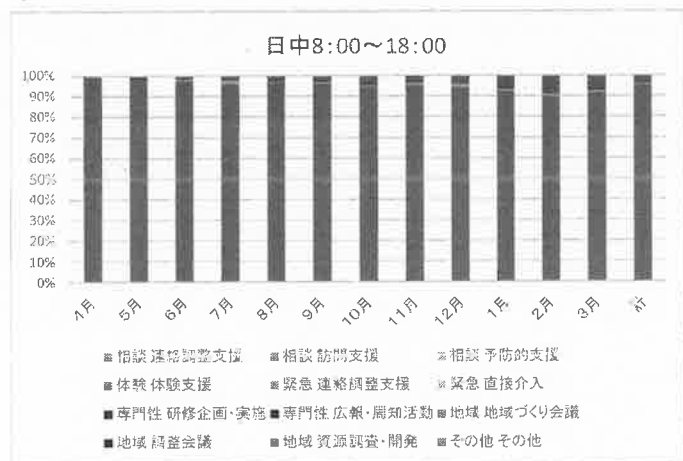
【拠点名】東品川障害者相談支援センター

機能	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	連絡調整支援	667	735	266	337	256	254	271	265	324	299	296	331	4301
	訪問支援	204	204	71	80	48	54	90	86	86	119	105	81	1228
	予防的支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体験	体験支援	5	4	0	4	2	2	2	1	0	0	0	5	25
緊急	連絡調整支援	2	1	0	4	2	0	2	3	3	0	3	2	22
	直接介入	2	1	2	5	1	1	2	2	5	3	4	2	30
専門性	研修企画・実施	0	2	0	1	1	3	2	2	0	3	0	3	17
	広報・周知活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域	地域づくり会議	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
	調整会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資源調査・開発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	その他	20	12	6	10	6	7	14	12	19	28	39	31	204

【コーディネート活動内容】＜早朝・夜間18：00～22：00。6：00～8：00＞

機能	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	連絡調整支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防的支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
体験	体験支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急	連絡調整支援	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	直接介入	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
専門性	研修企画・実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報・周知活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域	地域づくり会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	調整会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資源調査・開発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※深夜22：00～6：00は該当なし



令和6年度 品川区東品川障害者相談支援センター 相談支援統計

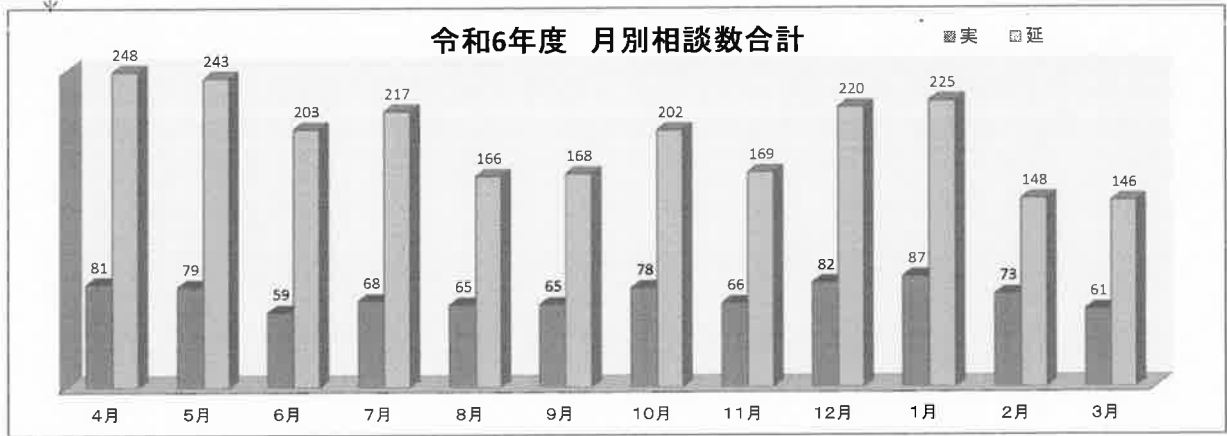
相談支援を利用している障害者等の人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数	81	79	59	68	65	65	78	66	82	87	73	61	864
	身体障害	42	50	39	35	29	24	29	29	37	45	22	22	403
	重症心身障害	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2	5
	知的障害	191	185	141	169	125	128	153	132	167	174	122	116	1803
	精神障害	14	8	19	10	11	12	19	8	12	6	4	4	127
	発達障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高次脳機能障害	1	0	3	1	1	1	1	0	2	0	0	0	10
	その他	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	6

支援方法		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	訪問	56	62	40	47	28	30	52	56	58	83	85	60	657
	来所相談	20	17	12	15	13	18	11	16	15	18	7	5	167
	同行	28	23	19	18	8	6	27	14	13	18	13	19	206
	電話相談	117	129	92	120	98	99	116	106	136	109	95	114	1331
	電子メール・文書	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
	個別支援会議	3	3	0	2	3	2	2	0	0	1	3	2	21
	関係機関	218	229	175	228	159	155	159	165	197	194	205	222	2306
	その他	0	6	6	10	6	7	14	12	19	28	39	31	179

支援内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	福祉サービスの利用等	173	172	136	155	125	126	149	124	133	162	138	134	1727
	障害や病状の理解	55	27	39	44	38	52	48	49	42	82	72	70	618
	健康・医療	52	60	38	59	40	28	26	36	49	56	43	53	540
	不安の解消・情緒安定	60	47	56	68	48	36	67	54	67	66	55	69	693
	保育・教育	10	9	9	7	1	1	1	0	0	0	0	0	38
	家族関係・人間関係	67	52	53	68	67	51	76	66	81	98	74	85	838
	家計・経済	11	2	1	8	5	3	0	5	2	3	4	4	48
	生活技術	5	1	4	9	1	3	5	2	6	9	3	1	49
	就労	3	1	4	2	1	0	5	2	1	5	11	5	40
	社会参加・余暇活動	7	6	5	3	7	7	8	17	11	11	6	5	93
	権利擁護	15	12	9	4	5	4	8	5	1	4	1	9	77
	その他	22	23	20	20	9	6	24	32	49	37	47	41	330

相談合計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実	81	79	59	68	65	65	78	66	82	87	73	61	864
	延	248	243	203	217	166	168	202	169	220	225	148	146	2355

計画相談件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	計画作成	13	10	7	10	11	19	9	17	10	9	8	8	131
	モニタリング	34	20	25	29	27	33	30	16	21	29	34	29	327



令和6年度相談支援課研修報告（令和6年4月～令和7年3月）

①外部研修

[illegible]

②法人研修

[illegible]

品川区東品川障害者計画相談支援事業所事業報告

1. 重点目標への対応

- (1) 基本圏域の在宅介護支援センター、並びに品川区地域生活支援拠点事業の役割を持つ東品川障害者相談支援センターと一体となり、地域における高齢障害者への対応を行いました。
- (2) 品川区のモデル事業として、高齢障害者及び高齢のご家族などの豊かな生活に向けた、障害者福祉施策と高齢者福祉施策の適切な活用を念頭に置き、実績のフィードバックを行い事業としての向上を目指しています。

2. 相談支援体制

職種	職務	人員
管理者（兼務）	事業所全体の管理	1名
相談支援専門員（専従）	アセスメント、サービス等利用計画の作成、モニタリング、サービス調整等	1名

3. 実績

- (1) 介護保険制度適用となる65歳到達前より関わりを持ち、障害福祉サービスから介護保険制度への移行に向けた事前の準備（制度の説明、介護保険との連携等）を行い、切れ目のない支援の調整を行っています。
- (2) 老障介護世帯（介護者が65歳以上で子が障害者等の世帯）については、介護支援専門員や拠点相談支援センターとの連携を行い、障害特性や家庭環境に応じて適切でスピーディーな対応を行い、包括的な家族問題の解決を図っています。

令和6年度 品川区東品川障害者計画相談支援事業所 相談支援統計

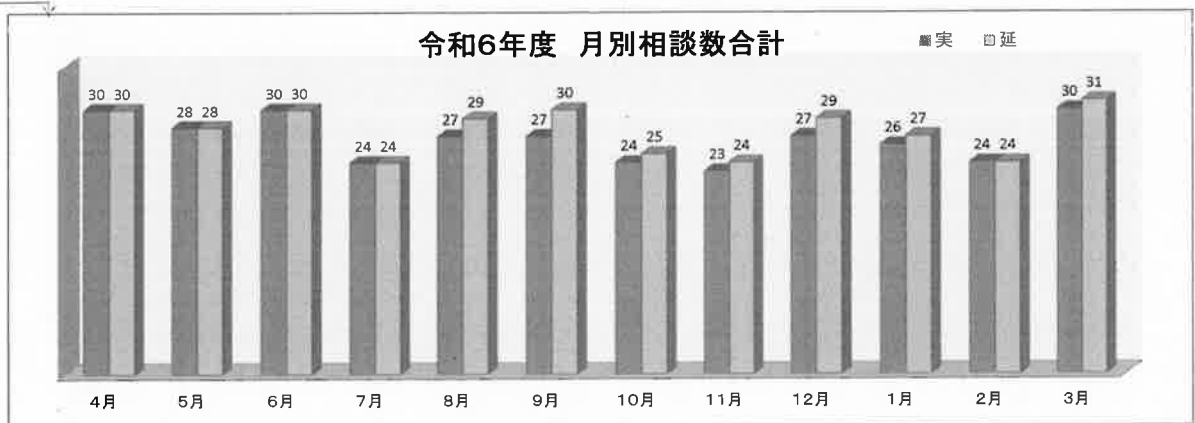
相談支援を利用している障害者等の人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	30	28	30	24	27	27	24	23	27	26	24	30	320
身体障害	21	18	21	16	15	19	15	14	17	15	14	19	204
重症心身障害	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	13
知的障害	5	5	6	5	7	4	6	4	6	6	4	7	65
精神障害	0	1	0	0	3	3	0	2	2	1	1	2	15
発達障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高次脳機能障害	3	1	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	27
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	7

支援方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	60	41	30	27	44	32	20	46	38	36	40	46	460
来所相談	5	11	12	4	4	4	3	0	0	0	1	0	44
同行	18	15	4	11	10	1	3	13	13	7	7	9	111
電話相談	44	44	45	27	50	33	28	25	20	32	34	46	428
電子メール・文書	13	7	3	10	4	2	2	2	5	6	5	1	60
オンライン相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	0	4	1	0	8	0	7	3	2	0	9	7	41
関係機関	134	95	102	71	95	64	79	95	81	92	76	124	1108
その他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	6

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉サービスの利用等	108	83	80	70	90	51	59	76	86	92	74	128	997
障害や病状の理解	0	1	0	0	4	0	0	1	0	1	0	3	10
健康・医療	54	46	38	31	33	27	16	29	19	19	26	28	366
不安の解消・情緒安定	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
保育・教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家族関係・人間関係	15	3	13	10	11	9	9	15	13	9	7	9	123
家計・経済	14	20	9	11	23	9	20	17	2	10	17	21	173
生活技術	21	20	10	6	15	13	18	14	8	14	16	17	172
就労	8	2	3	7	3	4	3	7	0	0	0	0	37
社会参加・余暇活動	1	4	2	3	0	0	0	0	3	0	4	0	17
権利擁護	8	10	8	3	13	2	3	5	3	1	4	8	68
その他	43	30	32	9	23	21	14	19	25	27	28	19	290

相談合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実	30	28	30	24	27	27	24	23	27	26	24	30	320
延	30	28	30	24	29	30	25	24	29	27	24	31	331

計画相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	3	1	1	2	6	1	4	5	6	4	4	3	40
モニタリング	11	9	7	9	6	6	7	8	7	9	7	6	92



かもめ工房事業報告（就労継続支援B型）

1. 重点目標

（1）利用者支援の向上（安定した利用者支援）

障害の多様化等に伴い、職員の利用者支援に必要な知識や技術の習得を行うため、研修等に参加しました。今後も他職員等へフィードバックを行い、利用者支援に活かしていきます。新規利用者等については、安定した利用に繋がるよう受け入れを行いました。

また、事業所間で利用者支援に関わることについて検討を行い、安定した利用に繋がるよう努めました。

（2）作業体制の見直し

作業等の生産活動が安定して提供出来るように、利用者に合った種目の確保や工程を見直し、職員が適切に支援出来るよう対応しました。製菓作業については原材料の高騰に伴い、販売単価の見直しを行いました。また、新たな受注作業の開拓などを行い、工賃増額に向けて取り組みました。

<工賃実績>

施設名	令和6年度目標額	令和6年度実績額
かもめ第一工房	26,786円	26,764円
かもめ第二工房	30,000円	31,687円
かもめ第三工房	25,521円	30,138円

（3）かもめ工房3所の今後の展望についての検討

コロナ禍による影響等で一時的に利用者の減少がみられましたが、回復傾向となっています。利用者の個別支援について充実を図り、通所意欲が高まるような取り組みや工賃向上等について引き続き検討していきます。

2. 家族・支援者との協力体制

利用者や家族の高齢化に伴い、親子双方の自立支援が課題となっており、介護申請や在宅介護支援センターなどの関係機関と連携をとり対応しました。一人暮らしの利用者については体調不良時の対応を含め、自立生活が維持、継続できるように関係機関等との連携を図りました。

3. 地域交流及び貢献活動

地域活動への参加、実習生の受け入れ継続、ボランティアの受け入れ再開しています。地域団体や企業等との連携については来年度以降検討して

いきます。地域の方々に喜んでいただけるよう、お祭りなどの地域行事への参加など行い交流を図りました。

4. 事故防止・虐待防止・身体拘束

精神症状によるところで、思わぬ事故に繋がる場合があります。障害特性を理解することが事故防止に繋がることを認識し、職員間で情報共有をしており、大きな事故の発生はありませんでした。

虐待防止・身体拘束については利用者の人権擁護の観点から、職員間で意識し研修等に参加しました。

5. サービス支援体制と支援の方向性

(1) 支援体制

事業所名称	第一工房	第二工房	第三工房
管理者	1名	1名	1名
サービス管理責任者	1名	1名	1名
支援員	利用者状況に応じて配置		
定員	25名	20名	20名
活動内容	・生産活動を中心とした活動の提供 ・就労支援や自立を目指した支援 ・行事や余暇活動等の提供		

※管理者、サービス管理責任者は兼務あり

(2) 支援の方向性

① かもめ第一工房

ア 自主製品の販売価格等の見直し

物価の高騰に伴い、販売価格を見直しました。継続的な受注と、地域のイベントにも参加し、安定した収益の確保と作業の提供を行いました。

イ 関係機関との連携

新規利用者の受入れや現通所利用者の状況を定期的に関係機関と共有し、利用者が安心して通所できるよう連携を図りました。

② かもめ第二工房

ア 作業体制の見直し

今まで軽作業等の所内作業を中心に行っていた利用者にも声掛け等の支援をし、公園清掃・区営住宅清掃等の清掃作業への参加を促し作業の幅を広げてきました。また畑作業も開始し、清掃作業に

加えて身体を動かす機会を増やしてきました。

イ 高齢化への備えやステップアップに対応する体制の強化

介護保険の対象になる利用者に対してはケアマネと連携を取り、本人に負担がないよう配慮しながら介護保険のサービスを取り入れてきました。また高齢化が進むご家族とは必要に応じて連絡を取り、要請がある場面で支援してきました。

就労等のステップアップに関しては、事業所内で生活講座を行い、SSTのコミュニケーションスキル向上に努めました。

③ かもめ第三工房

ア 作業体制の見直し

作業内容・種目については、既存の取引業者と連絡を密に取り作業が途切れないよう努めました。また、東京都の「事業所マネジメント事業」に参加し、取引先新規開拓等に取り組み、結果として、売り上げ収入の向上や利用者工賃の増額に結び付けることが出来ました。

イ 関係機関との連携

医療・保健機関等との連携として、必要に応じて通院同行を行ったり、各機関の担当者間で情報の共有を進めました。また、計画相談事業者や、訪問看護サービス事業者との連携も深めました。

6. 防災対策

震災や火災等の災害に備えマニュアルを見直しました。施設内の点検を定期的に行い、消防署等の指導を受けて避難訓練を実施したり、BCP計画に基づいた対策や備品などの確認等についても実施していきます。

7. 支援内容

(1) 生産活動内容

作業名	作業内容	事業所
公園清掃	区内公園の清掃	全事業所
館内清掃	法人内・法人外施設の清掃	全事業所
製菓作業	クッキー、マドレーヌ等の焼き菓子	第一・第二工房
手工芸品製作	雑巾・たわし・クラフト製品等製作	全事業所
軽作業	折込発送、パッケージ、組み立て等	全事業所
クリーニング	区内保育園、その他リネン洗濯等	第三工房
イベント販売	シンフォニー製品の接客販売	全事業所
ラウンジ販売	シンフォニー製品・雑貨等の販売	第二工房

8. 各所利用状況（令和6年3月31日現在）

（1）利用者人員

施設	定員	在籍者数	内訳			
			男	比率%	女	比率%
第一工房	25名	24名	13名	54%	11名	46%
第二工房	20名	27名	13名	48%	13名	52%
第三工房	20名	25名	15名	60%	10名	40%

（2）入退所状況

施設	在籍数 (年度初)	増	減	在籍数 (年度末)	退所者理由			
第一工房	22名	4名	2名	24名	就労	0名	他サービス	0名
					状態悪化	0名	死亡	0名
					その他	2名	転居	0名
第二工房	24名	7名	5名	26名	就労	0名	他サービス	1名
					状態悪化	0名	死亡	1名
					その他	4名	転居	0名
第三工房	29名	2名	6名	25名	就労	0名	他サービス	2名
					状態悪化	1名	死亡	0名
					その他	3名	転居	0名

（3）年齢構成

施設／年齢		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
第一工房 25名	男	0	1	2	6	2	2	0
	女	0	1	5	3	2	0	0
第二工房 26名	男	0	0	2	1	5	4	1
	女	0	1	4	2	6	0	1
第三工房 33名	男	0	1	2	4	3	5	0
	女	0	0	1	3	5	1	0

（4）年齢

施設／年齢	男（平均）	女（平均）	平均年齢	最年少者	最高齢者
第一工房	46.8	41.5	44.4	25	69
第二工房	54.5	46.8	50.5	21	75
第三工房	50.9	49.4	54.6	26	69

（5）精神障害者福祉手帳等取得状況

※複数所持あり

施設／等級	1 級	2 級	3 級	他障害 手帳等	なし	合 計
第一工房	0	11	5	3	4	23
第二工房	0	15	7	1	5	28
第三工房	0	17	8	0	2	29

(6) 生活状況

施設／状況	障害年金受給	老齢年金受給	無年金	生活保護受給	家族同居	単身者
第一工房	17	1	6	8	15	9
第二工房	21	1	6	6	17	10
第三工房	15	2	8	9	16	10

(7) 利用状況（実開所）

施設／状況	開所日数	年間延べ人数	月平均人数	一日平均人数	利用率
第一工房	248日	3,477人	290人	14.1人	56.1%
第二工房	250日	3,773人	314人	15.0人	75.5%
第三工房	242日	3,331人	278人	13.8人	68.8%

9. 作業状況

(1) 館内清掃

	施設名称	作業スケジュール	分担
1	北品川つばさの家	週5回	第一工房
2	品川区立西大井福祉園	週5回	第二工房
3	品川区立かがやき園	※実績なし	第二工房
4	西大井六丁目第三区営住宅	月1回	第二工房

(2) 公園清掃

施設	内 容
第一工房	区内14カ所の清掃
第二工房	区内13カ所の清掃
第三工房	区内15カ所の清掃

(3) 自主製品イベント販売

5、10、11、12、1、2月にかもめ第二工房で実施（計6回・9日間）
 3月にかもめ第三工房で実施（1回3日間）
 毎月第1水曜日学研販売（計12回）
 地域祭り等（計10回）

(4) 令和6年度工賃支給実績

施設	年間総支給額	支給対象延人数	平均工賃金額
第一工房	4,502,699円	269人	26,612円
第二工房	5,751,537円	311人	31,687円

第三工房	4,988,942円	316人	30,138円
------	------------	------	---------

10. 運営状況

(1) ボランティア受け入れ状況

施設	作業補助	昼食作り	行事
第一工房	1名	0名	0名
第二工房	4名	0名	0名
第三工房	2名	0名	0名

(2) 実習生受け入れ状況

依頼先機関	延数	依頼先機関	延数
東京福祉大学	46名	立正大学	8名
日本福祉教育専門	23名	都立荏原看護専門学校	21名
東京医療保健大学	123名	品川介護専門学校	10名
昭和大学付属看護	16名		
		合計	247名

11. ヒヤリハット・事故報告状況

	ヒヤリハット報告				
	第一	第二	第三	相支	合計
4月	0	0	1	0	1
5月	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	1	0	1
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	1	0	0	0	1
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
合計	1	0	2	0	3

<ヒヤリハット内訳>

- ・パニック-0件
- ・自傷他害-0件
- ・器物破損-0件
- ・車両関係-1件
- ・転倒転落-1件
- ・体調不良-0件
- ・作業関係-1件
- ・異物混入-0件
- ・感染症等-0件
- ・その他-0件

	事故報告				
	第一	第二	第三	相支	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	0	1	2	0	3
7月	0	1	0	0	1
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	1	0	1
10月	0	0	1	0	1
11月	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	0	1	0	0	1
合計	0	3	4	0	7

<事故内訳>

- ・パニック-0件
- ・自傷他害-1件
- ・器物破損-4件
- ・車両関係-6件
- ・転倒転落-0件
- ・体調不良-0件
- ・作業関係-2件
- ・異物混入-0件
- ・感染症等-0件
- ・その他-0件

品川区精神障害者地域生活支援センター事業報告

1. 重点目標報告

障害者総合支援法に基づき、福祉サービス利用者に対し計画相談を実施し、地域活動支援センターⅠ型の事業者として、次の重点目標を計画し実施しました。

相談支援事業件数	6,045件
地域活動支援センター利用総数	1,881名
開所日数 257日	従事職員 (常勤5名・非常勤2名)

(1) 地域活動支援センターの活動の充実

感染対策の継続を行い、感染前の活動に戻していく中で、少しずつ利用者が増えてきています。

登録利用者のニーズも日々変化しており、求められる交流室（居場所）のニーズに沿って、興味や関心のあるプログラム運営や安心できる雰囲気づくり、通所へのモチベーション維持に取り組みました。

また、地域の方と一緒に関われる地域交流会も3回実施しており、初めての試みで、防災についての学びを深めました。来年度以降も防災への取り組みについて継続していきます。

(2) 退院支援へ関わりと地域生活の移行への支援

退院支援への取り組みをする中、今年度において制度利用しての退院終了した方はいませんでした。来年度も引き続き医療機関・区・関係機関等と連携し、利用者のニーズに沿って支援できるよう体制を整えていきます。

2. 相談支援体制

職 種	常勤	非常勤	合計	職 務 内 容
管 理 者 (相談支援専門員兼務)	1		1	施設運営上の管理及び調整、生活相談、サービス利用計画作成及び相談支援
相談支援専門員	3		3	生活相談、サービス利用計画作成及び相談支援
指 導 員	1	2	3	地域活動支援センター事業の業務全般事務補助等

3. サービス内容

相談支援事業	相談支援（サービス等利用計画を含む）	特定相談	(1) 対象者：障害福祉サービス利用者 (2) 実績（サービスの重複含） 合計 121 件 ① 介護給付（居宅介護・通院等介助） 28 件 ② 訓練等給付（自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・就労定着支援・共同生活援助・自立生活援助（令和5年度より）） 121 件 (2) 内容 ① アセスメント・サービス利用計画作成 140 件 ② カンファレンス 503 件（延数） ③ 区分認定調査 46 件 ④ モニタリング（月1回～年1回） 214 件（延数）
		一般相談	(1) 対象者：区内在住の精神障害者 (2) 内容：生活・就労・健康・福祉サービス等の各種相談 (3) 方法 面接、電話、訪問等による相談支援 その他、関係機関との調整・会議等 ※生活や体調面、制度利用等の相談を受けています。相談内容から制度利用となった場合には特定相談で引き続き支援していきます。 <地域移行支援：精神科病院への長期入院者への退院支援> （退院終了）0 件 （支援中断）0 件 （支援継続）0 件 ※制度利用までに至らず、相談のみでした。
		専門相談（顧問医）	実施実績：毎月1回（第2金曜日） 年間 6 回 *利用者・家族・関係機関の相談、所内や区内の事業所と合同の事例検討を実施しています。

地域活動支援センター事業	交流促進 (交流の場と居場所の提供)	(1) 交流室利用者数 1,881名(延数) 年間257日開所日 (2) 自主活動:参加人数 589名(延数) 年間236回実施 (非常勤・ボランティアによる運営 実施内容 以下①～⑤) ①パソコンクラブ 週1回、 ④おはなしクラブ 隔週 ②創作クラブ 週2回 ⑤体操クラブ 隔週 ③レククラブ 週1回 ⑥読み合いクラブ 月1回 (3) たいむミーティング:65名(延数) 年間20回開催 月1回、様々なテーマで意見交換をしたり、交流室での活動についての希望などを聞いたり、話し合いをしました。 (4) たいむりいNEWSの発行 (毎月1回 220部発行) 月の予定や、自主活動の様子、利用者からの投稿を毎月紙面にして発行し、区役所・保健センターや医療機関、関係する事業所に送付しました。
	生活支援	(1) 食事の利用:53名利用(延数) かもめ第3工房の昼食サービスを利用しました。 (2) 入浴サービス:93名利用(延数) 自宅入浴設備がない方が主な利用者であり定期利用をしています。
	ピアカウンセリング	(1) 対象者:たいむ登録者 (2) 内 容:個別、グループ相談等(年間12回 34名(延数)) 新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、個別での相談及びグループミーティング形式で行いました。
	地域交流事業	地域交流会 参加数 37名(延数) 地域の方々にも参加して頂ける交流会を4年ぶりに開催しました。 年3回 9月:『サロンコンサート』(16名) 11月:『クリスマスオーナメントを作ろう』(10名) 3月:『防災講座』(11名)

児童福祉部事業報告	1 5 9
品川区立家庭あんしんセンター事業報告	1 6 1
品川区ひまわり荘事業報告	1 6 2
品川区子育て支援事業報告	1 6 5
品川区子育て短期支援事業事業報告	1 6 7
平塚ファミリー・サポート・センター事業報告	1 6 9
平塚きぼう荘（障害者住宅）事業報告	1 7 0
品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告	1 8 5
品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業報告	1 9 4
品川区立就学前乳幼児教育施設ぷりすくーる西五反田事業報告	1 9 9

児童福祉部事業報告

1. 基本方針

児童福祉部は、「子どもの最善の利益」を基本に、各施設の専門機能や社会資源を活用し地域の子どもやその家族の支援を進めました。また、地域の人々とのつながりを大切にし、障害の有無に関わらず高齢者から子育て世代まで、多様な世代が交流する機会を提供することで共生社会の実現に向け取り組みました。

2. 重点目標

- (1) 品川区の子ども・子育て支援施策を踏まえつつ、区立子ども家庭支援センターや区立児童相談所と連携を図りながら、家庭あんしんセンターを中心として、地域や利用者のニーズに応えるためのサービス提供体制づくりに努めました。
- (2) 新型コロナウイルス等の感染症の流行に留意しつつ、適切な感染予防対策をとりながら、地域との交流の促進を図り、施設の利用向上に努めました。
- (3) 研修等の活用により福祉人材の育成に努めました。専門知識に基づいたより質の高い保育・教育・子育て相談等のサービスを提供するため、法人主催の研修や品川区の「品川プロフェッショナルスクール」、東京都福祉保健局等が開催する研修や講座に積極的に参加することで、母子支援や保育力の向上を図りました。

3. 児童福祉部事業内容

品川区立家庭あんしんセンター事業内容

	施設・事業種別	定員等
第一種社会福祉事業	母子生活支援施設 品川区ひまわり荘	20世帯
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 短期入所事業（子どもショートステイ）	5名
第二種社会福祉事業	品川区子育て短期支援事業 夜間養護事業（トワイライトステイ）	20名
第二種社会福祉事業	平塚ファミリー・サポート・センター 子育て援助活動支援事業	大崎・荏原 地区担当
公益事業	品川区子育て支援事業 育成相談、地域組織化事業 品川区育児支援ヘルパー派遣事業 養育支援訪問事業	

平塚高齢者多世代交流支援施設（平塚ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定 員
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業（ポップンルーム）	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	12名
公益事業	高齢者多世代交流・介護予防・施設貸出事業	

東品川高齢者多世代交流支援施設（東品川ゆうゆうプラザ）事業内容

	施設・事業種別	定 員
第二種社会福祉事業	老人福祉センター	
公益事業	高齢者多世代交流・子育て交流支援・介護予防・施設貸出事業	

就学前乳幼児教育施設（ぷりすくーる西五反田）事業内容

	施設・事業種別	定 員
第二種社会福祉事業	公立保育園	46名
公益事業	認可外保育事業（幼児教育施設）	54名
第二種社会福祉事業	地域子育て支援拠点事業 ふれあい交流室（ポップンルーム）	
第二種社会福祉事業	一時預かり事業（オアシスルーム）	6名

品川区立家庭あんしんセンター事業報告

1. 基本方針

「子どもの最善の利益」を基本に、施設を利用する子どもやその家族に対して相談及び支援を行いました。また、施設の専門機能や社会資源を活用した援助・助言を併せて実施すると共に、地域の人々とのつながりを大切にし、施設の特性に配慮しつつ、開かれた施設運営を行いました。

2. 重点目標

(1) 区外利用者受け入れ（広域利用）の充実

児童福祉法第23条第3項に規定する所管外区域の母子生活支援の受け入れについては、区・子育て応援課の母子・父子自立支援員の要請に基づき行いました。

(2) 子育て短期支援事業の利用者の拡大

地域でニーズのあるサービスに対して、幅広い周知活動と利用要件に基づき、利用の促進を図り、また、利用する児童の年齢や人数、特性に合わせ、「児童には安心・安全の保障」「保護者には安心の保障」を目指し、適切な人員配置、室内環境づくりを行いました。

(3) 子ども家庭支援センターとの連携強化

子ども家庭支援センターを中核とした品川区における児童虐待防止体制に寄与し、また、品川区児童相談所との連携を強化し、協力体制の構築を目指しました。

3. 品川区立家庭あんしんセンター事業内容

	施設・事業種別	定員等
児童関連施設	母子生活支援施設 品川区ひまわり荘	20世帯
児童関連施設	品川区子育て短期支援事業 短期入所事業（子どもショートステイ）	5名
児童関連施設	品川区子育て短期支援事業 夜間養護事業（トワイライトステイ）	20名
児童関連事業	品川区育児支援ヘルパー派遣事業 養育支援訪問事業	
児童関連事業	育成相談、地域組織化事業 （品川区子育て支援事業）	
児童関連事業	品川区ファミリー・サポート・センター （平塚ファミリー・サポート・センター）	

品川区ひまわり荘事業報告

1. 基本方針

様々な理由により地域で生活することが困難な状況にある母子に、安心して生活できる場を提供すると共に、子育てをはじめとして、生活全般にわたる支援・援助を行い、母と子の生活の安定と児童の健全な育成を目指しました。

また、関係機関との連携を強化し、施設だけでは解決が困難な課題を持つ利用者の自立支援の充実を図りました。

2. 重点目標

(1) 品川区との連携強化

母子生活支援施設を必要とする地域の母子世帯や、区外広域事業の利用者も随時受け入れができるように 品川区子育て応援課とさらなる連携を強め、受け入れについての提案を行いました。

(2) 利用者支援の充実

①母親支援の充実

地域生活で必要となるスキルを学ぶ機会や、精神的な安定を維持できるように、心理職員との面談などを積極的に導入します。持っている能力及び自立への意識が高まるような支援をしました。

②子ども支援の充実

互いが育ち合う場と個々に直接アプローチする場面を設け、子どもの健全な育ちを支援し、また、児童自立支援計画においては、退所後の生活を見据えた支援に努めました。

③退所後のアフターケア継続と充実

退所後も自立した生活が安定的に維持できるよう関係機関と連携し、アフターケアの充実を図りました。

3. サービス提供体制

職 名	人数	主な担当業務	保有資格
施設長	1	事業運営・管理に関すること	福祉施設長資格
母子支援員	3	母子の支援に関すること	保育士・社会福祉士等
少年指導員	2	子どもの支援に関すること	保育士・社会福祉士等
保育士	1	幼児等の保育に関すること	保育士
個別対応職員	1	個別の特別な支援に関すること	社会福祉士等
心理療法担当職員	1	母子の心理療法等	公認心理師等

調理等	1	調理及び事務に関すること	調理員等
嘱託医	1	利用者の健康管理に関すること	医師

4. 支援の具体的内容

(1) 生活の支援

- ①入所前の事前情報・入所後のアセスメント及び、日常的な会話や生活場面から母親と子どもの意向をくみ取り、課題やニーズを適切に把握し、精神面での支援を積極的に導入しました。
- ②「寄り沿い」・「共に行う」・「見守り」を基本とし、品川区子育て応援課を含めた三者面談で課題を聴取し、自立支援計画に基づいた支援を行いました。
- ③「子育てに関する事」・「日常生活で役立つ事」などの情報提供や、毎月の互助会でも情報交換・学びの機会を提供しました。
- ④家事や育児、基本的な生活習慣などの日常の生活支援を行います。また、必要に応じて債務整理の解決や、面会交流・養育費の取り決め・心理・健康面についての相談、就労、住宅確保等について、居住者と各関係機関との関係を保てるように支援いたしました。
- ⑤健康診断を年に2回実施し、必要に応じて専門医療機関への紹介や同行を行いました。
- ⑥退所後も地域で安心した生活が送れるよう母親、子どもと話し合い、支援計画を作成し、アフターケアを実施しました。

(2) 子どもの支援

①「児童自立支援計画」に基づいた一貫した自立支援

入所前の情報や、日頃の関わりや遊び中等で、その子どもの課題・ニーズを洗い出し、退所後を見据えた「児童自立支援計画」を作成します。ひまわり荘内での支援の流れ（PDCAサイクル）を全職員が共有し、様々な場面で個々の子どもの支援を行いました。

②子どもの育ちの課題を直接アプローチする支援

子どもとの面談を実施し、個々の心身の状況を把握しながら、基本的な生活習慣から学習面など、育ちの課題に取り組みます。退所後の生活を見据えた支援を母親と子どもと相談し入所者の自己決定を大切にしながら実施しました。

自尊感情・自己コントロールを高める ～個別場面での支援～	社会性を高める ～集団場面での支援～
①個別支援 ・学習支援 (ひまわり荘学童内、及び、希望により平塚ゆうゆうプラザの学習支援にも参加) ・子どもが興味を持っている分野 (手芸、料理、プログラミング等) ②学童相談室 ・言葉で、自分の気持ちを、表現できる場	①行事 ・季節の行事 ②地域の間 ・児童センターとの連携 ・すまいるスクールとの連携 ・各学校との連携 ・各関係機関との連携

(3) 緊急一時事業

配偶者などの暴力、遺棄等で、緊急的な避難が必要な母子に対して必要な保護を実施し、利用者に応じた支援を行い、安心・安全な生活作りをしました。

5. 関係機関との連携

- (1) 品川区子育て応援課・生活福祉課・子ども家庭支援センター・品川区児童相談所と連携し利用者支援を行いました。
- (2) 医療機関・保健センターと連携し、利用者の健康増進に努めました。
- (3) 子どもの育ちの支援の為、学校・保育園等と連携し、必要な情報交換を行いました。
- (4) 法テラスをはじめ、その他の専門機関と連携して個別課題の解決を支援しました。

6. 事故防止策・虐待防止・防災対策

- (1) 虐待防止への取り組み
 - ① 虐待防止規程に基づく虐待防止研修への参加や、業務・虐待チェックリストを活用した取り組みを実施し人権意識向上に取り組みました。
 - ② 利用児童の安全の確保を図るため、マニュアルに基づいた対応を職員間で周知徹底を図りました。
- (2) 事故防止の取り組みとして、ヒヤリハット事例の検討、危険箇所の点検、事故発生時の迅速な再発防止策の検討、業務マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。
- (3) 災害などに備え、毎月1回の防災避難訓練及び、年1回の荏原消防署立会での防災避難訓練を行い、防災対応に万全を期しました。また、大災害などが発生した場合は事業継続計画（BCP）に基づき行動し、利用者の安全確保・事業継続に必要な対応を迅速に行えるように努めました。
- (4) 建物の保守管理を実施し、品川区と協議し適切な維持管理に努めました。

品川区子育て支援事業報告

1. 基本方針

子どもと家庭に関する総合相談、子ども家庭在宅サービス（子どもショートステイ・トワイライトステイ事業、育児支援ヘルパー派遣事業）の提供・サービス調整及び地域組織化活動（子育て活動の援助等）等の事業により子育て家庭を支援しました。

また、要保護児童対策地域協議会の活動機関として品川区子ども家庭支援センター及び品川区子ども育成課と連携し児童虐待防止の為に区内ネットワーク作りを行い、子どもの最善の権利と安全を図る専門支援機関としての活動を目指しました。

2. 重点目標

（１）主に品川区内、地域の子育て支援機関として、子ども家庭支援センターと連携し、児童福祉法改正に伴う、育児等支援サービスの充実を図りました。

3. サービス提供（支援）体制

（１）子育て支援事業

職 名	人数	主な担当業務（下票参照）	保有資格
子ども家庭支援ワーカー（常勤）	2	子育て相談・広場事業等	社会福祉士 臨床心理士
子ども家庭支援ワーカー兼専門相談員（非常勤）	2	子育て相談等	精神保健福祉士 保育士
地域活動ワーカー兼訪問支援員（非常勤）	1	相談・広場事業等	公認心理師 等

（２）養育支援訪問事業

専門支援員（常勤）	2	訪問等	保育士等
-----------	---	-----	------

4. 支援の具体的内容

（１）親子の関わりを重視した子育て広場の運営

親子のかかわり遊びの時間を設け、親子遊びの楽しみを体験できる時間をつくると共に、子どもとの関わり方のスキルの獲得を支援することで児童虐待予防に努めました。

（２）定例会の継続

月間打ち合わせでのケース報告及び緊急な対応が必要なケースへの検討を行いました。

(3) 虐待予防の取り組み

虐待予防や虐待の重篤化防止を目的として養育支援訪問事業及び育児支援ヘルパー派遣事業に取り組みました。

5. 事故防止策・虐待防止・防災訓練

- (1) 虐待防止の取り組みとして、虐待防止規程に基づき人権意識向上に取り組みました。
- (2) 職員はマニュアルに沿った対応を身につけられるように努めました。
- (3) 利用者の安全を確保するため、防災訓練には、子育て広場利用者にも声を掛け参加を促しました。

品川区子育て短期支援事業報告

1. 基本方針

保護者と子どもが安心して利用できる短期入所事業・夜間養護事業の運営を目指し、お預かりする子どもの精神的安定や健康管理に努めました。

育児疲れ、育児不安や養育困難等の事由での利用については、虐待予防の観点から関係機関と連絡を取り、子どもや家庭の状況に応じた利用の働きかけを行い、施設内においても各事業所と連携して実施しました。

2. 重点目標

(1) 子育て短期支援事業の利用要件拡大への対応

利用者年齢や人数、特性を考慮した人的・物理的環境の整備を進め、また、電話での問い合わせや面談時の対応については、品川区子ども家庭支援センターと連携し、組織的な対応を行いました。「育児疲れ」による利用理由が増えている為、面談時において、家庭状況の確認を強化し、適正な利用に努めました。

(2) 子ども家庭支援センターとの連携強化

虐待早期発見を目指し、子ども家庭支援センターや他機関との継続した連携強化を図りました。

3. サービス提供体制

職 名	人数	主な担当業務
子育て短期事業相談員	4	利用相談及び子育て短期の運営
子育て短期臨時非常勤職員	15	子育て短期の業務全般

4. 支援の具体的内容

短期入所事業	定員	5名
	1回の利用期間	7日以内（1泊2日からの宿泊を伴う利用）
	1回の利用時間	36時間（午前8時から、翌日の午後8時の間）
	利用料金	1泊2日6,000円（減免制度あり） （2泊目以降は1日につき3,000円を加算）
	対象児童	品川区に住所のある1歳以上15歳以下の子ども
夜間養護	定員	20名
	1回の利用	1日から最長6ヶ月程度の利用・延長可能
	利用時間	午後5時から午後10時

護 事 業	利用料金	1回1,200円（減免制度あり）
	対象児童	品川区に住所のある1歳以上15歳以下の子ども
	その他	送迎あり（迎えのみ）1回 300円

（1）支援内容

- ①おやつを含めた食事の提供と身の回りのケア。
- ②学習及び遊びの援助。
- ③通園及び通学の援助。
- ④その他必要とする援助。

5. 事故防止策・虐待防止・防災対策

（1）虐待防止への取り組み

- ①虐待防止規程に基づく虐待防止研修への参加や業務・虐待チェックリストを活用した取り組みを実施し人権意識向上に取り組みました。
- ②利用児童の安全を確保するため、「安全確保マニュアル」に基づいた対応を職員間で周知徹底しました。
- ③事故・ヒヤリハット報告の検討を迅速に行い、必要な対応を職員間で周知徹底しました。
- ④安全な室内環境作りをします。また、定期的に確認を行いました。
- ⑤業務開始前の打ち合わせで、利用児童の特性を確認し、安全に留意した対応を行いました。

（2）事故防止の取り組みとしてスタッフの保育技術の向上を目指す。また、ヒヤリハットの活用、危険箇所の点検、事故発生時の報告・分析と再発予防、マニュアルの作成・見直しなどリスクマネジメントに取り組みました。

（3）利用者の安全を確保するため、防災避難訓練を行います。また、震災対策として、震災マニュアルに基づき行動し防災対応に万全を期しました。

平塚ファミリー・サポート・センター事業報告

1. 基本方針

地域で子育ての援助を受けたい方（依頼会員）と、子育ての支援を行いたい方（提供会員）が会員組織をつくり、地域の中でお互いに助け合いながら子育てをする総合援助活動を行い、子育ての支援と児童福祉の向上を図りました。

2. 重点目標

新規提供会員登録員の拡大を継続して図りました。

【年間の登録人数】登録提供会員 13名

3. サービス提供体制

職 名	人数	主な担当業務	保有資格
アドバイザー	2	会員登録・コーディネート等	保育士・幼稚園教諭 社会福祉士等

4. 事業内容

- (1) 提供会員の養成講座及び依頼会員加入時の説明及び登録等
- (2) 会員間の相互援助活動の調整及びトラブル等の調整助言
- (3) 相互援助活動を進めるための会員の交流会及び講習会の実施
- (4) 事業内容の広報活動
- (5) 関係機関との連絡調整
- (6) 事故への迅速な対応
- (7) 緊急対応（活動）

5. 関係機関との連絡調整

依頼内容及び会員状況により、保健センター・保育園・幼稚園・子ども家庭支援センター等と情報交換を行い、連携しながら会員をサポートしました。

6. 事故防止対策と事故後の対応

- (1) 安全チェックリスト表を活用しました。
- (2) 事故事例を記録し、事例の分析、リスクの発見、再発の防止に取り組みました。
- (3) 「ヒヤリ・ハット」事例を活用して、事故防止・改善に役立つ情報を提供会員研修会・提供会員交流会等で取り上げ、危険察知の目を養うなど活用しました。
- (4) 職員のスキルアップのため、積極的に研修に参加しました。
- (5) サービス向上のため、他区との情報交換を行いました。

平塚きぼう荘（障害者住宅）

併設されている平塚きぼう荘設備管理を行い、居住者が緊急の場合などに、必要な支援を行いました。

居住室数 2室

各事業年間予定表等

＜別表①＞ ひまわり荘日課表

時間	業務内容
7:30	早番出勤 警備・宿直者から早番職員への申し送り
8:00	警備員：退勤
8:30	事業ゴミ出し・事務所待機・電話・利用者対応 玄関開錠 宿直者業務終了 必要に応じ施設内保育（未入园児・病児・補助）
8:45	日勤職員出勤 駐車禁止チェーン解除
9:00	*朝礼（あんしんセンター事業全体）
10:00	遅B職員出勤
10:30	3・4階巡回
11:00	遅H職員出勤 ひまわり荘打ち合わせ
11:30	早番職員休憩
12:00	日勤職員休憩
13:00	遅H職員休憩
15:00	学童保育準備
15:30	学童の学習指導・学童保育
16:30	早番退勤
17:45	日勤退勤 学童保育終了
18:30	施設内保育終了
19:00	警備への申し送り 警備員：引き継ぎ・警備開始 階談話コーナー環境整備 遅B職員退勤
19:30	宿直者への申し送り 警備員：細密巡回 宿直待機開始 1階事務所清掃
20:00	遅H職員退勤 宿直者館内待機
21:45	宿直者、帰荘確認 警備員：在所者確認
22:00	宿直者警備員施錠前状況確認 警備員：玄関施錠
23:00	機械警備開始 警備員：館内巡回・外周巡回
1:00	警備員：予防巡回
6:00	機械警備解除 警備員：細密巡回・外周巡回
7:15	家庭ゴミ出し

<別表②> ひまわり荘年間表

月	重点項目	母子の行事 ◎乳幼児の行事	学童の行事等	健康・衛生・安全	住宅・手当等
4	・ 自立支援計画目標立て ・ 健康管理（健康相談） ・ マニュアルの見直し	春を呼ぶ会	学童面談 在籍校へ挨拶	連絡票作成	
5	・ 定期面談 ・ クリーン週間	端午の節句 母の日行事	映画鑑賞会	空調設備点検 定期清掃・害虫駆除	都営（家族向け等） 児童扶養手当
6	・ 梅雨時期の健康・衛生 ・ 自立支援計画見直し		外出行事	定期健康診断 （嘱託医）	児童育成障害手当
7	・ 住宅確保 （都営母子特別割当）	七夕		消防設備の点検	都営・公社特別割当 児童扶養手当
8		◎保育月間		カーテン洗濯	都営ポイント方式
9	・ 健康管理（健康相談）	秋まつり	制作行事		児童扶養手当
10		秋の遠足（合同）	秋の遠足（合同） 学童面談	定期健康診断 （嘱託医）	児童育成障害手当
11	・ 定期面談 ・ クリーン週間 ・ 自立支援計画見直し	◎保育月間	映画鑑賞会 在籍校へ挨拶	定期清掃 空調設備点検	都営（家族向け） 児童扶養手当
12	・ 感染症の予防と配慮 ・ 共用部分の環境衛生	年末お楽しみ会 （合同）	年末お楽しみ会 制作行事	害虫駆除（消毒） 館内大掃除	
1	・ 住宅確保（都営申込）	新年を祝う会 （合同）	新年を祝う会	消防設備の点検	都営・公社特別割当 保育園入園継続申請 児童扶養手当
2	年度内の計画について、 反省と新年度の計画	節分		定期清掃	都営ポイント方式 児童育成障害手当
3	・ 進入学・進級準備 ・ 自立支援計画評価 ・ 新年度計画決定	ひなまつり ◎保育月間	学童外出行事 新1年生学童体験		児童扶養手当

<別表③> ショートステイ・トワイライトステイ日課表

時 間	ショートステイ	時 間	トワイライトステイ
6 : 3 0	起 床 検温・健康確認		
7 : 0 0	朝 食		
8 : 0 0	保育園・幼稚園・学校等、 所属機関への子どもの送り		
1 0 : 0 0	※所属機関が休み(所属無) の場合の保育(保安) 自由遊び(外遊び・外出)・ 自主学習		
1 1 : 3 0	手洗い・うがい・水分補給 (年齢により乳製品補食)		
1 2 : 0 0	昼 食 午 睡(必要に応じて) 着替え		
1 5 : 0 0	手洗い・うがい 水分補給・補食 自由遊び・自主学習		
1 6 : 0 0	保育園・幼稚園・学校等、 所属機関への子どもの迎え	1 6 : 0 0	保育園・幼稚園・学校等、 所属機関への子どもの迎え
1 7 : 0 0	検温・健康チェック 手洗い・うがい	1 7 : 0 0	検温・健康確認 手洗い・うがい ※来所の子どもの受け入れ
1 8 : 0 0	夕 食 自由遊び・自主学習	1 8 : 0 0	夕 食 自由遊び・自主学習
2 0 : 0 0	入浴・歯みがき・着替え 健康確認		～帰りの準備～ 保護者の迎え時間により順 次行う
2 1 : 0 0	就寝準備・就寝 (子どもの年齢・体力により 就寝時間は変更あり)		保護者迎えへ申し送り
		2 2 : 0 0	トワイライトステイ終了

<別表④> 子育て支援事業 地域組織化活動

事業名：目的	実施予定	備考
親子交流事業 親子の関りの場づくり	毎月2回 月曜日 時間：10：30～11：15 場所：フラっと広場 イベントでは、製作活動、音楽遊び等を企画し、実施しました。	母子同室 近隣の児童センターや保健センターに日程表を載せたちらしを掲示する。 またホームページにも予定を掲載する。 (ちらしにQRコードを掲載)
広場開放 フラっと広場	毎週：月～土曜日 時間：10：00～12：00 13：00～16：00 (その他、会議日は休業) 場所：フラっと広場	親子の交流の場

<別表⑤> ファミリー・サポート・センター年間事業表

月	行 事 名	備 考
5	1回目 提供会員養成講座	大井ファミサポ担当
9	2回目 提供会員養成講座	平塚ファミサポ担当
11	3回目 提供会員養成講座	大井ファミサポ担当
1	4回目 提供会員養成講座	平塚ファミサポ担当

<別表⑤> 品川区家庭あんしんセンター会議予定

(1) 家庭あんしんセンター会議予定

	会 議	予 定	時 間	出席者
家庭あんしんセンター全体	所内連絡会	随時	適宜	所長、係長、主任
ひまわり荘	職員会議	毎月	11:30～	全職員
	学童担当者会	毎月	11:30～	学童担当、心理職員
	母子担当者会	毎月	11:00～	相談員 母子担当、心理職員
	区との連絡会	第2(金)	13:30～	子育て応援課、生活福祉課、所長 相談員、母子担当
	互助会 (少人数))	毎月	時間は応相談	利用者、所長 相談員、母子担当 学童担当、心理職員
	子ども会	毎月	15:30～	学童担当
	申し送り	毎日	11:00～	全職員
	ケース カンファレンス	毎月	午後	全職員 スーパーバイザー
	ケース カンファレンス	随時		所長、各担当 関係機関
	内部研修 ・研修報告	月1回	14:00～	全職員
	職員定期面談	年2回		所長、係長、全職員
子育て短期	SS, TS担当者会	毎日		SS, TS担当者 非常勤職員
	子ども家庭支援センターとの定例会	毎月		所長、及び、係長、主任、担当者、関係機関
家庭あんしんセンター	あんしんセンター会議	毎月		出勤全職員
ファミリー・サポート・センター	子家との定例会			所長、及び、係長、担当者、関係機関

<別表⑥> 防災訓練報告

(1) 家庭あんしんセンター防災訓練報告

月	想定時間帯	状況想定	訓練内容	備考
4	夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
5	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
6	夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
7	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
8	夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
9	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
10	夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
11	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
12	夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
1	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	
2	夜間	地震発生後火災	避難誘導・消火・通報	
3	日中	総合防災訓練	総合訓練	消防署立会

* 3月の総合訓練時は利用者にも参加を呼びかけて行いました。

防火管理者：施設長

状況に応じ日中の指揮者：1階職員 通報者：1階職員

夜間発生時：指揮者：宿直者 通報・誘導：警備員

<別表⑦> 研修報告

(1) 法人による研修

事務部事業計画に記載の通り行いました。

(2) 家庭あんしんセンターによる研修

研修テーマ	実施時期等	対象職員
利用者の支援に必要な専門知識・技術・研究	随時	全員
施設内勉強会・内部及び外部講師による	随時	全員

(3) 外部機関による研修

実施機関	実施時期等	対象職員
品川区社会福祉協議会	随時	全員
東京都社会福祉協議会	随時	全員
児童・障害関係各団体等	随時	全員

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	内 容
保護者																
父親	53	54	58	45	50	41	301	46	48	51	42	62	40	289	590	父親来館数
母親	158	163	179	167	140	199	1011	210	192	177	157	168	144	1048	2059	母親来館数
その他	8	2	7	9	6	6	38	5	8	8	5	7	5	38	76	上記以外の保護者来館数（ひまわり荘来館者・現含む）
小 計	219	224	244	221	196	246	1350	261	248	236	204	237	189	1375	2725	
子ども																
乳幼児	180	140	179	162	145	185	991	190	182	197	154	168	158	1049	2040	乳幼児来館数（ショート・トワイライトステイを含む）
小学生	94	67	67	86	70	77	461	79	66	56	44	57	36	338	799	小学生来館数（ショート・トワイライトステイを含む）
中学生・高校生	2	1	2	2	2	2	11	2	2	2	2	2	0	10	21	中学生・高校生来館数
小 計	276	208	248	250	217	264	1463	271	250	255	200	227	194	1397	2860	
その他	47	62	52	73	52	59	355	74	60	57	56	49	61	357	712	上記以外の来館者数（陽盛園園等）
	542	494	554	544	465	569	3168	606	558	518	460	513	444	3129	6297	

ひまわり荘

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内 容		
入所状況	継続入所	10	9	8	8	8	11	54	11	10	9	9	9	58	112	前月より継続入所世帯数	
	新規入所	0	0	0	1	3	0	4	0	0	1	0	0	1	5	新規入所世帯数	
在学期間	小 計	10	9	8	9	11	11	58	11	10	11	9	9	59	117		
	6ヶ月未満	3	1	1	2	5	4	16	4	4	3	1	1	14	30	在学期間世帯数	
	～1年未満	0	1	1	1	1	2	6	2	2	3	5	5	22	28		
	1年～2年未満	3	3	3	2	2	2	15	2	2	2	1	1	9	24		
	2年～3年未満	3	3	3	3	3	3	18	2	2	2	2	2	11	29		
	3年～4年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	4年～5年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
母親の状況	小 計	9	8	8	8	11	11	55	10	10	9	9	9	56	111	母親の年齢人数	
	～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	20～24	1	1	1	1	1	1	6	1	1	0	0	0	2	8		
	25～29	0	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	1	6	8		
	30～39	3	3	3	3	5	5	22	5	5	5	5	5	30	52		
	40～49	4	4	4	4	4	4	24	3	3	3	3	3	18	42		
	50～59歳	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1		
60歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
子どもの状況	小 計	9	8	8	8	11	11	55	10	10	9	9	9	56	111	子どもの年齢階層人数	
	0歳	1	1	1	1	3	3	10	3	3	1	1	1	10	20		
	1歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	8	8		
	2歳	3	3	3	2	1	1	13	1	1	1	1	1	6	18		
	3歳	3	3	3	2	1	1	13	1	1	3	3	2	13	26		
	4歳	2	1	1	2	3	3	12	2	2	1	0	0	1	6	18	
	5歳	0	1	1	1	1	1	5	1	1	0	1	1	5	10		
子どもの状況	6歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	7歳	2	2	2	3	4	4	17	3	3	1	1	2	11	28		
	8歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	10	10		
	9歳	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	1	4	6		
	10歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	6	6		
	11歳	1	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3		
	12歳	4	3	3	2	3	3	18	3	3	4	4	4	22	40		
	13歳	0	0	0	1	1	1	3	1	1	1	1	1	6	9		
	14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	16歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
子どもの状況	18歳	0	0	0	1	1	1	3	1	1	1	1	1	6	9		
	19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	20歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小 計	10	9	9	9	12	12	61	11	11	10	10	10	62	123	退所世帯数	
退所状況	小 計	10	9	9	9	12	12	61	11	11	10	10	10	62	123		
	結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	復縁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	実家に同居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	公営住宅	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	3	
退所状況	民間アパート・住込	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	3	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小 計	1	1	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	0	3	6	
	新規世帯数	0	0	1	0	1	2	4	0	0	1	0	2	0	0	4	
緊急一時保護	継続世帯数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1		
	延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1		

ひまわり荘

家庭あんしんセンター

区分相談		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
健康	月間延件数	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	4
	うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間延件数	0	3	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	4
	うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	同一相談で2度以上面接した件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間延件数	4	23	6	6	4	2	45	4	8	4	6	1	24	69
	うち、専門機関を紹介した件数	0	2	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0
	同一相談で2度以上面接した件数	1	3	1	1	0	0	6	1	2	2	0	0	7	13
	月間延件数	7	1	2	4	0	3	17	1	2	0	2	14	20	37
生活不安	うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同一相談で2度以上面接した件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間延件数	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間延件数	22	24	12	12	11	12	93	23	7	14	15	18	95	188
	うち、専門機関を紹介した件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	同一相談で2度以上面接した件数	7	5	2	2	3	2	21	4	1	3	3	4	2	38
	月間延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち、専門機関を紹介した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	同一相談で2度以上面接した件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月間延件数	35	52	25	28	16	18	174	33	17	18	25	36	20	323
	うち、専門機関を紹介した件数	0	3	0	2	1	2	8	0	1	0	0	1	3	13
	同一相談で2度以上面接した件数	9	9	3	5	3	3	32	6	3	5	7	2	28	60

子育て相談

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
子育て支援事業	子育て広場（利用人数）	53	56	105	81	87	108	490	89	83	96	93	76	516	1005
	親子交流事業（開催回数）	0	2	2	2	2	2	10	2	2	2	2	1	10	20
	親子交流事業（参加人数）	0	6	12	10	24	24	76	22	14	16	23	13	96	172
	夜間講座（開催回数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	各種講座参加者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【実施内容】*12時から13時は室内消毒、清掃、及び、玩具の入れ替えを行う。入室確認番号カードで利用状況を把握している。														
	＜フラット広場＞														
	親子交流事業・月2回第2、第4月曜開催（10:30～11:15）														
	4月は新年準備の為、開催無し														
	＜夜間講座＞														
【実施内容】	①「発達障害への理解・対応」11月6日														
	参加者：49名														
	②「アンガーマネジメント」11月20日														
	参加者：48名														
	子育て支援事業														
	子育て支援事業（実施件数）														
	子育て支援事業（延世件数）														
	子育て支援事業（実施件数）														
	子育て支援事業（延世件数）														
	子育て支援事業（実施件数）														

地域組織化

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
子育て世帯訪問支援事業	子育て支援訪問事業（実施件数）	1	0	1	3	3	3	11	3	3	3	2	3	17	28
	子育て支援訪問事業（延世件数）	1	0	7	12	10	10	40	17	16	14	12	10	83	123
	子育て支援訪問事業（実施件数）	1	0	3	8	8	8	28	8	8	8	5	8	45	73
	子育て支援訪問事業（延世件数）	1	0	21	34	22	26	104	50	49	41	36	26	243	347
	子育て支援訪問事業（実施件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（延世件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（実施件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（延世件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（実施件数）	1	0	1	3	3	3	11	3	3	3	2	3	17	28
	子育て支援訪問事業（延世件数）	1	0	7	12	10	10	40	17	16	14	12	10	83	123
子育て世帯訪問支援事業	子育て支援訪問事業（実施件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（延世件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（実施件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（延世件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（実施件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（延世件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（実施件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（延世件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（実施件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子育て支援訪問事業（延世件数）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

子育て世帯訪問支援事業

品川区立家庭あんしんセンター実績報告

令和6年度 品川区立家庭あんしんセンター 別表2 年度別実績推移

児童家庭相談実績(延数)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
養護	児童虐待	666件	971件	1,434件	1,854件	908件	1,144件	1,053件	1,204件	2,386件	4,710件	7,305件	6,104件	1,638件	150件	6件	4件	3件
	その他	934件	2,377件	2,142件	1,717件	1817件	1,880件	1,989件	2,811件	3,819件	5,248件	5,257件	3,927件	3,134件	250件	14件	0件	0件
障害	保健	6件	9件	5件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	5件	4件	件
	知的/言語発達	28件	12件	8件	16件	8件	6件	2件	0件	0件	0件	2件	16件	2件	0件	0件	0件	0件
	自閉症等	37件	19件	31件	2件	3件	0件	0件	0件	15件	0件	0件	19件	13件	0件	0件	0件	0件
	肢体不自由/視覚/重度心障	7件	6件	61件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
非行	ぐゑ行為/触法行為	5件	1件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	22件	0件	91件	2件	0件	0件	0件	0件
育成	不登校/適性	509件	66件	85件	23件	36件	6件	27件	31件	63件	30件	14件	7件	31件	0件	0件	0件	0件
	性格行動/育児・しつけ	770件	839件	777件	588件	710件	456件	447件	628件	814件	948件	1,031件	903件	1,045件	313件	262件	187件	132件
	その他	2件	0件	2件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件	0件	1件	112件	186件	188件
合 計(延数)		2,889件	4,300件	4,547件	4,211件	3,482件	3,492件	3,519件	4,716件	7,097件	10,965件	13,610件	11,068件	5,865件	714件	399件	381件	323件

※児童虐待の相談や対応は、令和4年度から区(品川区児童相談所、及び、子ども家庭支援センター)が窓口となっています。 ※発達相談事業は平成20年度に品川児童学園に移転しました

ショートステイ実績		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者数(件数)		41人	44人	38人	21人	20人	27人	10人	11人	22人	34人	57人	52人	59人	105人	163人	196人	205人
宿泊数(延数)		70泊	74泊	97泊	77泊	84泊	79泊	31泊	33泊	57泊	125泊	130泊	96泊	99泊	173泊	325泊	323泊	293泊

トワイライトステイ実績		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者数(件数)		483人	405人	318人	364人	435人	476人	453人	360人	385人	498人	492人	434人	135人	134人	260人	389人	446人
利用回数(延数)		3,559回	2,905回	2,176回	2,768回	3,524回	3,663回	3,176回	1,938回	1,984回	2,016回	1,656回	1,637回	560回	543回	1,030回	1,054回	1336回

ファミリーポート実績		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
提供会員登録者		199人	222人	255人	234人	229人	257人	255人	229人	236人	224人	203人	190人	155人	161人	164人	159人	163人
依頼会員登録者		1,035人	1,247人	1,417人	1,581人	1,708人	1,953人	2,103人	2,386人	2,342人	2,424人	2,517人	2,579人	2,453人	2,292人	2,213人	2,162人	2,033人
活動件数(延数)		3,591件	3,516件	3,643件	3,746件	3,532件	2,766件	3,299件	3,878件	2,920件	2,614件	2,550件	2,907件	1,311件	1,811件	1,377件	1,978件	2,438件

※ 平成19年10月 大井ファミリー・サポーター・センター開設

ひまわり荘		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入所世帯数		8	9	8	5	6	4	11	3	5	7	1	8	6	4	6	9	7	5
退所世帯数		8	10	9	6	7	9	3	7	7	8	4	4	8	4	6	5	7	6
年度末世帯数		18	17	16	15	14	9	17	13	11	10	7	11	8	10	8	12	10	9

〈別表 3〉

家庭あんしんセンター職員研修実施報告

1. 法人による研修

法人による研修は、事務部事業報告に記載の通り。

2. 家庭あんしんセンターによる内部研修

研修	研修テーマ	実施時期	職員数
部署内研修	事業計画、及び、重点テーマ等の確認	4 月	全職員
	防犯対策研修	防犯意識の向上を図る。	
	子どもの怪我への対応と予防	1 2 月	1 3 名
	子どもへの望ましい声かけ	2 月	1 2 名
	子育て応援夜間公開講座 ①発達障害への理解・対応 ②アンガーマネジメント	1 1 月 6 日 1 1 月 2 0 日	合計 9 7 名

3. 外部機関による研修（ひまわり荘）

実施機関	研修名	時期	人数
東京都ひとり親家庭支援センター	最新の離婚前後の手続き・法律知識	5 月	1 名
東京都ひとり親家庭支援センター	親子交流（面会交流）の支援	6 月	1 名
新日本医師協会	幼児期のことばの発達の基礎知識と関わり方	6 月	1 名
東京都社会福祉協議会母子福祉部会	母子世帯支援事例学習会	6 月	1 名
社会福祉法人全国社会福祉協議会	全国母子生活支援施設職員研修会	7 月	1 名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成リーダー研修①計 3 回	7 月	1 名
東京都ひとり親家庭支援センター	家計管理支援のコツ	8 月	1 名
NPO法人パルレ	当事者と一緒に考える発達障害	8 月	1 名
東京都ひとり親家庭支援センター	相談支援の基本	9 月	1 名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成新任研修③計 3 回	9 月	1 名
東京保育士会	子どものごっこ遊び～ごっこ遊びを支える発達とその魅力	9 月	1 名
東京都福祉保健局	児童養護施設等のBCP策定講座、個別相談	9 月	1 名
NPO法人パルレ	発達特性の理解と対応ステップアップ講座①	9 月	1 名
NPO法人パルレ	発達特性の理解と対応ステップアップ講座②	1 0 月	1 名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成新任研修①計 3 回	1 0 月	1 名
NPO法人パルレ	発達特性の理解と対応ステップアップ講座③	1 1 月	1 名
東京都社会福祉協議会	高機能化・多機能化等人材育成新任研修②計 3 回	1 1 月	1 名
東京都ひとり親家庭支援センター	当事者支援と支援員のセルフケア	1 1 月	1 名
東京都ひとり親家庭支援センター	離婚をめぐる親と子の心理とカウンセリング	1 2 月	1 名

NPO法人パルレ	発達障害のある子の保護者のメンタルヘルス	1 2 月	4 名
東京ウィメンズプラザ	子どもの自分らしく生きる力を育むために	1 月	1 名
関東ブロック母子生活支援施設協議会	母子生活支援施設における母と子の権利擁護について	2 月	1 名
東京都社会福祉協議会	アサーティブコミュニケーション研修	2 月	3 名
東京都ひとり親家庭支援センター	とまどう相談支援場面の実際	3 月	1 名
東京ウィメンズプラザ	DV被害者支援のための他機関連携	3 月	1 名
東京都社会福祉協議会	それぞれの女性支援とこれからの協働	3 月	1 名
認定NPO法人 3 Keys	学習習慣応援セミナー	3 月	1 名

4. 外部機関による研修

(育成相談等子育て支援事業：ファミリー・サポート・センター事業：子育て短期事業)

実施機関	研修名	時期	人数
東京都福祉局	ファミリーサポート研修	1 2 月	2 人
東京都福祉局	ファミリーサポート研修	1 月	1 人
東京都福祉局	ファミリーサポート研修東京都福祉局	2 月	2 人
品川区	子どもアレルギー講演会	8 月	1 人
NPO法人パルレ	発達特性の理解と対応ステップアップ講座①	9 月	1 人
NPO法人パルレ	発達特性の理解と対応ステップアップ講座②	1 0 月	1 人
NPO法人パルレ	発達特性の理解と対応ステップアップ講座③	1 1 月	1 人
一般社団法人 日本家族計画	Withコロナ時代におけるSRHの課題解決	2 月	1 人
一般社団法人 日本家族計画	関東甲信越地区母子保健事業研究会	1 2 月	1 人
東京都社会福祉協議会	OJT・仕事の教え方研修	7 月	1 人
東京ウィメンズプラザ	配偶者暴力支援のためのより良い連携体制に向けて	1 0 月	1 人
東京都社会福祉協議会	初任者研修	1 0 月	2 人
東京都社会福祉協議会	中堅職員研修	1 1 月	1 人
品川区	食品衛生実務講習会受講登録	1 月	1 人
東京都社会福祉協議会	スタートアップ研修	1 月	1 人
東京都社会福祉協議会	中堅職員研修	2 月	1 人

〈別表 4〉

家庭あんしんセンター防災訓練報告

月	日	想定	状況想定	訓練内容	参加者
4	2 9	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員 3 名、利用者 4 名
5	1 1	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員 6 名、利用者 5 名
6	1 6	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員 4 名、利用者 4 名
7	1 7	夜間	火災	避難誘導・消火・通報	職員 4 名、利用者 2 名
8	1 5	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員 4 名、利用者 4 名
9	2 8	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員 5 名、利用者 4 名
1 0	1 2	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員 4 名、利用者 7 名
1 1	1 7	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員 4 名、利用者 2 名
1 2	2 2	日中	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員 3 名、利用者 2 名
1	2 5	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員 5 名、利用者 4 名
2	1 6	夜間	火災・地震	避難誘導・消火・通報	職員 4 名、利用者 1 0 名
3	7	日中	火災	避難誘導・消火・通報	職員 7 名、利用者 0 名

※ 3 月に荏原消防署立ち合いの下、避難訓練、及び、初期消火訓練を実施。

〈別表 5〉

令和 6 年度 家庭あんしんセンターヒヤリハット報告・事故報告の発生の状況

	ヒヤリハット報告				
	ひまわり	子育て短期	子育て支援	ファミサポ	合計
4 月	3	2	0	0	5
5 月	4	0	0	0	4
6 月	2	1	0	0	3
7 月	0	2	0	0	2
8 月	3	1	0	0	4
9 月	3	1	0	0	4
10 月	1	0	0	0	1
11 月	1	0	0	0	1
12 月	0	0	0	0	0
1 月	2	0	0	0	2
2 月	1	0	0	0	1
3 月	2	1	0	0	3
合計	22	8	0	0	30

ひまわり荘入居者については、転倒、ぶつけ、指はさみ等が多かった。子育て短期については、ぶつけ、予約表の紛失など

	事故報告				
	ひまわり	子育て短期	子育て支援	ファミサポ	合計
4 月	0	0	0	0	0
5 月	0	0	0	0	0
6 月	0	0	0	0	0
7 月	0	0	0	0	0
8 月	0	0	0	0	0
9 月	0	0	0	0	0
10 月	0	0	0	0	0
11 月	0	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0	0
1 月	0	0	0	0	0
2 月	0	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

品川区立平塚高齢者多世代交流支援施設事業報告

1. 基本方針への対応

安全・安心を基本に快適で清潔感あふれる施設、誰もが気軽に立寄れて過ごせる施設環境の実現を目指すとともに、地域や関係団体等との良好な関係構築を目指しました。1階はゆうゆうプラザ連絡会、2階はオアシスルーム意見交流会や子育て広場事業交流会への積極的な参加をはじめ、区内関係機関との繋がりを大切に、施設全体の季節イベントでは多世代交流支援ができるよう内容を工夫しました。

2. 重点目標への対応

(1) だれもが気軽にすごせる安心・安全な施設づくり

だれもが気軽に安心・安全にすごせる施設づくりを目指し、施設周辺の植栽を整え、周辺にライトを設置し夜間も安心して利用できる環境を整えました。

フリースペースとして部屋を解放しました。フリースペースを開催しているかどうか外からでもわかりやすいようにポスターを掲示しました。

日々の安全点検および美化に努め、3月には1階従事職員（シルバー人材センター職員含む）で集まり、施設の目的や使用ルールなどの読み合わせを行い、接遇の意識統一を図りました。

(2) 住民が求めるニーズに適したサービスが受けられる施設づくり

1階自主事業について月間予定の作成を開始しました。2階ポップンルームの月間予定もホームページに掲載することで、初めて利用する方へも情報が届きやすいよう工夫しました。

利用者の小さな変化や困り感を見逃さない意識を持ち、必要に応じてプライバシーに配慮しながら関係機関に繋げました。

(3) 仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり

地域ミニデイや地域ミニデイの卒業生グループ、また認知症カフェなどを通じて、定期的に仲間と楽しく健康を増進できる機会の提供を継続しました。

(4) 子育て親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり

在宅で子育てをしている方を主体としながら、未就学親子に対し子育てに関する悩みや不安感に寄り添う中で、子どもの成長を共に喜びながら子育て親育ちをサポートしました。家庭あんしんセンターや児童センター、地域の子育て広場事業との情報共有も積極的に行いながら、地域の子育て親育ちをサポートしました。

- (5) 多世代が一体となり「つくり」「そだて」「つづけられる」地域の繋がりが見える施設づくり

ひらゆうクラブ、ゆうゆうプラザまつりなど多世代の交流を図るためのイベントを開催し、多世代で楽しめるように催し物を工夫しました。

2月に1階自主グループ代表者懇談会を実施し、施設利用方法を共有したり使い勝手についての意見を伺ったりする機会を持ちました。

3. 施設及び各事業の報告

<1階貸出し施設事業報告>

(1) 重点目標への対応

運営等に関するマニュアルの見直しや利用者が安全で快適にすごせる環境づくりを行うため、ゆうゆうプラザ連絡会をはじめ区主管課に相談しながら整理しました。

<オアシスルーム(生活支援型一時保育)事業報告>

(1) 重点目標への対応

- ア 保育室内を区切り、年齢や発達に応じた保育が提供できるようにしました。
- イ ポップンルームとの間で情報共有し、共通利用している親子の子育ての悩みや疲れに寄り添う姿勢を第一に考え、助言を適宜行っています。必要に応じて家庭あんしんセンターや区などの関係機関とも情報共有し、適切な支援に繋がられるようにしています。
- ウ 法人本部主催の感染症予防研修への参加に加え、国の基準に沿って消毒方法やマニュアルを見直し、職員間で共有することで利用者が安全に快適な環境で過ごせるよう工夫しました。

<ポップンルーム(地域交流室)事業報告>

(1) 重点目標への対応

- ア 『ポップン通信』を毎月発行し、法人ホームページへの掲載や地域の掲示板への貼り出し、施設外から見える場所への貼り出しなど広報活動を積極的に行いました。
- イ 区報『しながわ』の必要部分を切り抜いて施設内に掲示することで地域のイベントや子育て情報をキャッチできるように工夫しました。また、建物全体のイベントで子ども向けコーナーを企画するなど、地域住民との交流促進に努めました。

ウ 継続利用者が増加していることから、普段から居心地が良い環境づくりを模索してきました。加えて毎月実施している定期イベントにボールプールやトンネルを増やし、以前は予約制だった季節のイベントも自由来館にしたことにより参加人数の拡大に繋がっています。

エ 法人本部主催の感染症予防研修への参加に加え、国の基準に沿って消毒方法やマニュアルを見直し、職員間で共有することで利用者が安全に快適な環境で過ごせるよう工夫しました。

4. サービス提供（支援）体制

種別	配置数	担当業務	主な保有資格
常勤	1	施設管理・オアシス施設長	社会福祉士・保育士
常勤	4	オアシス（1）・ポップン（2） 施設管理・受付事務等（1）	保育士
非常勤	1 5	オアシス（9）・ポップン（4） 受付事務等（2）	保育士

5. 交流支援事業（自主事業）報告

（1）地域ミニデイ（通所型サービス B・区補助金対象事業）『平塚ゆうゆう』

毎回血圧や身体測定を実施し、自身の身体と向き合う時間にもなっています。講師やボランティアとのコミュニケーションを大切にすることで利用者へのフォローや細かな状態変化を把握し、必要に応じてプライバシーに配慮しながら関係機関へ繋ぎました。

（2）地域ミニデイ卒業生グループ『元気ゆうゆう体操クラブ』

地域ミニデイ卒業後も介護予防体操を切れ目なく行える機会として継続しました。

（3）多世代交流塾『ひらゆうクラブ』

講師やボランティアを中心に、毎月第二土曜日は多世代向けに工作を、第四日曜日は子育て世代向けにファミリーダンスを実施しました

（4）開放されたフリースペース『くつろぎスペースゆうゆう』

自主グループが増加したことにより平日日中の空き部屋解消に繋がったため実施回数が前年度に比較して少なくなりました。小学生のリピーターが多く、開催がわかりやすいように玄関ドアに実施状況を貼り出す工夫をしました。

（5）おもちゃ図書館『ぽかぽか』

ポップンルームに於いて月 2 回金曜日に実施しました。月 1 回、自宅に持ち帰って遊べる貸出日を設定しています。今年度は新たな試みとして施

設全体イベントでおもちゃ図書館のコーナーを設定することで、高齢者にも知っていただくことと、2階子育て世代の利用者が1階に立ち寄る機会を作りました。次年度は1階でもおもちゃ図書館を実施し、多世代交流支援に繋げていきます。

(6) シニア向けスマートフォン教室『ひらゆうスマホをマナブ会』

毎月2回実施しました。スマートフォンの使用機種や知識、慣れなど個人差があるため個別申込が中心でした。

(7) ストレッチ教室『とにかく伸ばそうストレッチ教室』

ストレッチに特化した多世代向け体操教室を月2回実施しました。継続利用者が多く、準備や片付けなども自主的に行っています。

(8) ボッチャ教室

ボッチャ協会に所属している講師による本格的なボッチャ教室を月1回実施しました。

(9) 将棋教室・習字教室

地域の高齢者が講師となり、地域の小学生や大人が参加しています。

(10) 認知症カフェ（令和6年度開始・区補助金対象事業）

だれもが住み慣れた地域で安心して気軽に集う場として月1回実施しました。区運動教室講師による体操を毎回取り入れています。地域の栄養士による季節の過ごし方講座、ほっとサロン講師のフラワーアレンジメント、社会福祉協議会による成年後見人制度などの講座も開催しました。人気がありすぐに予約が埋まっているため、次年度は開催回数を増やして対応します。

(11) 朗読の会・演劇クラブ（令和6年度開始）

11月から多世代を対象に声を出す機会として月1回開始しました。脚本家が講師となって本格的な演劇指導を受けるとともに朗読の機会として実施しています。3月の平塚ゆうゆうプラザまつりでは演劇の発表や体験会を実施し好評でした。

(12) 身体測定器の設置（令和6年度開始）

地域ミニデイで使用している体組成計（体重・体脂肪率・筋肉量等が測定できるヘルスマーター）を、自由に使用できるよう11月に1階受付横に設置しました。40名の方に参加していただき好評でした。

(13) フラダンス教室（令和6年度開始）

6月から月1回多世代を対象として開始しました。小学生と大人が参加しており、3月の平塚ゆうゆうプラザまつりではフラダンスの発表や体験会を実施し好評でした。

(14) ゆうゆうプラザ主催のイベント

①平塚ゆうゆうプラザまつり（令和7年3月1日開催 36名参加）

自主事業の紹介として、フラダンスと演劇・朗読劇の発表や体験会と習字教室の作品展を開催しました。おもちゃ図書館を誰もが自由に触れられるよう設置し、舞台発表後にはリユースコーナーを開催しました。しいのき学園が作ったお菓子のプレゼントは好評でした。

②納涼祭（令和6年7月20日開催 65名参加）

平塚ゆうゆうプラザを使用した活動のご紹介として、自主グループの輪投げ体験（町会（平一長寿会）主催）、ほっとサロンのくるみボタンワークショップ（しあわせじゅく主催）を開催しました。2階子育て世代が参加しやすいよう、子ども向けは年齢別にコーナーを展開しました（おもちゃ図書館（乳児）、磁石魚釣り（幼児）、かえるとぼしゲーム（小学生））。それぞれに大人も子どもも参加し、多世代交流を支援することができました。しいのき学園が作ったお菓子のプレゼントは好評でした。

③秋敬老イベント

ア 地域ミニデイ体験・見学会（令和6年9月17日開催 10名参加）
区担当者、在宅介護支援センターなど関係機関から5名、地域の高齢者が5名参加しました。今までは関係機関に実際に見てもらう機会がなかったことから参加者に好評でした。

イ 認知症カフェ見学会（令和6年9月19日開催 7名参加）

区担当者、地域で認知症カフェを行っている施設職員など関係機関から4名、地域の高齢者が3名参加しました。一緒に机を囲んで施設イベントの装飾で使用するお花紙を開いたり、コーヒーを飲みながらおしゃべりをしたりと一緒に体験していただきました。認知症カフェの形態が施設によって異なることから、関係機関からも好評でした。

④おたのしみ会（令和6年12月21日開催 52名参加）

リユースコーナー、フォトスポット、手作りおもちゃワークショップ、おもちゃ図書館を実施しました。親子の参加が多く、地域イベントが重なったことにより高齢者の参加が少ない結果となりました。しいのき学園が作ったお菓子のプレゼントは好評でした。

6. 地域貢献事業・関係機関との連携

- （1）施設主催のイベントでは町会の自主グループに輪投げ体験会の協力をしていただき、秋には地域の関係機関も見学・体験できるイベントを開催し、地域力の強化促進に心がけました。
- （2）地域ミニデイ、多世代交流塾の工作、認知症カフェなど、地域のボランティアが活躍できる場として提供し、意欲的に活動できるようサポートし

ました。

- (3) 地域ミニデイでは利用者の状態変化を見逃さないよう配慮し、必要に応じてプライバシーに配慮しながら関係機関へ情報提供するなど、支援に繋がりました。
- (4) ボランティアセンターと連携し『ほっと・サロン』が利用しやすいよう環境やルールを整えました。施設主催のイベントや自主事業の認知症カフェ講座に『ほっと・サロン』のグループや講師の協力によるワークショップを開催したことにより『ほっと・サロン』を広める機会に繋がりました。
- (5) 1階では子育て支援センター主催の講座開催や研修のため部屋を提供しました。2階の子育て支援施設では、必要に応じて情報の共有や交換をしました。

7. 事故防止策・防災対策

- (1) 救命講習と防犯研修を受講しました。
- (2) 事故の発生または再発を防止するために法人のヒヤリ・ハットリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。
ヒヤリハットが起きた際はフロア毎に回覧したり話し合いを持ち、再発防止に努めました。
- (3) 地震や火災に備え毎月自衛消防訓練を実施しました。非常時に速やかに対応できるよう、避難経路や消火器の場所の確認、東京消防庁の電子学習室を使用した知識の充足に加え、実際に利用者に参加していただく避難訓練を実施しました。

8. 安全対策

日常的に事務所（1階、2階）の防犯カメラで不審者対策を行いました。事故防止のため、設備や玩具などの安全チェックシートを定期的に実施しました。

品川区立平塚ゆうゆうプラザ実績資料

(1) 貸出し事業利用状況

令和7年3月31日現在 単位：人														
利用種別	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
目的内利用 (登録利用)	高齢者	381	348	353	374	320	328	346	334	311	317	380	330	4,122人
	ほっとサロン	111	96	118	96	102	82	99	95	114	88	111	116	1,228人
目的外利用 (一般利用)	利用人数	146	228	143	170	175	218	233	162	212	183	181	146	2,197人
	団体数	31	62	25	43	34	35	38	29	32	30	59	37	455人
区事業	いきいき健康 マーじゃん広場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
	運動教室	0	20	47	45	18	49	39	43	36	48	45	45	435人
自主事業		263	255	286	305	160	237	232	332	277	195	266	257	3,065人
合計利用人数		901	947	947	990	775	914	949	966	950	831	983	894	11,047人

(2) 自主事業実施状況

令和7年3月31日現在				
事業名	対象者	延べ回数	延べ人数	
イベント	納涼祭(7月)	多世代	1回	65人
	秋敬老イベント(9月地域ミニデイ・認知症カフェ)	多世代	2回	17人
	おたのしみ会(12月)	多世代	1回	52人
	平塚ゆうゆうプラザまつり(3月)	多世代	1回	36人
	ひらつかタイム(工作)	子育て世代	22回	349人
	おもちゃ図書館(ポップンルーム)	子育て世代	24回	399人
	ボールプール	子育て世代	19回	339人
	トンネル	子育て世代	17回	263人
	ポップンルーム年間行事(あきまつり・ハロウィン・ク)	子育て世代	3回	187人
講座	ひらゆうクラブ	多世代	10回	166人
	ポップンルーム子育て講座(ファミリーダンス)	子育て世代	12回	175人
	ひらゆうスマホをマナブ会	高齢者	20回	32人
	ポッチャ教室	多世代	12回	210人
	習字教室	多世代	21回	102人
	将棋教室	多世代	24回	260人
	フラダンス教室	多世代	10回	78人
	演劇教室	多世代	5回	68人
	おしゃべり会	子育て世代	4回	29人
	看護師講座	子育て世代	1回	6人
	手作りおもちゃ講座	子育て世代	1回	14人
	地域ミニデイ	高齢者	49回	525人
予防	元気ゆうゆう体操(地域ミニデイ卒業生グループ)	高齢者	43回	441人
	ストレッチ教室	多世代	21回	187人
	認知症カフェ	多世代	12回	166人
その他	くつろぎスペースゆうゆう	多世代	38回	110人
	身体測定器体験(11月5日～28日 平日のみ)	高齢者	18回	40人
合計			373回	4,276人

(3) 部屋別稼働率

令和7年3月31日現在 単位：%													
部屋名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
レクリエーション室1	85.0	82.5	77.5	84.1	73.2	81.0	79.7	73.1	79.5	74.3	81.1	72.5	78.6
レクリエーション室2	64.6	66.3	63.2	55.9	48.9	62.7	66.7	59.5	66.3	54.4	69.2	60.2	61.5
コミュニティ室	69.5	73.3	67.8	67.7	68.2	72.3	69.3	69.9	73.8	70.4	64.5	63.6	69.2
全部屋	73.0	73.8	69.3	68.7	63.2	71.8	71.7	67.3	73.0	66.2	71.5	65.2	69.6

(4) オアシスルーム利用状況

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	0 歳	45	46	59	84	69	103	141	143	158	142	174	194	1,358人
	1 歳	38	35	41	57	30	35	34	30	26	22	19	28	395人
	2 歳	31	30	29	27	27	15	25	17	23	20	36	19	299人
	3 歳	17	6	3	12	20	15	23	7	10	5	12	10	140人
	4 歳	21	10	5	23	26	9	4	7	12	3	2	15	137人
	5 歳	18	9	13	12	18	12	12	12	14	9	18	19	166人
利用延べ時間	小 計	170	136	150	215	190	189	239	216	243	201	261	285	2,495人
	0 歳	205	203	290	370	329	502	620	616	725	635	750	875	6,120時間
	1 歳	215	182	229	328	193	195	196	210	151	128	106	166	2,299時間
	2 歳	181	172	161	133	152	84	141	93	131	111	216	106	1,681時間
	3 歳	109	22	16	72	103	74	122	37	58	28	56	63	760時間
	4 歳	114	59	37	150	175	56	27	45	64	17	13	89	846時間
保育料	5 歳	110	43	67	68	106	56	62	70	56	37	77	78	830時間
	小 計	934	681	800	1,121	1,058	967	1,168	1,071	1,185	956	1,218	1,377	12,536時間
保育料		467,000	340,500	400,000	560,500	529,000	483,500	584,000	535,500	592,500	478,000	609,000	688,500	6,268,000円

令和7年3月31日現在

(5) ポップンルーム利用実績

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者	324	271	309	341	371	430	453	423	431	380	494	477	4,704人
登録人数	82	45	28	24	22	28	24	36	28	36	42	30	425人
相談	食育(母乳・ミルク・断乳・離乳食・咀嚼・マナーなど)	0	2	3	1	2	4	1	0	1	1	1	21件
	健康(病気・アレルギー)	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3件
	発達(発達の遅れ・歩行・言葉・行動など)	0	7	3	4	2	1	0	0	4	0	1	23件
	遊びや玩具に関すること	0	1	0	0	2	0	0	1	2	1	0	7件
	睡眠・夜泣き	1	1	1	2	0	1	1	2	0	0	0	10件
	排泄・トイレトレーニング	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1件
	しつけ・片づけ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件
	その他	0	9	4	5	4	3	1	2	6	3	5	51件
	小 計	1	20	11	13	10	10	16	5	13	5	7	116件

令和7年3月31日現在

(6) 研修

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
区立動物地域支援センター係	4月19日	地域ミニメディア運動所リーダー およびボランティア謝辞会	2名
佐原第三地域センター	4月26日	佐原第三地域センター管内施設建設費 ゆうゆうプラザ締結会	1名
区立動物地域支援センター係	5月2日/6月27日/9月4日/10月25日 /12月11日/1月31日/2月18日		各回2名
東京消防庁	5月7・8日	防火防災管理者講習	1名
一般社団法人東京近畿食品衛生協会	5月15日	食品衛生責任者講習	1名
区子ども育成センター子育て支援係	6月18日	子育て支援団体との交流会	2名
区子ども育成センター子育て支援係	①5月26日/②2月17日/③3月24日	オアシスルーム意見交流会	①2名 ②③1名
東京都福祉局 子供・子育て支援部	7月10日	子育てひろばの役割を考える ～はじめの一歩～	1名
区立動物地域支援センター係	7月18日/3月4日	認知症カフェ連絡会	各回1名
東京都福祉局 子供・子育て支援部	7月24日	乳幼児の事故を予防する ～安全な遊び場づくり～	1名
NPO法人ふれあいの家おばちゃんち	9月6日/3月7日	ひろば交流会	各回2名
NPO法人ふれあいの家おばちゃんち	9月25日/11月11日	子育てメッセージ	各回2名
東京都福祉局 子供・子育て支援部	10月9日	子育て支援施設における、 『だっこ』の相談の対応とは	1名
東京都福祉局 子供・子育て支援部	11月11日	乳幼児の障害への対応と 適切な支援につなげるために	1名
品川区役所課長	11月6日	発達障害の理解・対応	1名
東京都福祉局 子供・子育て支援部	1月30日	乳幼児の発達について	1名
区立動物地域支援センター係	2月14日	地域ミニメディア（通訳サービス）担当者懇談会	2名

②法人研修

主催	日程	内容	参加人数
法人	5月11日、6月4日	てんかん基礎講座	3名
法人	6月27日	食物アレルギー研修	3名
法人	7月8日	マルトリートメント研修	9名
法人	7月26日	防犯研修	5名
法人	8月2日	虐待防止研修	5名
家庭あんしんセンター	8月22日	品川区児童相談所	2名
法人	9月4日	情報セキュリティ研修	5名
法人	9月19日・26日/10月8日・30日	感染症予防研修	5名
法人	10月15日	令和6年度新選区職員フォローアップ研修	1名
法人	12月4日	業績評価研修	1名
家庭あんしんセンター	12月9日	子どもの登校への対応と予防	5名
法人	1月16日	認知症研修	5名
家庭あんしんセンター	2月14日	子どもへの望ましいいけかけ	5名

(7) ヒヤリハット・事故状況

①ヒヤリハット報告

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階	1	1	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0	10
オアシス	2	1	1	4	2	1	1	0	4	0	5	4	25
ステップ	1	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1	1	7

②事故報告

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1階	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オアシス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ステップ	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3

品川区立東品川高齢者多世代交流支援施設事業報告

1. 基本方針

安全・安心を基本とし、快適で清潔感あふれる施設、誰もが気軽に立寄れて過ごせる施設環境の整備や、地域や関係団体等との良好な関係の構築に努めました。また高齢者への介護予防等の支援をはじめ、高齢者と子育て世代等、多世代の区民との交流支援に対応する各種事業を実施し、地域交流の拠点として機能を発揮しました。

2. 重点目標

- (1) 地域のニーズに適したサービスを誰もが安心・安全に受けられる多世代交流へと繋げられる施設づくり
地域のニーズに応えられるようサービス内容の充実化を図りました。
また設備の点検を行い、安全に利用できる環境整備に努めました。
- (2) 仲間と楽しく健康を増進できる介護予防機能を持った施設づくり
地域ミニデイ等の自主事業を継続して実施しました。利用の多い入浴サービスでは、利用者の健康面等の変化に注意を払いながら安全に利用できるための環境整備に努めました。
- (3) 子育て親育ちをサポートする子育て支援機能を持った施設づくり
親子広場等の事業実施を継続して実施しました。高齢者との交流につながるよう工夫をしています。

3. 各事業の計画について

(1) 貸出し施設事業

区の指導のもと利用案内、利用券届出受付・発券、グループ利用登録届出受付事務、施設使用料の徴収及び収納事務等の業務を適切に行いました。

貸出し時間（午前9時から午後9時30分まで）に対応するため、貸出し業務あたる一部の時間帯については品川区シルバー人材センターに委託し、効率的な運営を行いました。

入浴サービスについて節水に努めながら、利用者が安全・快適に利用できる環境づくりを継続して実践しました。

(2) 介護予防及び多世代交流を促進する事業

①地域ミニデイ

介護予防事業として地域ミニデイ「東品川ゆうゆう（通所型サービスB）」を継続して実施しました。また、利用者がミニデイ利用後も切れ目なく体操等の活動ができる機会をもてるよう、「東品川ゆうゆうプラス（卒業生グループ）」も継続して実施しています。

②ゆうゆうプラザ主催のイベント

季節のイベントを企画・実施しています。ゆうゆうプラザ祭りでは利用者の活動の発表の場とするとともに、子供向けの催しも行うことで多世代が集まる機会にもなり、地域に向けて施設をPRすることができました。

③多世代交流塾

ヨガ教室等を定期的で開催しました。高齢者に講師役を担っていただいた着物着付け講座や保育園児との交流を兼ねた菜園事業等、高齢者の生きがいくりにつながるような取り組みも継続して実施できています。

④子ども食堂・ふれあい食堂

「こども食堂 はなおか」のサポートとして、簡単なお手伝い役をゆうゆうプラザ利用者（高齢者）から募集し活動してもらいました。子どもたちと食事をともにしながら、緩やかな世代間交流の機会として継続して実施しました。

(3) 子ども子育て関連事業

「東品川わくわくキッズルーム」として親子広場と交流プログラムを継続して実施しました。「交流プログラム」は、親子で楽しむ運動遊び等のレクリエーションを行います。開催にあたって高齢利用者におもちゃの消毒等をボランティアとして携わっていただきました。

4. サービス提供（支援）体制

種別	配置数	担当業務	主な保有資格
常勤	1	施設長・施設管理	介護福祉士等
常勤	1	施設管理・受付事務等	介護福祉士等
非常勤	1	受付事務等	

土・日・祝の日中と平日・土の夜間窓口業務、平日浴室等管理業務はシルバー人材センターに委託

5. 地域・関係機関との連携

- (1) 支え愛活動が開催する高齢者向けサロンへの協力など、地域の町会や関係機関との連携体制の継続に努めました。
- (2) 地域ミニデイや多世代交流塾等で地域のボランティアの方々が短時間でも活動しやすい体制を整えました。
- (3) 地域ミニデイをはじめとした利用者の状態変化等の情報を各在宅介護支援センターや支え愛ほっとステーションと共有し、連携を図りました。
- (4) 「ほっと・サロン」の開催について品川区社会福祉協議会と連携し、各サロンが円滑に運営できるよう支援しました。

6. 事故防止策・防災対策

- (1) 救命講習、小規模施設防火講習等を受講するほか、品川警察署の防犯研修を受講しました。
- (2) 事故の発生又は再発を防止するために法人のヒヤリ・ハットリスクレベル評価表に基づくリスク分析と管理に取り組みました。
- (3) 消防計画及び震災対応事業計画に基づき、消防訓練や避難訓練を併設施設の東品川文化センターや設備管理等の委託業者と合同して実施しました。
- (4) 施設内防災備蓄品倉庫が設置を品川区指導のもと適切に管理しました。

7. 安全対策

法人の各施設で蓄えた知識・経験や施設内でのヒヤリハット報告の活用を積極的に行い、安全点検を定期的の実施して事故防止に努めました。

東品川ゆうゆうプラザ実績資料

(1) 貸出し事業利用状況

令和7年3月31日現在															単位：人
利用種別	対象者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
(登録利用) 目的内利用	高齢者		3,118	2,832	3,037	3,064	2,847	2,884	3,121	3,146	3,064	2,848	3,026	3,318	36,305
	内訳 (部屋貸し除く)	入浴者数	2,720	2,447	2,582	2,657	2,606	2,451	2,677	2,536	2,713	2,447	2,596	2,879	31,311
		マッサージサービス	29	31	32	29		32	32	30	30		31	32	308
(一般利用) 目的外利用	全年齢	利用人数	326	401	553	601	611	659	556	431	510	410	489	525	6,072
		団体数	59	66	84	114	85	96	85	67	96	70	80	83	985
自主事業 (貸出部屋の利用人数)			530	460	487	518	502	482	463	468	577	574	606	756	6,423
ほっと・サロン			47	29	48	38	33	43	48	32	27	28	46	12	431
支え愛・ほっとステーション			0	15	28	14	23	20	29	3	34	32	18	0	216
区事業	高齢者	うんどう機能 トレーニング	46	69	70	68	63	17	88	37	61	68	63	19	669
		高齢者外出 習慣化事業	0	0	0	0	12	10	10	0	0	0	0	0	32
		健康塾	81	73	81	88	76	70	38	95	81	82	57	97	919
		その他	73	123	119	69	0	78	55	106	84	88	51	144	990
合計利用人数			4,221	4,002	4,423	4,460	4,167	4,263	4,408	4,318	4,438	4,130	4,356	4,871	52,057

(2) 自主事業実施状況

令和7年3月31日現在				
事業名		対象者	延べ回数	延べ人数
イベント	七タイイベント	多世代	1	40
	東品川ゆうゆうプラザまつり	多世代	1	290
	多世代交流塾(ヨガ講座等)	多世代	43	476
	わくわくキッズルーム	子育て世代	99	478
	子ども食堂	多世代	13	323
	菜園事業	多世代	4	110
予防	地域ミニデイ「東品川ゆうゆう」	高齢者	41	408
予防	地域ミニデイ卒業生グループ「東品川ゆうゆうプラス」	高齢者	46	312
合 計			248回	2,437人

(3) 部屋別稼働率

令和7年3月31日現在	
部屋名	年間稼働率
レクリエーション室1	45.5%
レクリエーション室2	48.5%
レクリエーション室3	50.0%
コミュニティ室1	39.5%
コミュニティ室2	37.7%
スタジオ室1	12.0%
スタジオ室2	30.9%
全部屋	35.5%

(4) ヒヤリハット・事故状況

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

※事故：利用者同士の暴行トラブル（当事者が通報し警察が介入に至った事案）。

品川区立就学前乳幼児教育施設ぷりすくーる西五反田事業報告

1. 基本方針、重点目標について（3 部門共通）

子どもの最善の利益と子どもの福祉・教育の増進を図り、保護者の育児と仕事の両立と家庭を支援し、また、在宅子育て世帯の支援を通して子どもたちの健やかな成長を育み、安心して預けられる質の高い保育を目指し、園運営に取り組みました。

2. 重点目標について（3 部門共通）

（1）人材の育成

職員研修の柱を「法人主催研修」「品川プロフェッショナルスクール」「東京都福祉保健局」の3本とし、職層や研修テーマに合わせて受講者名入りの研修計画を作成して、積極的に研修に参加できるようにしてきました。受講後の研修報告も滞りなく提出され、職員の保育力向上の一助になりました。

（2）より質の高い保育・教育を展開するために

①園内研究の主題を「子どもたちが主体的に遊びこめるコーナー保育の実践」とし、子どもが主体的に遊びこめる環境を構築するための「環境の設定」、「教材、教具の工夫」「保育者のかかわり方」の3点を検証・考察し、実践につなげていきました。

②園内公開研究保育を実施しました。終了後は保育を振り返り、明日の保育に活かすことができるよう研究協議会（カンファレンス）を開催して学びに繋げ、継続的な研究に取り組みました。

③年間計画を立て、下記のテーマで全職員を対象に園内研修を実施しました。

ア 保育所等における虐待防止について（講師：園長）

イ 消防機関（119番）への通報要領と通報訓練（講師：副園長）

ウ 応急処置とケガの対応（講師：看護師）

エ 排泄物、嘔吐物の処理（講師：看護師）

オ 食物アレルギーをもつ園児への対応、エピペン使用方法（講師：看護師）

園内研修を通して、職員が共通認識をもって専門性を深めたり、実際に現場で現象が起こった際の実践に繋がったりすることができました。

3. 施設及び各事業の計画について

<保育園部門・幼児教育部門>

(1) カリキュラムマネジメントの実施について

保育及び教育の内容に関する全体的な計画に基づき、部門計画を立て実施し、評価・改善ができるように、公開保育やカンファレンス、また保育内容だけに特化した保育会議を通して職員の理解を深め、日頃の保育に取り入れやすいようにしつつ、定期的に見直しを行いました。

(2) 学びの連続性

0歳児から5歳児まで学びが継続して行われるように、年齢発達の特徴を考慮して環境を構成しました。幼児教育部門と保育園部門との接続を段差なくスムーズに行うために、3歳児と2歳児の交流を意図的に行いました。

(3) 食育

①給食委託業者と職員とで月1回の給食会議を行い資質向上を図り、食の教育をするための意見交換、またアレルギーについての意識を高め、チェック体制等を確認しました。

②屋上の畑にキュウリ、トマト、ナス、ピーマン、ゴーヤ、さつまいもなどを植え、収穫を楽しみにしながら世話をするとともに、収穫物はクッキングの材料とすることで、作物や作ってくださる人に感謝をしながら食べることで食育に取り組みました。

<ふれあい交流室部門>

(1) 総来室者数 4, 086名 (オアシスルーム除く)

(2) ポップンルーム

延べ利用者数 2, 292名 (登録数 462名)

(3) 相談 588件

①事業案内等 283件

②育児相談等 305件

件数は昨年度より減少しましたが、「親子で遊ぼう」などの事業時に、一人ひとりの利用者といっしょに話しかけることができました。

(4) 親子であそぼう! (登録数)

①0歳児 さくらんぼぐみ 43組

②1歳児 ぶどうぐみ 18組

③2・3歳児 ばななぐみ 13組

今年度も登録者に暑中見舞いと年賀状を出す「ごきげんようプロジェクト」を実施しました。

(5) 講演会

事業内容	実績
講演会 「リトミック」 「ベビーマッサージ」等	実施回数 9 回 参加者数：131組 270名
試食会 「離乳食を知ろう会」	9月19日（木）実施 参加者数：3組 6名
えんDEとーく	「ナースと話そう！」7回実施 参加者数：35組 70名
読み聞かせ	全11回開催 金曜日 10:00－10:30 参加者数：59組 116名
お外であそぼう！	全10回開催 火曜日 10:00－11:30 参加者数：171組 437名

① 開園20周年記念のイベントとして、幼保部門と共催で「箏とピアノのコンサート」を開催しました。

② 保育園職員の力を借りて「離乳食を知ろう会」を実施し、実際に園で提供している離乳食を試食してもらいました。

(6) オアシスルーム

延べ 1, 557名（登録数274名）

※昨年7月よりキャッシュレス決済が始まりキャッシュレス率95.2%になりました。

4. サービス提供（支援）体制

職種	人数	職務の内容
園長	1	運営、職員指導、地域との連絡・調整、子育て相談
副園長	1	保育指導、園長代行、研修生対応指導
交流室長	1	ふれあい交流室統括、オアシス・ポップンルーム統括
事務長	1	庶務、経理統括、認定こども園化推進事業（品川区より派遣）
保育士	22	乳幼児保育、子育て支援
看護師	1	乳幼児保育乳幼児の健康管理
事務	1	庶務、経理
事務（非常勤）	2	事務補助

非常勤保育士	7	乳幼児保育、保育補助
一般非常勤	5	保育補助
非常勤用務	3	清掃、環境整備
調理員	(株)アスパウエルネスサービスに調理業務代行委託	
嘱託医	1	新入園児事前健康診断、0歳児健診（月1回）、全園児定期健診（年2回）
嘱託歯科医	1	全園児歯科検診（年2回）

5. 独自事業について

(1) 保護者の保育参加の推進について

今まで全クラスで行っていた公開保育を、今年度より4, 5歳児クラスのみの実施とし、0歳から3歳児クラスまでは「保育士体験」事業を実施しました。今年度は0歳児クラスから3歳児クラスで、13名の保護者に参加いただき好評を得ました。

(2) 多文化・伝統文化に触れ様々な体験ができる機会について

- ①「英語であそぼう」では外部講師に来ていただき、ゲームや体操、やり取りを通して楽しみながら英語や他文化に触れることができました。
- ②年長組は「お茶の会」の新年を祝う「初釜」を経験しました。保育の中でお茶会に向けて取り組んできた成果を立派に見せてくれました。
- ③七五三の集いの後、神社参拝を体験することで畏敬の念を持ったり、心を律したりする経験ができました。

(3) 運動プログラム（専科）について

今年度より「柳沢運動プログラム」を3歳から5歳児クラスの専科として取り入れました。運動機能の発達を促進すると共に体幹を鍛えることで、事故怪我の抑止に効果がみられました。

6. 事故防止策・防災対策、安全対策について

- (1) 月1回さまざまな災害を想定して避難訓練や煙体験・起震車体験、不審者対応、目黒川が氾濫した際の避難の仕方など、非常時対応訓練を行いました。
- (2) 正規職員全員が上級救命救急認定を取得し、事故やけがに対して救命救急の学びを継続するとともに、緊急時の対応を園内研修や職員会議で学び合いました。また安全点検を実施し事故の予防に努めました。

7. 年間行事について

年間を通じて、保護者が行事に参加できる機会を設け、子どもの育ちや成長を共に感じる機会としました。

月	主 な 行 事 予 定
4 月	入園式・始業式・保護者会
5 月	春の親子遠足(3～5歳児)・子どもの日
6 月	公開保育・ぷりサマーすくーる(5歳児お泊り保育)
7 月	プール開き・七夕・終業式・夕涼み会
8 月	プール納め
9 月	始業式・保護者会・敬老の日の集い・親子遠足(乳児)
10 月	運動会・秋の遠足(3～5歳児)
11 月	七五三
12 月	おゆうぎ会・クリスマス会・終業式
1 月	始業式・お餅つき・初釜(5歳児)
2 月	豆まき・遠足(3、4歳児)・保護者会
3 月	ひなまつり・卒園式・修了式・お別れ遠足(5歳児)

- (1) 保護者会は、今年度から園で開催しました。Zoomでの開催に比べて保護者間の積極的なコミュニケーションを図ることができました。
- (2) 春は幼児教育部門、秋は保育園部門で親子遠足を実施しました。また、秋には、4、5歳児クラスはバス遠足、3歳児クラスは徒歩での遠足を実施することができました。さらに年度末には、3歳児クラスは徒歩で五反田文化センターのプラネタリウムに、4歳児クラスはバスで科学館に遠足に行きました。
- (3) 運動会は、今年度も保育園部門、幼児教育部門一緒に第一日野小学校グラウンドを会場に開催することができました。
- (4) おゆうぎ会は保育園部門と幼児教育部門とで2部制とし、保護者を招いて実施することができました。

8. 事故発生状況・ヒヤリハット

(1) 事故発生状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	29	26	33	31	44	33
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	28	30	37	40	39	27

年間合計 397件

※病院受診 7件（2件は肘内障）

衝突・接触：165件

ひっかき・噛みつき：74件

転倒：150件

転落：8件

(2) ヒヤリハット

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	6	8	8	6	5	8
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	5	6	4	8	3	5

年間合計 72件

(1) 事故けがの件数は、令和5年度と比較すると増加していますが、病院受診が必要なけがは5件（令和5年度は13件）と減少していました。病院受診が必要なけがが大幅に減少した理由として、令和6年度から幼児教育部門は運動プログラムを取り入れ始めたことにより体幹が強化されはじめたことや、「小さなけが」を一つの経験として学べる機会となるように職員が子どもたちに対して学習の機会となるような声かけを心がけていたことなどが考えられます。来年度も大きな事故やけがを防いでいけるよう、事故防止に努めてまいります。

(2) ヒヤリハット件数は前年度と比較し、大幅な増減はありませんでした。4半期毎の会議での検証を行い、職員全体で環境の見直しを行ったり意見を交換したりして、発生前に防げるけがを防止していけるように努めました。

障害児者総合支援施設事業報告 目次

品川区立障害児者総合支援施設事業報告	207
児童発達支援センター課事業報告	209
相談支援課事業報告	218
生活支援課事業報告	229

品川区立障害児者総合支援施設

1. 基本方針

品川区の子どもの療育拠点及び障害児者の地域生活支援拠点として、区内の関係機関との連携し、障害児者とそのご家族の成長や生活等で起こる様々な課題について切れ目のない支援に努めました。

2. 重点目標

- (1) 当該事業所の運営について安全で安心な運営に努めながら、各事業所のサービス内容の充実と稼働率の向上に努めました。
- (2) 総合支援施設が発揮すべき機能を踏まえ、一体的な運営体制を整えるため、各事業所の連携・連絡体制を整えました。また品川区をはじめ区内事業所、関係機関、近隣町会及び住民との良好な関係作りに努めました。
- (3) 施設全体及び各事業の課題を整理すると同時に、障害児者とそのご家族の生活や成長等で起こる様々な課題と地域における課題を的確に把握し、事業内容の見直しを図りました。

3. 具体的な取り組み

- (1) 障害児者総合支援施設として一体的な運営体制を整え、地域の障害者福祉の拠点として区民の期待に応えられるようそれぞれの事業分野において、相互の連携に努めました。
- (2) 利用者を中心とした支援を行うため事業所間の風通しを良好に保ち、緊急支援時等には総合施設として一体的に連携できるよう努めました。
- (3) 各事業の利用相談や問合せに適切に対応し、円滑なサービス提供に努めました。また、品川区や区内事業所と連携し、利用者・ご家族の状況に応じた支援を行いました。

4. 各事業の定員

事業名	定員	稼働率
児童発達支援センター		
児童発達支援	40名	68.9%
放課後等デイサービス	10名	61.8%
保育所等訪問支援	—	
子ども発達相談室	—	
日中一時支援	20名	52.1%
南品川障害児者相談支援センター (特定相談支援、障害児相談支援)	—	
地域活動支援センター	20名	22.0%
訪問系サービス (居宅介護、重度訪問介護、同行 援護、行動援護、移動支援)	—	
生活介護	40名	61.4%
就労継続支援B型	10名	58.3%
短期入所	12名	87.0%

※利用率は、実開園日数に対しての利用率です。

児童発達支援センター課事業報告

1. 基本方針

発達支援を必要とする幼児から学齢期の児童に対して、日常生活における基本的動作や知識技能（生活技能等を含む）を修得できるよう、子どもとその家族への専門的な支援を行いました。

2. 重点目標

- (1) 利用定員の拡大及び重度障害児の受け入れに伴う単独通園が困難な親子通園クラスの検討をおこないました。
- (2) 家庭支援として、支援時間の延長に向けた取り組みを実施しました。
- (3) 人材育成の促進による安定した事業運営を実施しました。
- (4) 施設機能の発揮に向けた取り組みを行いました。

A B A（行動療法）講師による月例の指導及び研修の参加、看護師（有資格者）による感染症対応研修、アナフィラキシーショック対応へのエピペンの内部研修、資格取得等、支援員の知識・技術の向上に努めました。

※令和6年度資格取得状況

保育士	3名	合格
社会福祉士	1名	合格

3. 具体的な取り組み

- (1) 児童発達支援
毎年、相談件数、障害児数は増加しています。今後もそれぞれの障害にあった支援内容の構築と受け入れ拡大を目指しました。
- (2) 放課後等デイサービス
対象となる障害児を拡げるために、特別支援学校など広範囲にわたる区全体の子どもを網羅する仕組みを検討していきました。
- (3) 保育所等訪問支援
利用児童・生徒の通う保育園等に定期的に訪問し、集団生活をより良く過ごすために園や先生方と環境等の検討を行いました。
- (4) 日中一時支援
就労している家庭の子どもの居場所として、家族のレスパイトやきょうだい支援のために安心して安全に利用できる支援を提供しました。
- (5) 子ども発達相談室
子どもの発達に関する様々な悩みや不安に関する相談を、専門職である

相談員が応じ、相談内容や子どもの発達状況に合わせて発達を支援しました。

4. 事故・虐待防止対策

(1) 事故防止について

- ①施設内委員会を設置し、サービスの質の向上・事故防止（リスクマネジメント）への取り組みを行い、事故防止のリスクマネジメントを推進し、事故予防に努めました。
- ②使用する遊具・器具類を定期点検する体制作りに取り組みました。
- ③マニュアルの点検と改善を継続して取り組みました。

(2) 虐待防止について

- ①研修・チェックリストを活用した人権意識の向上を図りました。
- ②施設内委員会を設置し、虐待防止・サービスの向上に向けた委員会を開催しました。
- ③準職員との意見交換、保護者会の開催等を実施し、風通しの良い施設運営を心がけました。
- ④労働環境の点検と改善を行い、職場環境の健全化を図り、職員のストレス軽減に努めました。

5. 家族・支援者との協力体制

懇談会や個別面談等を通じて、保護者との信頼関係を築き、子どもの特性とります。また、懇談会や学習会を通じ、家族間の交流を深めると同時に地域全体の理解促進と子育て環境の向上に働きかけていきました。

6. 地域交流及び貢献活動

(1) 保育所・幼稚園・学校との連携

学園から保育所等へ移行先や、学齢児の所属する学校、または保育所等訪問支援を通じ、地域の保育所・幼稚園・学校との交流の回数を増やし、子どもの発達支援、遊びや生活について情報共有及び連携を高めました。

(2) 学習会の開催

保育所・幼稚園・学校・すまいるスクール等、子どもと関わる関係者向けの学習会を開催し、地域全体の特別な配慮が必要な子どもたちへの理解を促進しました。

7. 防災対策

利用者の安全確保と発災時の事業継続を担保するため、防災計画及び震

災対策事業継続計画等に基づく防災避難訓練を障害児者総合支援センター建物全体で実施し防災対策を強化しました。

8. 会議計画

会議名	参加職員	開催日
法人運営会議	施設長	毎 月 2 回
法人係長・主任会議	係長・主任	毎 月 1 回
総合支援施設係長・主任会議	係長・主任	毎 月 1 回
学園連絡会	学園役職者・リーダー	概ね月 1 回
事故防止委員会	施設長・児童発達支援管理 責任者・管理栄養士・看護 師・担当職員・その他	毎 月 1 回
身体拘束廃止委員会		
虐待防止委員会		
安全衛生・感染症対策委員会	施設長・看護師	毎 月 1 回
サービス担当者会議	個別事例に応じて必要人数	随時開催
支援会議	相談室職員 スーパーバイザー	毎 週 1 回
事例検討会議	施設長・児童発達支援管理 責任者・支援員・その他 スーパーバイザー	概ね月 1 回

児童発達支援センター事業報告

1. 基本方針

発達に支援が必要な児に対して、日常生活における基本的動作や知識技能（ソーシャルスキル等を含む）を修得できるよう、子どもとその家族への専門的発達支援を行いました。

2. 重点目標

- (1) 一人ひとりの発達にあわせた、健やかな成長を目指しました。
- (2) 子どもの成長・発達に関して丁寧な説明及び支援を行いました。
- (3) 集団でのルール遊びや活動を通して適応能力を身につけるよう支援を行いました。
- (4) 家庭や保育園、学校等と連携、協働による子育て支援に努めました。

3. 具体的な取り組み

- (1) 適切な発達支援を行うなかで、子どもの自立度を高めていくことを目標にします。日常生活における基本的な知識技能（ソーシャルスキル）を最大限に引き出し習得できるよう、子ども本人の発達支援を手伝いました。
- (2) 日中活動の中で保育、心理、看護、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師及び歯科医師等のチームスタッフにより、子どもへの支援を行うとともに家族に対して専門的なアドバイスも行いました。
- (3) 集団の中で、その子らしさを表現でき、仲間との活動にも参加できるようになることで、将来的に、子どもと家族が地域の中で安心して暮らすことができるよう必要な支援をしました。
- (4) 保護者からの質問やお子さんへの対応について相談、助言をしました。

4. サービス提供内容

(1) 個別専門支援

医師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師等による個々の相談や支援を実施し、クラス・グループ職員と連携を図りながら、個々の発達を促しました。

(2) グループ活動

グループ活動場面では、ひとりでは十分に発揮できない能力を引き出し、よりきめ細やかな対応を行い、発達を助言するための支援をしました。学校の不適応等の状況により、必要に応じて個別支援も行いました。

(3) 保護者支援

子どもの日常生活を保護者から伺い、お子さんへの対応について相談、助言することで、良好な家庭生活が送れるよう支援をしました。

放課後等デイサービス事業報告

1. 基本方針

学校在学中の発達に支援が必要な児に対して、生活能力向上のための必要な訓練、友だちや社会との交流の場を提供する等、自立の促進と放課後等における支援を行いました。

2. 重点目標

- (1) 所属している機関でのルール遊びや活動を通して適応能力を身につけるよう支援をしました。
- (2) 友だちとのコミュニケーションや社会的スキルを身につけるよう支援をしました。
- (3) 学校と連携、協働による支援を行いました。
- (4) 幅広い障害に対応した支援を検討しました。

3. 具体的な取り組み

- (1) 自立した日常生活が送れるように、友だちとの創作的活動や作業活動を通じて、本人の意欲向上に結び付け、生活能力をのばすことができるよう支援を行いました。
- (2) 日常の挨拶などのソーシャルスキルトレーニングを通して、対人関係や学校や地域社会との交流に活かせるよう、スタッフからの具体的なアドバイスを受けながら学習する能力を身につけるよう支援をしました。
- (3) 学校での生活状況の確認や双方の情報交換により、学校と放課後等デイサービスでの学習支援に一貫性を持たせました。
- (4) 保護者からの質問やお子さんへの対応について相談、助言をしました。

4. サービス提供内容

(1) SSTクラス

学齢に合わせたグループにおいて、設定遊びや自由遊びを通して、ソーシャルスキルトレーニングを身につけるための活動を行いました。

(2) ADLクラス

特別支援学校、特別支援学級在籍の子どもを対象とした、基本的生活習慣の獲得を中心に、遊びを通して友達とのコミュニケーションや友達との生活を身に着けるよう支援をしました。

(3) 保護者支援

子どもの日常生活を保護者から伺い、お子さんへの対応について相談、助言することで、良好な家庭生活が送れるよう支援をしました。

日中一時支援事業報告

1. サービス提供内容

(1) 集団支援

安心、安全、豊かに過ごせる子どもの居場所を提供しました。様々な遊びや活動を通して、自分自身を発見し、新たにチャレンジする機会を作りました。

(2) 個別対応

必要に応じて個々の障害や特性に合わせて個別対応をしました。

(3) 保護者支援

保護者と子どもと適切に関われるよう、子どもの理解や日々の子どもとの接し方について支援をしました。保護者の相談に応じて情報提供を行い、必要に応じて相談支援事業、学校その他の関係機関と連携を図りました。

子ども発達相談室事業報告

1. 基本方針

子どもの成長、発達について、保護者と確認をとりながら、必要な情報提供や相談・助言を行い、地域での安心・安定した日常生活及び社会生活を総合的に支援をしました。

2. 重点目標

- (1) 子どもの発達状況や特性、環境と相互に作用することにより生じる症状などについて、子どもへの理解を深めました。
- (2) 子どもにとって必要な助言及び家族への支援を行いました。
- (3) 区内の他機関との連携を密に行い、南品川障害児者相談支援センター等区内の計画相談支援事業所と共に、円滑に療育機関へ繋げました。

3. 具体的な取り組み

- (1) 言葉が遅い、落ち着きがない等の発達が気になる未就学の子どもへの面接、行動観察及び保護者からの聞き取りを行うなかで、子どもの現状を把握し発達上の課題等を共有しました。
- (2) 必要に応じて、心理職、社会福祉士、作業療法士、言語聴覚士、医師等のチームスタッフが連携し、担当者や専門スタッフから家族に対しての具体的な助言を行いました。
- (3) 今後の児童発達支援の利用や子どもに合った他機関等の情報提供を行うことで、家族が地域で安心して生活していけるよう子どもの主体的な育ちを応援しました。
- (4) 障害児相談支援事業との協働により、相談から療育開始までの手続きを効率的に進め、障害児支援利用援助等の支援の過程を活用し、見守りやアフターケアの機能を付加しました。

4. サービス提供内容

- (1) 心身の発達に遅れや障害のある子どもの、自立に向けた支援を行い、家庭・保健・福祉・教育と連携をとりながら、早期に適切な療育を受けられるよう切れ目のない支援を行いました。
- (2) 総合支援施設内の各事業所と繋がりながら、専門職による支援とともに区内の各機関との連絡調整をもとに、福祉サービスの情報提供や適切なコーディネートを行い、保育園、学校などへの巡回相談支援も実施しました。

【子ども発達相談】

(件)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
新規電話相談 (一般相談)	保護者	38	62	49	51	45	45	53	63	51	45	47	54	609
	関係機関	6	4	5	9	7	4	19	5	4	16	0	4	83
登録ケース電話相談数		350	309	393	313	342	327	396	335	341	314	349	350	4119
地域支援	関係機関連携	70	86	67	59	71	59	71	57	70	53	48	67	780
	訪問(巡回相談等)	1	1	3	5	2	1	2	3	1	0	3	1	23
	親子グループ	0	15	18	14	19	19	23	0	25	30	33	34	230
	保護者支援*													
	ペアレントトレーニング	0	0	5	0	4	0	11	12	0	0	4	0	36
	語る会	0	0	5	0	0	0	0	3	0	4	0	0	12
外部会議		0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	8
見学対応他		0	0	3	1	4	0	2	0	0	0	2	0	12
支援会議		17	27	25	23	30	29	29	28	32	32	34	18	324
面接相談ケース		78	108	96	104	100	119	117	112	100	104	119	106	1263
内訳	親子面接	21	25	25	29	28	27	26	28	31	34	33	22	329
	発達相談	33	64	53	49	50	65	53	53	43	39	62	45	609
	検査FB面接	23	16	18	25	20	24	34	26	23	28	23	33	293
	個別検査	1	3	0	1	2	3	4	5	3	3	1	6	32
言語療法相談		26	28	25	27	33	28	29	22	30	28	30	26	332
作業療法		27	25	24	25	27	24	22	33	34	28	35	34	338
理学療法		1	1	1	1	1	0	1	1	1	2	1	2	13
摂食相談		1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	9
医療相談		7	11	8	12	5	11	8	8	7	7	5	7	96
保育所等訪問支援		0	1	2	2	0	1	2	0	1	1	1	0	11
小 計		622	680	725	647	699	673	786	682	697	667	713	336	7927

※保護者支援の令和6年度親子グループは5月開始。月に概ね3回(11月は除く)。

ペアトレ(未就学児童の保護者対象)は6年度後期に試行する。学齢期児童対象のペアトレは放デイでカウント。語る会は概ね年3回程度実施予定。

※親子面接は親と子どもそれぞれに対応するので実際のケース数は【ケース】×2となる。FB面接、個別検査についても相談員2名(子ども、親担当)で対応している。

【児童発達支援センター(クラス通園・グループ通園)】

(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
面談	9	41	19	39	51	35	0	0	57	32	4	6	293
電話対応	126	110	87	140	141	110	128	112	117	157	91	138	1457
稼働日数	14	21	20	22	18	19	23	20	20	20	18	17	232
稼働実数	382	577	571	617	450	538	731	683	605	607	577	391	6729
登録児数(合計)	41	46	46	46	48	48	48	48	48	49	49	49	

【保育所等訪問支援】

(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
保護者面接(終了児アフター含む)	2	1	2	2	2	2	5	4	4	1	2	3	30
事前打ち合わせ訪問	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
保護者メール電話対応(終了児アフター含む)	24	28	16	13	19	21	33	18	23	9	23	17	244
所属園等関係機関メール電話対応(終了児アフター含む)	35	29	28	17	31	38	33	19	26	19	26	35	336
サービス担当者会議	2	2	1	1	1	1	1	3	0	0	0	0	12
アフターケア(終了後支援訪問)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問回数	8	16	23	20	6	22	21	21	20	19	19	22	217
登録児数	12	16	16	17	17	20	20	21	21	21	21	20	

【放課後等デイサービス】

(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
面談	7	1	7	4	2	13	3	1	0	0	10	0	48
電話対応	39	70	63	85	121	121	74	90	89	43	89	160	1044
インテーク	1	3	2	0	7	2	4	0	0	0	0	0	19
モニタリング	2	5	1	4	2	8	7	5	7	2	1	0	44
アフターケア(終了後支援訪問)	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
稼働日数	17	24	25	26	25	21	26	24	24	22	22	25	281
稼働実数	73	125	147	153	104	159	166	157	153	137	127	111	1612
地域・家庭連携加算	2	2	1	3	0	6	2	0	0	4	29	0	49
関係機関連携加算	9	16	0	15	11	14	0	0	0	4	5	9	83
登録児数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	59	59	

【日中一時支援】

(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間合計
利用合計数(月)	254	267	253	252	225	239	273	266	240	248	236	201	2954
稼働日数	17	24	25	26	25	21	26	24	24	23	22	25	282
登録児数	44	44	44	44	45	45	45	45	45	46	46	46	

相談支援課事業報告

1. 基本方針

利用者の自立と社会参加の促進を基本とし、幼年期から少年期、青年期、壮年期へとそれぞれの支援が途切れることなく地域生活が継続できるように適切な相談支援とサービスの提供を行いました。また、品川区および関係機関と連携し、総合支援施設のもつ施設機能を発揮し、一体的なサービス構築に努めました。

近隣の方との繋がりを大切に、「こども食堂運営委員会」・「高次脳機能障害者交流サロン運営委員会」を設置し、施設全体で推進力をもって実施できるよう努めました。総合支援施設としての強みを活かした取り組みを実践しました。

(1)「こども食堂・イベント等」の開催(3回/年 ※実施:施設全体対応)

①令和6年8月17日(土)

「第1回こども食堂/ガラス珠アート体験(近隣小学生対象)」開催

- ・こども食堂(唐揚げ弁当) 72食を販売
 - ・ガラス珠アート体験 近隣の小学生38名・付き添い37名参加
- ※共催「品川文化振興事業団」

②令和6年11月30日(土)

「第2回こども食堂/災害時を想定した職員炊き出し訓練」開催

- ・「こども食堂」豚汁300食・おにぎり600個を配布。
 - ・「災害時を想定した職員炊き出し訓練」炊き出し設備の設置及び、おにぎりを握る訓練を実施(600個)
- ※来場者486名 ※無料配布(募金箱設置)

※寄付物品無料配布

③令和7年2月22日(土)

「第3回こども食堂」開催

- ・カレー弁当を、70食を販売
- ※こども100円、付き添いの大人300円 ※寄付物品無料配布
- ※お弁当配布時に、今後の開催計画に反映するための簡易ニーズ調査を実施(土曜日開催のニーズが高い為、食数多めのイベント開催を土曜日に充てる。また、平日のニーズも一定程度確認できた為、次年度は平日開催も併せて実施する事とした。)

2. 重点目標

(1) 在宅生活を支える地域生活拠点としての機能を発揮します。

①品川区南品川障害児者相談支援センター

地域生活拠点として、子ども発達相談室や生活介護事業所と連携し、利用者のライフステージに合わせた福祉サービスの提供を行いました。また、緊急時の受け入れ等、短期入所の受け入れを同施設内で調整することにより、利用者個々の事情に考慮した迅速な対応を行いました。

②訪問系サービス

利用者及び家族に対し、また地域生活が長く継続できるよう、安心安全のサービス提供を行いました。区立施設としてサービスを受けることが難しいケースなどを、積極的に受け入れ居宅サービス等を提供しました。利用者のみならず、ご家族の日頃のご苦勞に寄り添ったサービス提供を心がけました。

③地域活動支援センター

地域の体制づくりとして、区内の相談支援事業所等と連携し、利用者の日中の居場所や活動の場となるよう、利用者・家族、また相談支援専門員等と連携を行い、その方にニーズにできるだけ添えるような活動プログラムを作成しました。また、職員の手厚さを活かした柔軟な対応を行いました。

(2) 施設機能の発揮に向けた取り組み

福栄会キャリアパスに則り、各事業所において必要な資格取得を推進し進め、施設全体の職員スキルアップを図りました。

※令和6年度資格取得状況

精神保健福祉士 2名合格

3. 具体的な取り組み

(1) 各事業の取り組み

①品川区南品川障害児者相談支援センター

関係機関との緊密な連携及び、地域の相談支援体制強化に貢献する為、令和6年8月より機能強化型（Ⅰ）・主任相談支援専門員配置加算（Ⅰ）の算定を開始しました。

ア 基幹相談支援センターが行う地域の相談支援体制の取り組み（協議会や各連絡会の参加、閉鎖する事業所のケース受託など）について、積極的に協力しました。

イ 地域の相談支援事業所への助言や同行訪問など実施しました。ま

た、基幹相談支援センターの新任職員と同行訪問を行い、相談支援の進め方やアセスメント方法などをレクチャーしました。

②訪問系サービス

利用者が安心して在宅での生活が継続できるよう、本人・家族・相談支援専門員等と連携を密にしながら支援を継続しました。サービスの依頼件数が増えたことにより、利用率が向上しました。前年比130%増のサービス提供を行いました。

※稼働合計時間 令和5年度(1,254時間)→令和6年度(2,886時間)

③地域活動支援センター

利用者の日中の居場所や活動の場となるよう、利用者・家族、また相談支援専門員等と連携を行い、その方にニーズにできるだけ添えるような活動プログラムを作成しました。また、職員の手厚さを活かした柔軟な対応を行っています。カラオケクラブや、土曜日開催の調理クラブなどは、申し込みが多くご好評をいただきました。

通常のプログラムとは別に、「手話講座」や、「高次脳機能障害者向けサロン」などの講習会を開催しました。また、ボランティアを積極的に受け入れました。地域との方との繋がりを大切に、コンサートなどのイベント開催にも力を入れました。

ア 手話に対する理解促進・普及を図る為、8月(子ども向け)・9月(大人向け)に「手話講座」を開催しました。

(ア) 子ども向け講座

令和6年8月20日(火)

小学生19名・付き添い15名が参加

(イ) 大人向け講座

令和6年9月13日(金) 大人11名参加

令和6年9月20日(金) 大人 9名参加

令和6年9月27日(金) 大人 8名参加

イ 「高次脳機能障害者向けサロン」を開催(2回/年)しました。

(ア) 令和6年12月14日(土) 当事者4名、その他2名参加

(イ) 令和7年 2月15日(土) 当事者1名、その他2名参加

ウ 「コンサート」を開催しました。

(ア) 令和6年7月13日(土)

アンサンブルコンサート開催 来場者89名

(イ) 令和6年令和8月3日(土)

ジャズコンサート開催 来場者79名

(ウ) 令和6年10月5日(土)

アンサンブルコンサート開催 来場者71名

(エ) 令和7年1月31日(金)

バンドコンサート開催 参加者73名

エ 「ボランティア」の受け入れについて

(ア) 「一般企業のボランティア受け入れ」について

令和6年12月11日(水) 参加10名

内容：児童学園の遊具清掃・障害理解普及基礎講座を受講いただく。※ダウン症や自閉スペクトラム症等のご説明や接し方など。

※12/13利用者が同企業の訪問を行い、社会参加の機会を提供

(イ) 日中活動等(日中プログラム・ダンス・ストレッチ等)で、延べ193名/年のボランティアを受け入れました。

オ 「その他、イベント等」の開催について

(ア) 「地域交流」にて、近隣保育園とのハロウィン行事

令和6年10月29日(火) 来場者数72名

(イ) 「プラレール展示会」にて、展示会を開催

令和6年11月5日(火)～11月7日(木) 3日間

来場者数430名

(ウ) 「運動会・ゲーム大会」にて、区内の他事業所との交流を兼ねた開催

令和6年11月16日(土) 参加者17名

(エ) 「入浴事業」のご利用は、ありませんでした。

(2) 施設機能の発揮に向けた取り組み

総合支援施設としての機能発揮の為、各職員が必要資格取得、専門性のある研修等に、随時参加することでスキルアップを図りました。

品川区主催の「しながわ相談スキルアッププロジェクト」等への参加及び、相談支援専門員初任者研修(2名)、相談支援専門員現任研修(2名)、移動支援従事者養成研修(2名)、防災センター要員講習(2名)等を職員が受講しました。また、以下の研修を施設全体研修として企画及び、受講しました。

① 令和6年5月31日(金)・6月4日(火)「てんかん基礎講座」

講師：日本てんかん協会 事務局長 田所裕二 氏

② 令和6年6月27日(木)「食物アレルギー基礎講座」

講師：ぷりすくーる西五反田 看護師 立川絵里 氏

③ 令和6年7月26日(金)「防犯研修」

講師：品川警察署生活安全課防犯係 巡査長 岡崎亮太 氏

④ 令和6年9月20日（金）「ABA（応用行動分析）基礎講座」

講師：（株）是村技研 バラスト事業部 是村由香 氏

⑤ 令和7年1月16日（木）「認知症研修（認知症や知的障害を経験している人々の行動からニーズを読み解く）」

講師：東京都医学総合研究所 センター長 西田淳志 氏

※その他、法人全体研修（虐待防止※身体拘束/感染症予防/情報セキュリティ/決算分析研修など）にも参加しました。

4. 家族・支援者との協力体制

日々の業務の中で、利用者・家族との情報交換・情報提供を丁寧に行うことで、安心して地域生活が継続できるように配慮しながら対応しました。品川区が主催する関係部会へ参加すること等で、関係機関との連携に努めました。

5. サービス提供内容

<南品川障害児者相談支援センター>

指定特定相談支援事業	相談支援	特定相談（サービス等利用計画を含む）	（1）対象者 ①居宅介護利用者 （既利用者・新規利用者） （知的障害児者・身体障害児者、難病など） （精神障害者で知的障害のある方） ②通所系 （就労移行・就労継続支援A、B・自立訓練・生活介護等） ③グループホーム利用者、施設入所者等 （2）内 容 ①アセスメント・サービス利用計画作成 ②ケア会議 ③モニタリング（月2回～年4回程度・必要に応じて実施） ④関係機関調整 家族、基幹相談支援センター、サービス提供事業所、医療関係者、施設関係など（開始時、変化のある時、課題発生時等実施） ⑤支援区分調査 など
------------	------	--------------------	---

地域拠点相談支援センター業務	相談支援	一般相談	(1) 対象者 特定相談対象者を除く、就労や福祉サービスの利用等で相談を希望する者等 (2) 内 容 ①アセスメント・ケアプラン作成 ②ケア会議（適宜実施） ③面接・訪問等による相談継続及び同行支援 ④その他
	地域連携	各種会議・検討会	(1) 自立支援協議会への出席 (2) 各部会への出席 (3) 地域生活支援拠点整備のための検討会への出席 (4) 品川区東品川障害者相談支援センター・品川区東品川障害者計画相談支援事業所への連携・支援 (5) 新規の計画事業所への連携・支援 (6) その他
地域生活支援拠点		地域生活拠点業務	(1) 体制 地域生活支援拠点マネージャーの配置 (2) 業務 品川区地域生活支援拠点事業実施要綱の業務内容について適宜基幹型支援と連携、検討のもと実施する

< 訪問系サービス >

- ・居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援

< 地域活動支援センター >

- ・園芸教室 ・社会体験や外出活動 ・創作 ・ダンス教室
- ・料理教室 ・季節に合わせたイベント ・手話サロン
- ・音楽プログラム ・ボランティア育成、受け入れ
- ・地域との交流イベント（コンサート、プラレール展示会、夏休み子ども向けワークショップなど）
- ・こども食堂 ・他事業所等との交流（運動会）
- ・手話講座（大人向け講座・子ども向け講座）
- ・ピアサポート活動（高次脳機能障害者交流サロン等）
- ・障害理解啓発基礎講座 など

6. ヒヤリハット・事故発生状況（相談支援課全体）

（1）ヒヤリハット報告状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

・器物破損（1件）・作業ミス（1件）

（2）事故報告状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2

・職員への暴力（2件）

7. 「相談支援課」実績報告（令和6年4月～令和7年3月）

(1) 南品川障害児者相談支援センター

＜相談支援を利用している障害児者等の実人数＞

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者	39	75	101	95	76	94	41	41	43	40	49	38	732
障害児	26	27	45	22	46	36	22	28	30	30	30	36	378
合計	65	102	146	117	122	130	63	69	73	70	79	74	1110

＜支援方法＞

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	152	114	139	144	198	228	130	112	123	142	114	107	1703
来所相談	23	23	36	28	46	32	23	5	21	11	31	3	282
訪問	42	39	51	53	68	108	52	48	70	54	59	56	700
同行支援	8	8	14	3	4	12	3	19	8	9	1	21	110
文書等	4	13	9	17	26	26	12	18	27	15	10	14	191
支援会議	5	1	4	11	6	16	3	0	2	5	1	5	59
関係機関	202	193	226	114	240	132	147	127	129	116	99	140	1865
その他	4	2	10	6	2	6	7	1	0	3	0	2	43
合計	440	393	489	376	590	560	377	330	380	355	315	348	4953

＜支援内容＞※項目重複あり

(件)

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	394	358	443	312	488	456	342	284	313	331	273	299	4293
障害や症状の理解に関する支援	21	31	31	31	22	52	27	36	31	14	29	24	349
健康・医療に関する支援	8	3	6	9	20	4	0	7	10	5	1	13	86
不安の解消・情緒安定に関する支援	12	5	11	8	42	34	8	3	7	3	4	8	145
保育・教育に関する支援	14	9	14	5	10	8	4	2	1	0	3	0	70
家族関係・人間関係に関する支援	7	5	9	11	8	4	1	0	6	1	3	3	58
家計・経済に関する支援	2	2	4	10	2	4	1	3	2	0	1	2	33
生活技術に関する支援	0	3	3	0	0	12	2	1	0	0	0	0	21
就労に関する支援	6	4	4	0	6	2	0	4	0	1	0	0	27
社会参加・余暇活動に関する支援	3	3	2	5	0	6	1	0	4	0	1	0	25
権利擁護に関する支援	3	1	3	12	4	8	3	1	9	3	0	0	47
その他	5	1	7	11	6	12	3	0	1	4	0	0	50
合計	475	425	537	414	608	602	392	341	384	362	315	349	5204

(2) 訪問系サービス

<介護給付>

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
居宅介護	99	114	125	143	118	137	155	147	145	131	119	134	1567
重度訪問	12	11	11	8	4	10	8	8	16	28	27	15	158
同行援護	1	1	0	2	1	0	5	9	3	3	1	1	27
行動援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	112	126	136	153	123	147	168	164	164	162	147	150	1752

<地域生活支援事業>

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
移動支援	127	133	82	98	75	93	112	85	92	79	72	80	1128

(3) 地域活動支援センター

<利用実績>

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	98	94	102	100	142	112	96	83	62	64	55	63	1071

8. 「研修参加状況報告」 (令和6年4月～令和7年3月)

①外部研修

主催	日程	内容	参加人数
大田幸陽会	5/3～5/5	知的障害者ガイドヘルパー養成研修	2
東京都	5/1	障害認定区分調査	3
品川区	奇数月	スキルアップ研修 (年間延べ)	12
東京都	6/3～ (全4日間)	相談支援従事者現任者	2
品川区高次機能家族会	7/28	高次機能障害交流会	1
東京都福祉保健財団	8/28	ピアサポート研修	1
(有)ホットラインワールド	9/26・10/3	社会福祉士指導者養成	1
東京都	9/19	初任者指導者研修	1
東京防災設備保守研修	10/21～ (2日間)	防災要員研修	2
東京都精神保健福祉士協会	9/25～ (2日間)	精神障害計画相談支援従事者養成研修	2
東京都	9/19	初任者研修実習説明会	2
東京都	9/9～ (5日間)	相談支援初任者研修	2
荏原病院	10/22	高次機能専門的リハビリテーション	1
品川福祉カレッジ	11/12	子ども支援研修	5
日本社会事業大学	10/26	メタバースの実践から考える	1
荏原病院	10/4	高次機能障害症例検討会	2
品川区	10/1	医療ケア児等コーディネーター勉強会	2
宮城県	1/25～ (7日間)	相談支援初任者研修	1
品川福祉カレッジ	2/21	子ども支援研修	3
品川総合福祉センター	1/29・2/5・2/20	ヤングケアラーサポーター養成講座	1
東京都	2/24	精神障害者地域移行支援	1

②施設研修 (法人研修含む)

主催	日程	内容	参加人数
施設・法人	5/31	てんかん基礎講座	2
施設・法人	6/27	食物アレルギー基礎講座	5
施設・法人	7/26	防犯研修	5
法人	8/5	虐待・身体拘束防止研修	13
施設・法人	9/12.9/19	情報セキュリティ研修	13
施設・法人	9/20	ABA (応用行動分析) 基礎講座	1
法人	9/10/.9/11	感染症予防	13
施設・法人	1/16	認知症研修	1
法人	2/22	上級救命再講習 (対象: 更新者)	1
施設・法人	3/25	決算分析研修 (対象: 役職者)	3

令和6年度 生活支援課 事業報告

1. 基本方針

障害者の地域生活支援拠点の事業所として日中活動事業と短期入所事業の安定した運営に努めました。また、利用者の様々なライフステージ・健康状態に対応できる支援体制を整え、緊急時の対応を視野に入れた一体的な運営を行いました。

事業受託3年目に入り、事業所の安定的な運営を行うため、定期的な家族懇談会の開催や個別支援計画に基づくモニタリングの実施等、多くのご家族との連携に努めました。災害時に対応できる職員を育成する為、能登半島地震の復旧支援を行う厚生労働省の災害派遣福祉チームに職員を派遣しました。また、その後の能登豪雨災害にも石川県の要請による職員派遣、災害派遣福祉チーム（DWA T）への加入等を実施しました。

2. 重点目標

（1）地域生活支援拠点として各事業を適切に運営しました。

今般の特別支援学校の卒業者の障害程度の重度化や地域ニーズの変化に応じていくため、多機能型として定員枠50名にて運営しているところ、就労継続支援B型の定員を20名から10名に変更し、生活介護定員を30名から40名に増員しました。

①生活介護

幅広い障害特性に対応したサービスを提供するため、令和6年7月に東京都登録特定行為事業者（医療的ケア事業）に登録しました。また、品川区及び区内計画相談支援事業所と連携し、就労や他の施設に適応できなかった知的障害者や引きこもりの知的障害者等を「体験利用」として3名、延べ90人を受け入れました。

一昨年より本人の嗜好等の理由により給食を欠食していた方について、管理栄養士と協力し、全員が給食を喫食できるようになりました。また、利用者本人、ご家族にご理解とご協力を頂きながら、個別対応を行っている利用者、特定の支援員による個別支援グループについては、状況をみながら、集団支援グループへと移行しました。

年間利用率61（％）

②就労継続支援B型

カフェ（みんなのテーブル）は利用者作業の充実と工賃の向上を図るため、地域ニーズを鑑みたカフェメニューの改善、区内催事への出店、館内清掃等カフェ作業以外の作業提供の試行等、工賃向上に努めました。

年間利用率 58 (%)

令和6年度平均工賃 18,384円

新算定 29,319円

③短期入所

主介護者の入院等による緊急時の対応や生活体験の場の提供など、地域生活支援拠点として、相談支援事業所をはじめ、関係機関と連携し「必要な支援が必要な方に適切に届くよう」利用手順や役割分担などを整理し円滑な利用に結び付くよう相互理解を進めました。

前年度に引き続き、品川区役所障害者支援課、各相談支援事業所と連携し、緊急時の対応を行いました。また、品川児童相談所の設立や学齢期のニーズに合わせ、短期入所居室の1床をフローリングからマット床にリフォームし、多様化する地域ニーズの受け入れ準備を進めました。
年間利用率 87 (%)

(2) 施設機能の発揮に向けた取り組み

A B A (行動療法) 講師による月例の指導、看護師 (有指導資格者) による感染症対応研修やエピペン (アナフィラキシーショック対応) 研修等内部研修の実施、東社協主催の各種外部研修への参加、国家資格、サビ管研修、強度行動障害研修の資格取得等、支援員の専門的・科学的な支援の為に知識・技術の向上に努めました。

また、利用時間延長については、ご家族からのその都度の要請に対し、受け入れを実施しました。

※令和6年度資格取得状況

社会福祉士	1名合格
介護福祉士	2名合格
調理師	1名合格
第一種衛生管理者	2名合格

(3) 余暇活動の充実

調理活動やプール活動の他、日中活動の更なる充実の為に、流しそうめん大会やスイカ割大会等の季節行事や日帰り旅行 (アクアラインとフェリーで巡る東京湾一周) を試行的に実施しました。

また、ご家族からの提案で地域活動支援センターと協同し、土曜日にミニコンサートを実施し、家族交流行事を試行的に実施しました。音楽を通して施設に対する家族の理解を深め、家族との協力体制を構築し相互理解に基づく施設運営に努めました。

3. 事故防止

事故防止のために、職員の共通認識となるよう職員全体で意見交換や事例の分析、日々の自己点検を行うなどリスクマネジメントに取り組みました。また、それに基づくマニュアルの点検と改善にも取り組みました。

- ①生活介護事業について、東京都福祉サービス第三者評価の受審を行いました。
- ②事業所内委員会を設置し、事故防止・サービス向上に向けた委員会を定期的に開催しました。

4. 虐待防止

- ①法人のチェックリスト以外に事業所独自のチェックリストを用いて人権意識の向上に努めています。
- ②事業所内委員会を設置し、虐待防止・サービス向上に向けた委員会を定期的に開催しました。
- ③安全衛生委員会を定期的に開催し、衛生管理者の職場点検等を行い職員のストレス軽減に努めました。その結果、今年は離職率が下がっています。

〔障害児者総合支援施設実績資料〕

(令和7年3月31日現在)

1. 利用者人員と入退所状況

(1) 生活介護人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
40	29	21	72.4%	8	27.6%

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

※令和6年度より定員変更 生活10増 就労10減

(2) 生活介護入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	22	3	4	21
女	7	1		8
計	29	4	3	29

(3) 就労継続支援人員

定員(人)	現員(人)	内 訳			
		男(人)	比率%	女(人)	比率%
10	8	2	25%	6	75%

注) 内訳の構成率は、現員に対する比率を示します。

(4) 就労継続支援入退園状況

区分	昨年度末人員	増	減	今年度末人員
男	4	0	2	2
女	5	1	0	6
計	9	1	2	8

(5) 平均年齢

区 分	男	女	平均
生活介護平均年齢	24.9歳	23.6歳	24.5歳
就労継続支援平均年齢	30.3歳	33.3歳	32.2歳

注) 内訳の構成比率は、現員に対する比率を示します。

3. 障害状況

(1) 愛の手帳による利用者の障害状況

愛の手帳	1 度	2 度	3 度	4 度	非該当	合 計
生活	2	2 4	2	1		2 9
就労		1	4	2	1	8

(2) 身体障害者帳による利用者の障害状況

身障手帳	1 級	2 級	3 級	4 級	非該当	合 計
生活	6	2	2			1 0
就労	1					1

(3) 障害支援区分の状況

障害区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	非該当	計
生活			4	9	7	9		2 9
就労	1	1	1	3			2	8

4. 支援概要

(1) 外部講師編成

外部講師	題名	内容	開催日
	音楽療法	リトミック	第二水曜
	ワークショップ	ダンス	第三月曜日
	応用行動分析	A B A	第 4 水曜日

(2) 主な余暇活動の実施状況

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
生活	個別創作	個別創作	個別創作	個別創作	個別創作
	ドライブ	体操	室内活動	ドライブ	音楽
就労	喫茶作業	喫茶作業	喫茶作業	喫茶作業	喫茶作業
	喫茶作業	清掃作業	喫茶作業	清掃作業	喫茶作業

(3) 生産作業内容

作業種目	内 容
喫茶作業	・ 喫茶みんなのテーブルでの生産作業（接客・販売・掃除等）

製菓製造等	・製菓製造作業、総菜製造作業、飲料提供作業
清掃作業	・建物館内の清掃作業（共有用階段）
リサイクル	・古紙回収 ・小型家電の空き缶の回収・解体・分別

（４）工賃支給状況

年間総支給額	2,060,042円
支給対象利用者延べ人数	90人
月平均工賃（１人）小数点以下四捨五入	22,889円
新算定法	29,319円

５．地域・家族とのかかわり

（１）学園連絡会の開催状況

区 分	実施日	内 容
第１回園連絡会	５月３１日（金）	１）館長より就任挨拶 ２）令和６年度 事業報告について ３）令和７年度 事業計画について ４）施設からの連絡事項
町内祭礼	６月 ８日（日）	子ども神輿等の来訪
第２回園連絡会	１１月２８日（木）	１）上半期事業報告について ２）下半期事業計画について ３）施設からの連絡事項 ４）その他 質疑応答
第２回 ぐるっぽまつり	１０月２０日（日）	施設紹介・地域交流の為の模擬店
第３回園連絡会	３月２７日（木）	１）令和７年度 事業計画 ２）利用料改定について ３）施設からの連絡事項 ４）令和７年 運営体制について ５）その他 質疑応答

(2) 園報 発行内容

発行月	編集内容
4月	新年度の職員紹介
5月	新年度のご挨拶 新利用者を迎える会報告 GWのお知らせ等
6月	活動報告
7月	活動報告 流しそうめん大会
8月	活動報告 プール活動報告
9月	活動報告
10月	活動報告 障害者作品展参加
11月	日帰り旅行報告
12月	クリスマス会（コンサート） 年末年始のお知らせ 活動報告
1月	活動報告 もちつき大会
2月	活動報告 節分行事 ライブコンサート
3月	活動報告

6. 実習・研修生の受け入れ状況(年間受け入れ人数)

区 分	人数	備 考
専門学校・大学等	6人	保育、社会福祉援助技術等の実習

7. 職員外部研修参加状況

(1) 外部研修

実施機関・主催	研修名・内容	日 程	参加人数
品川区	高次機能障害者勉強会	7月22日	1人
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	8月 5日	1人
三幸福祉カレッジ	介護福祉士実務者研修	8月 5日	1人
三幸福祉カレッジ	介護福祉士実務者研修	9月11日	1人
EMR財団	アレルギーエピペン小児BLS医療従事者研修	9月15日	1人
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	9月18日	1人
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	10月 3日	1人
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	10月10日	1人
総合健康推進財団	サービス管理責任者更新研修	10月10日	1人
東京都福祉局	医療的ケア児等受入促進研修	10月21日	1人
EMR財団障害支援普	アレルギーエピペン小児BLS	11月10日	1人

及事業	S 医療従事者研修		
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	1 1 月 1 4 日	1 人
東京都社会福祉協議会	新任職員の定着・育成入門研修	1 1 月 1 6 日	3 人
東京都社会福祉協議会	ハラスメント防止研修	1 1 月 1 6 日	3 人
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	1 1 月 2 7 日	1 人
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	1 1 月 2 8 日	1 人
東京都福祉保健財団	強度行動障害支援者養成研修	1 2 月 5 日	1 人
一般社団法人知識環境 研究会教育会	医療的ケア教員講習会	1 2 月 2 4 日	1 人
東京都福祉局	医療的ケア児に対応する看護 職員育成研修	1 月 1 5 日	1 人
総合健康推進財団	サービス管理責任者更新研修	1 月 2 2 日	1 人
総合健康推進財団	サービス管理責任者実践研修	2 月 1 0 日	1 人
東京都福祉保健財団	経営管理研修（人材管理）	2 月 2 8 日	1 人

8. ヒヤリハット・事故発生状況（生活支援課全体）

（1）ヒヤリハット報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	24	28	13	14	10	11	19	12	28	30	17	14	220

- ・他傷/他害行為（61件）・職員への暴力（27件）・器物破損（47件）
- ・所在不明（4件）・転倒事故（3件）・怪我/傷（11件）・自傷行為（3件）
- ・誤嚥（1件）・誤飲/誤食（12件）・誤薬/落薬（13件）・介護事故（2件）
- ・紛失（6件）・情報漏洩（3件）・作業ミス（26件）

（2）事故報告状況

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	5	2	6	4	2	0	2	3	0	0	5	2	31

- ・器物破損（17件） ・他害（4件） ・職員への暴力（3件） ・怪我/傷（3件）
- ・誤飲/誤食（1件） ・介護事故（1件） ・作業ミス（1件）

